

第2章 調査結果のまとめ

1. 目黒区への定住性

1-1 居住年数

問2 あなたは、目黒区に住んで何年になりますか。(○は1つ)

- ・居住年数が20年以上の『長期居住者』は5割近くを占めている。5年未満の『短期居住者』は2割半ば、5～19年の『中期居住者』は3割近くとなっている。
- ・『短期居住者』は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にある。また、『中期居住者』は男性、女性ともに40代で高く、『長期居住者』は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・居住年数が20年以上の『長期居住者』は47.9%である。5年未満の『短期居住者』は23.9%、5～19年の『中期居住者』は27.3%となっている。
- ・『長期居住者・短期居住者』の推移をみると、近年『短期居住者』が増加傾向にある。また『長期居住者』は平成3年より5割超で推移してきたが、平成21年以降5割を下回る状態が続いている。

図1-1-1 居住年数(全体)

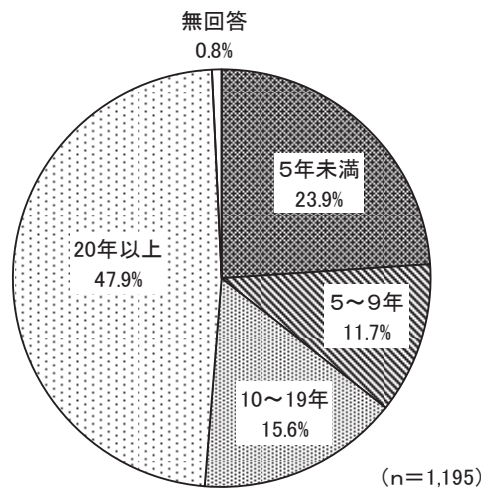
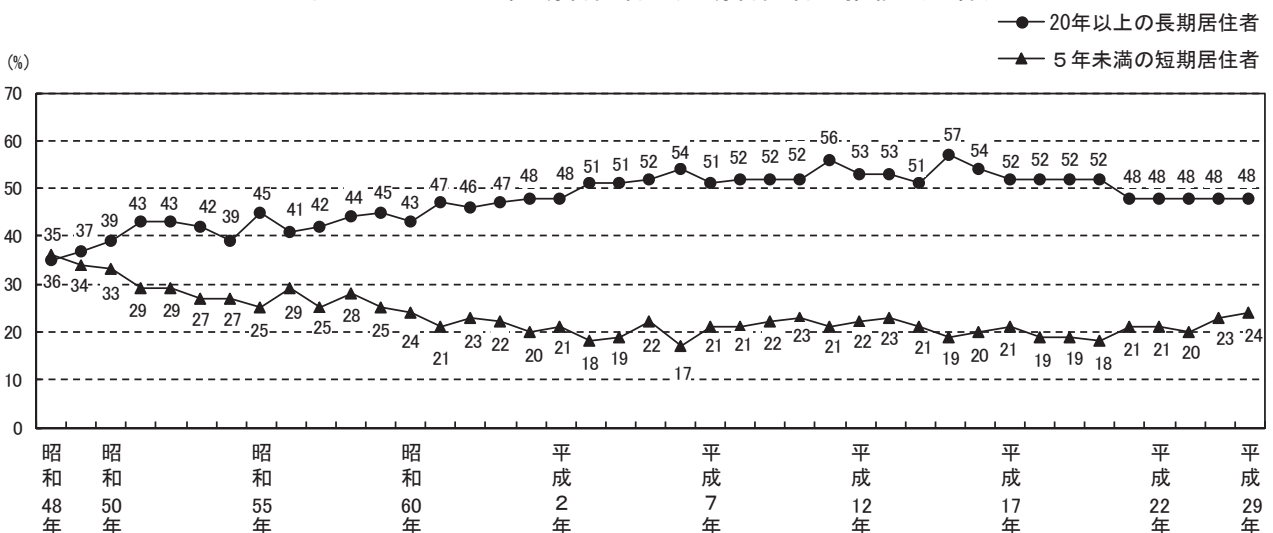


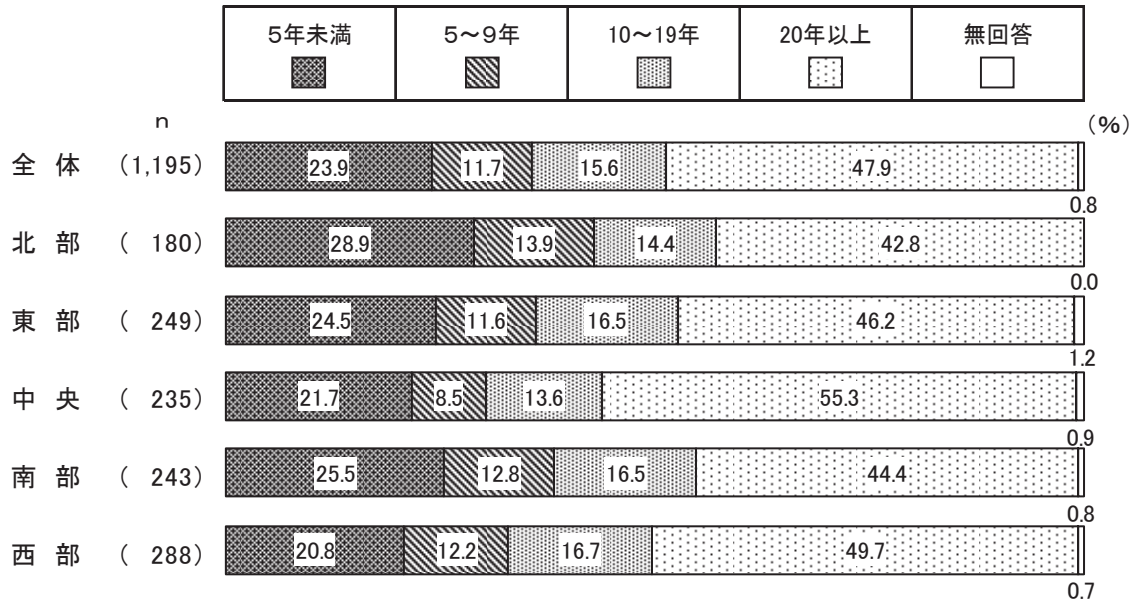
図1-1-2 長期居住者・短期居住者の推移(全体)



(2) 地区別

- ・ 5年未満の『短期居住者』は北部地区（28.9%）と南部地区（25.5%）で高くなっている。
- ・ 5年～19年の『中期居住者』は中央地区（22.1%）を除く四つの地区で全体の割合（27.3%）を上回っている。
- ・ 20年以上の『長期居住者』は中央地区（55.3%）と西部地区（49.7%）で高くなっている。

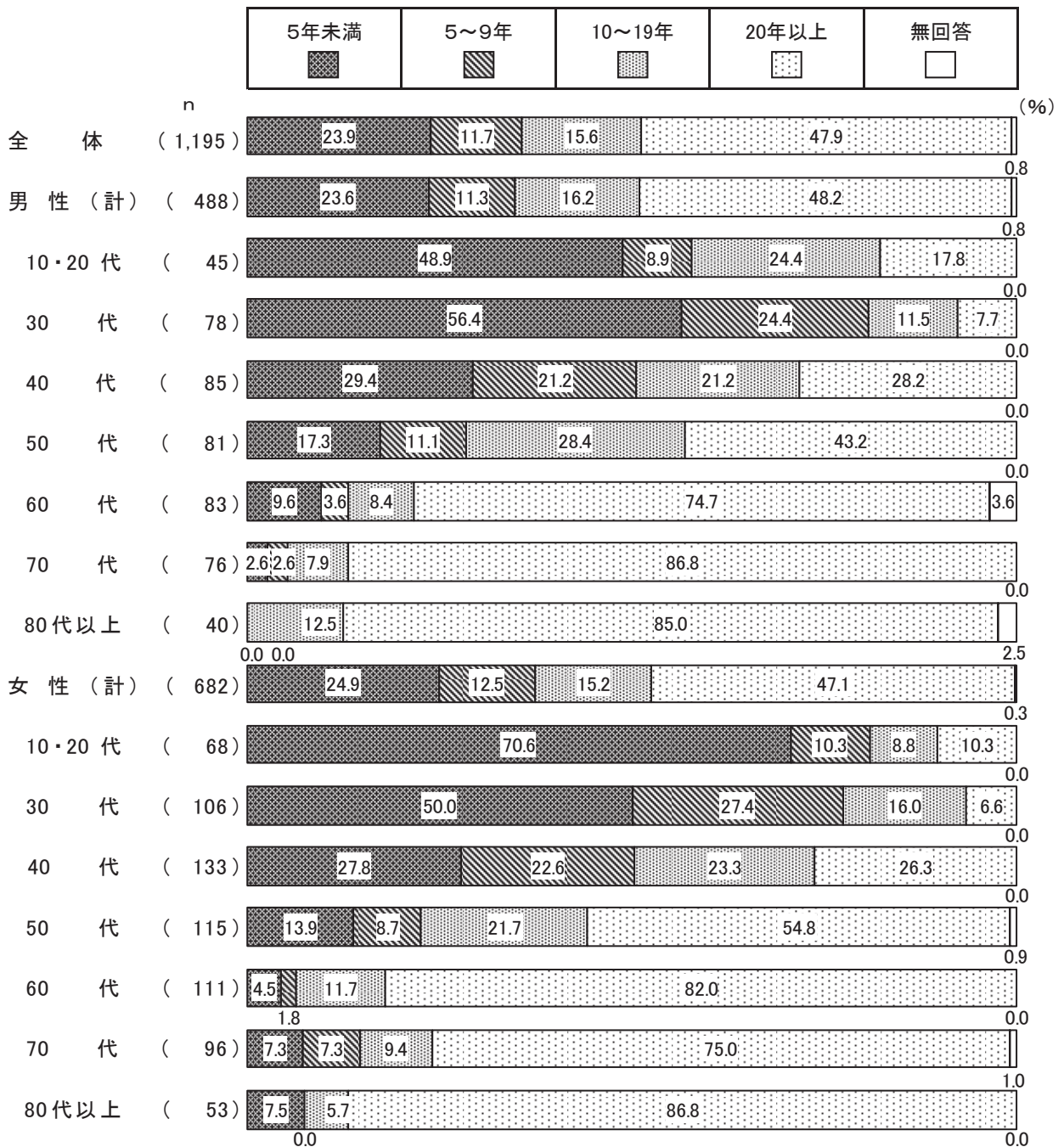
図 1 - 1 - 3 居住年数（地区別）



(3) 性・年代別

- ・5年未満の『短期居住者』は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、10・20代（男性48.9%、女性70.6%）と30代（男性56.4%、女性50.0%）で高くなっている。
- ・5年～19年の『中期居住者』は男性、女性ともに40代（男性42.4%、女性45.9%）で高くなっている。
- ・20年以上の『長期居住者』は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60代（男性74.7%、女性82.0%）、70代（男性86.8%、女性75.0%）、80代以上（男性85.0%、女性86.8%）で高くなっている。

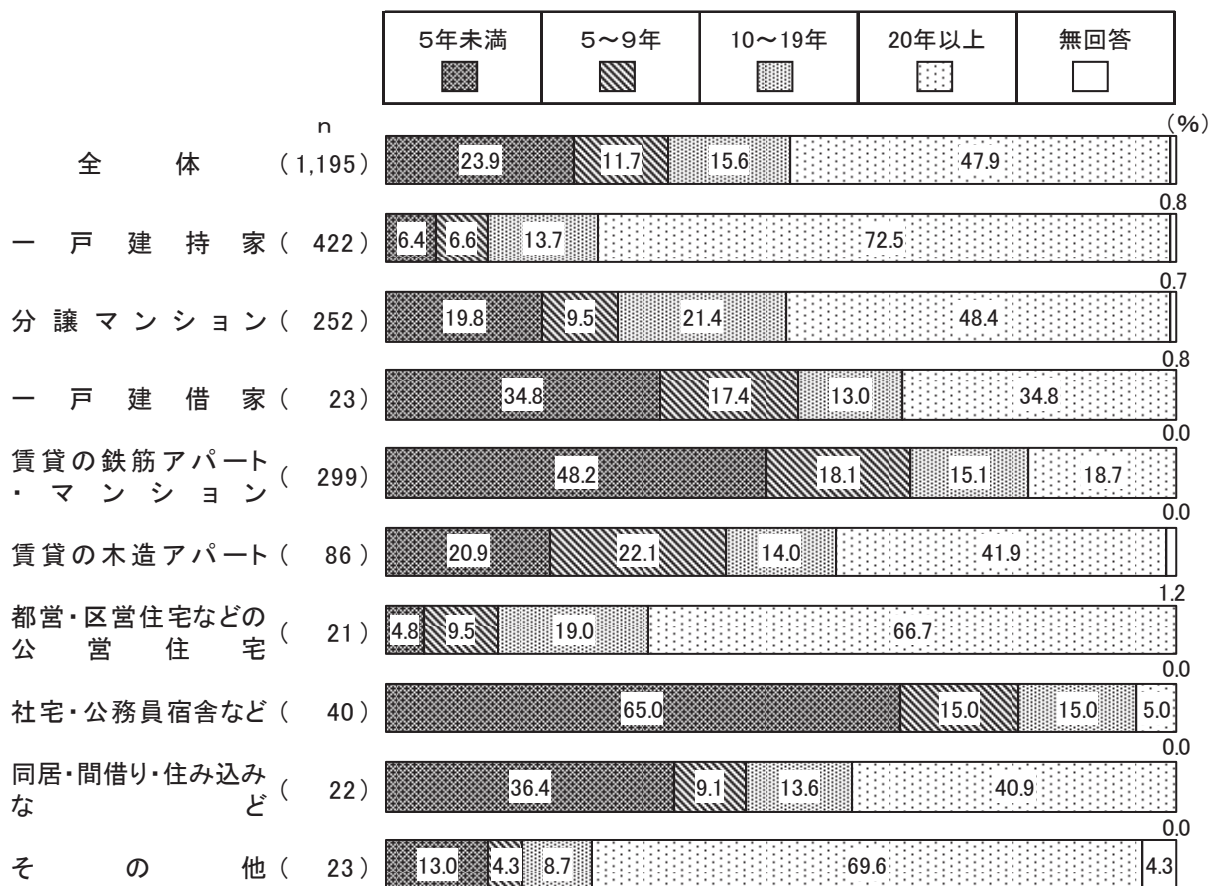
図1-1-4 居住年数（性・年代別）



(4) 居住形態別

- ・ 5年未満の『短期居住者』は社宅・公務員宿舎など（65.0%）と賃貸の鉄筋アパート・マンション（48.2%）で高くなっている。
- ・ 5年～19年の『中期居住者』は賃貸の木造アパート（36.1%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（33.2%）で高くなっている。
- ・ 20年以上の『長期居住者』は一戸建持家（72.5%）、都営・区営住宅などの公営住宅（66.7%）、分譲マンション（48.4%）で高くなっている。

図 1-1-5 居住年数（居住形態別）



1-2 居住理由

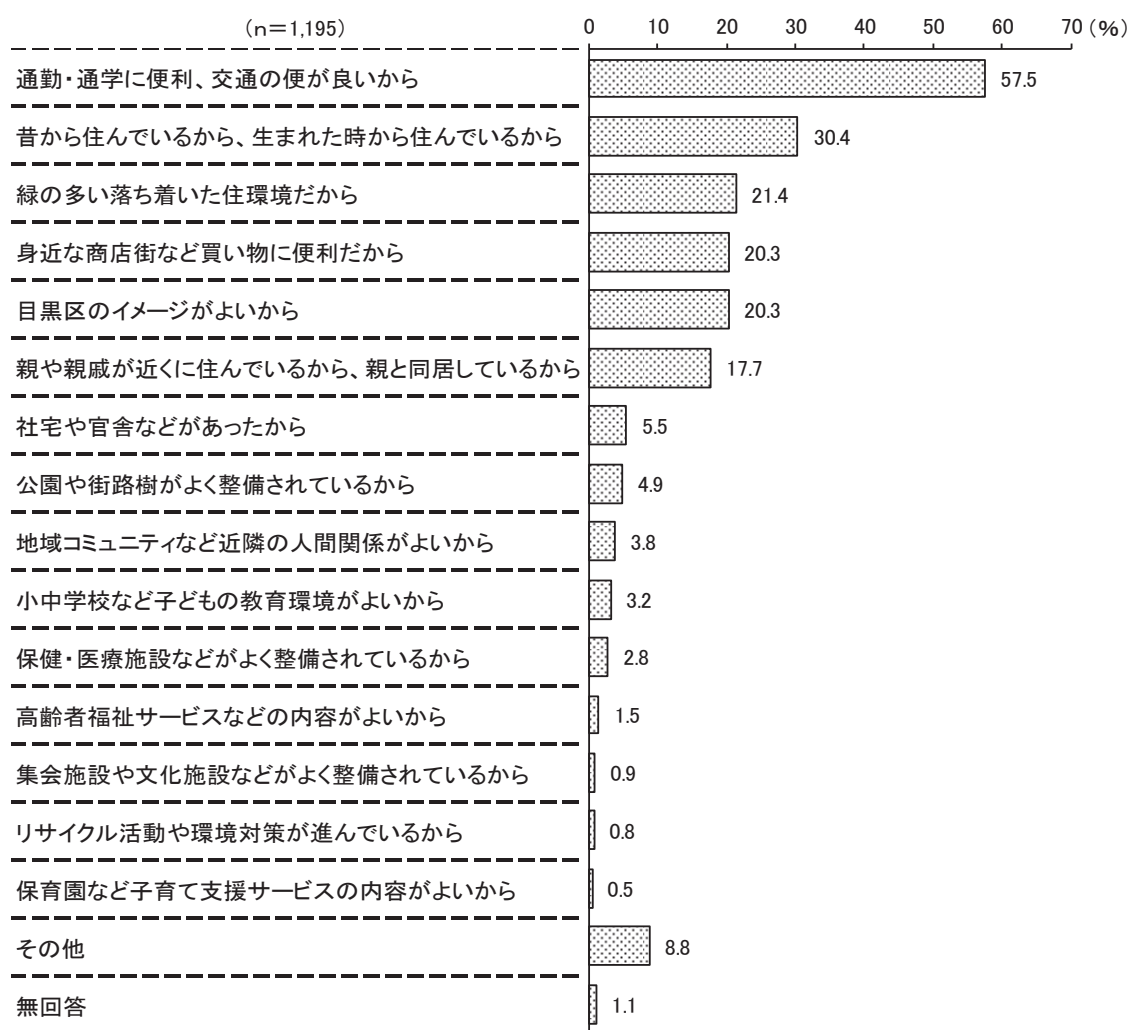
問3 あなたが、目黒区に住んでいる理由は何ですか。(〇は3つまで)

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」が6割近くで最も高く、次いで「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」が3割、「緑の多い落ち着いた住環境だから」が2割を超えたところ、「身近な商店街など買い物に便利だから」と「目黒区のイメージがよいから」が2割となっている。
- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は中央地区で高くなっている。また、低い年代ほど割合が高い傾向にあり、『短期居住者』と『中期居住者』、賃貸の鉄筋アパート・マンション、分譲マンション、一戸建借家で高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、中央地区と西部地区、一戸建持家と一戸建借家で高くなっている。

(1) 全体

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」が57.5%で最も高く、次いで「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」30.4%、「緑の多い落ち着いた住環境だから」21.4%の順となっている。

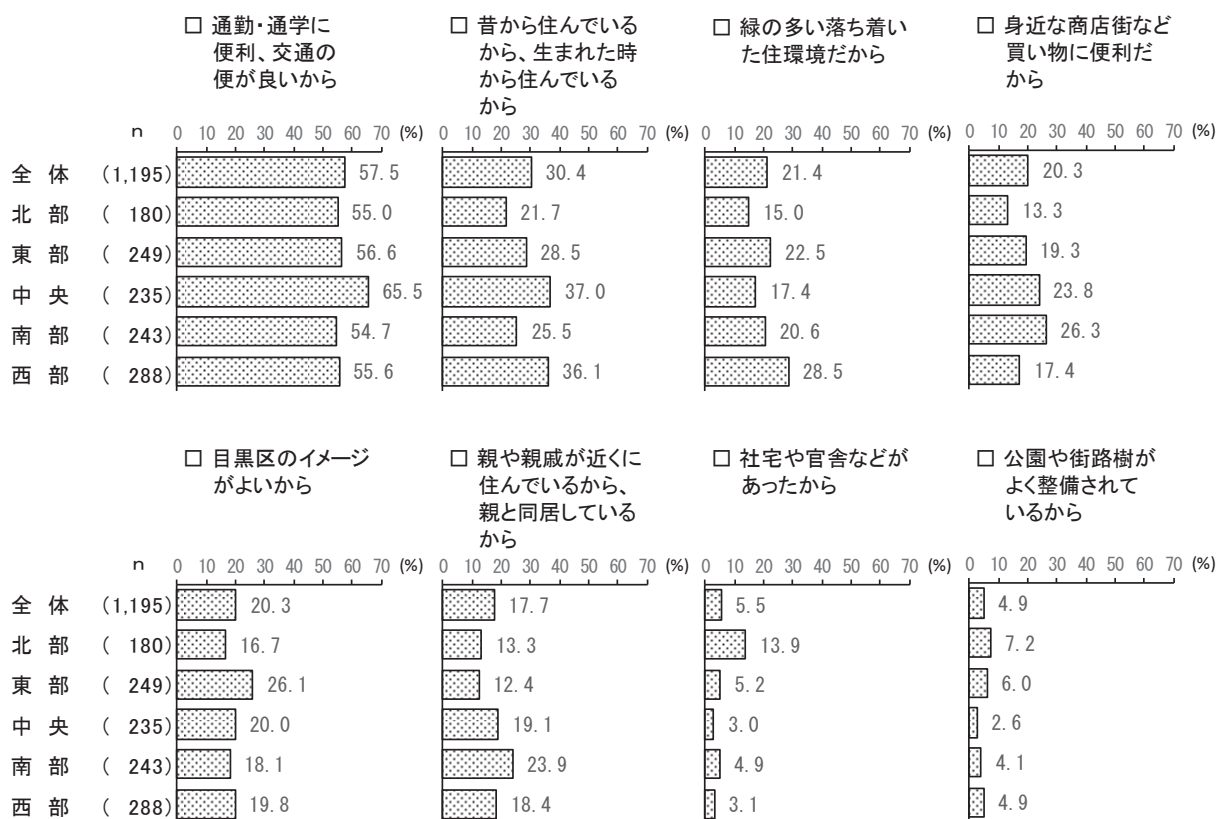
図1-2-1 居住理由(全体)



(2) 地区別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は中央地区（65.5%）で高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は中央地区（37.0%）と西部地区（36.1%）で高くなっている。
- ・「緑の多い落ち着いた住環境だから」は西部地区（28.5%）で高くなっている。
- ・「身近な商店街など買い物に便利だから」は南部地区（26.3%）で高く、「目黒区のイメージがよいから」は東部地区（26.1%）で高くなっている。

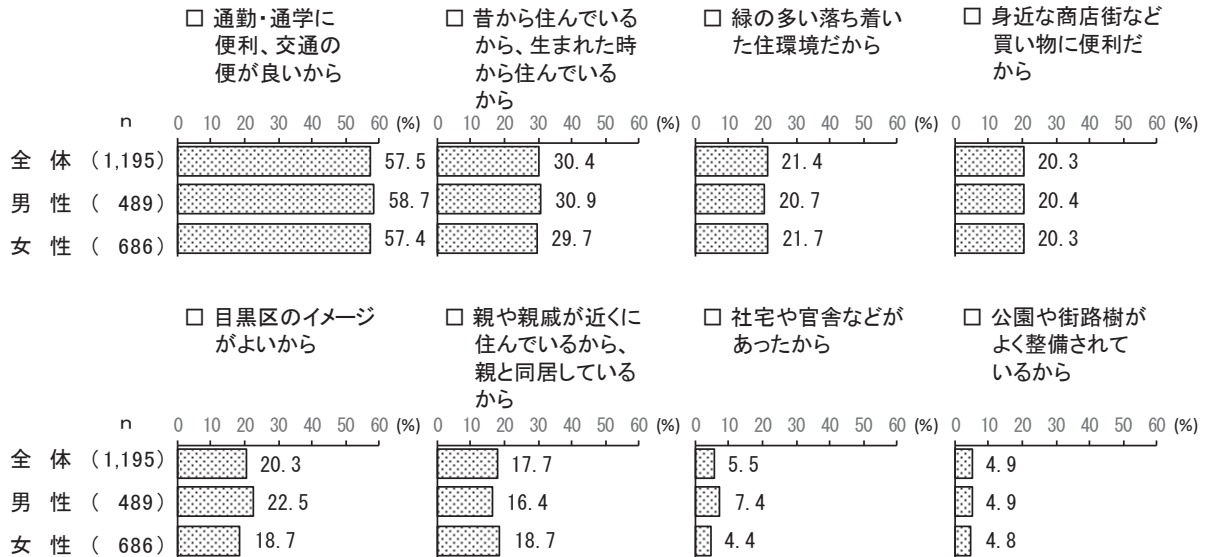
図 1-2-2 居住理由【上位 8 項目】（地区別）



(3) 男女別

- ・総じて男性、女性の差は大きくないが、「目黒区のイメージがよいから」は男性（22.5%）が女性（18.7%）を3.8ポイント上回っている。

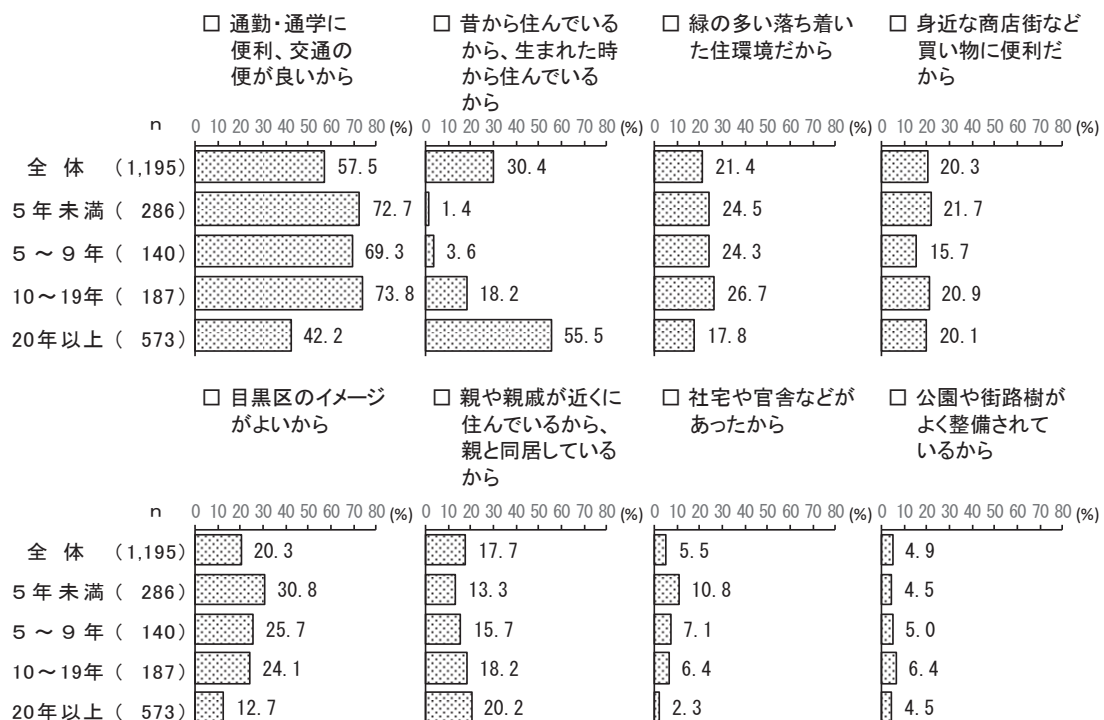
図1-2-3 居住理由【上位8項目】（男女別）



(4) 居住年数別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は『短期居住者』、『中期居住者』の割合が高く、5年未満（72.7%）、5～9年（69.3%）、10～19年（73.8%）となっている。
- ・「緑の多い落ち着いた住環境だから」は10～19年（26.7%）で最も高く、「目黒区のイメージがよいから」は5年未満（30.8%）で最も高くなっている。

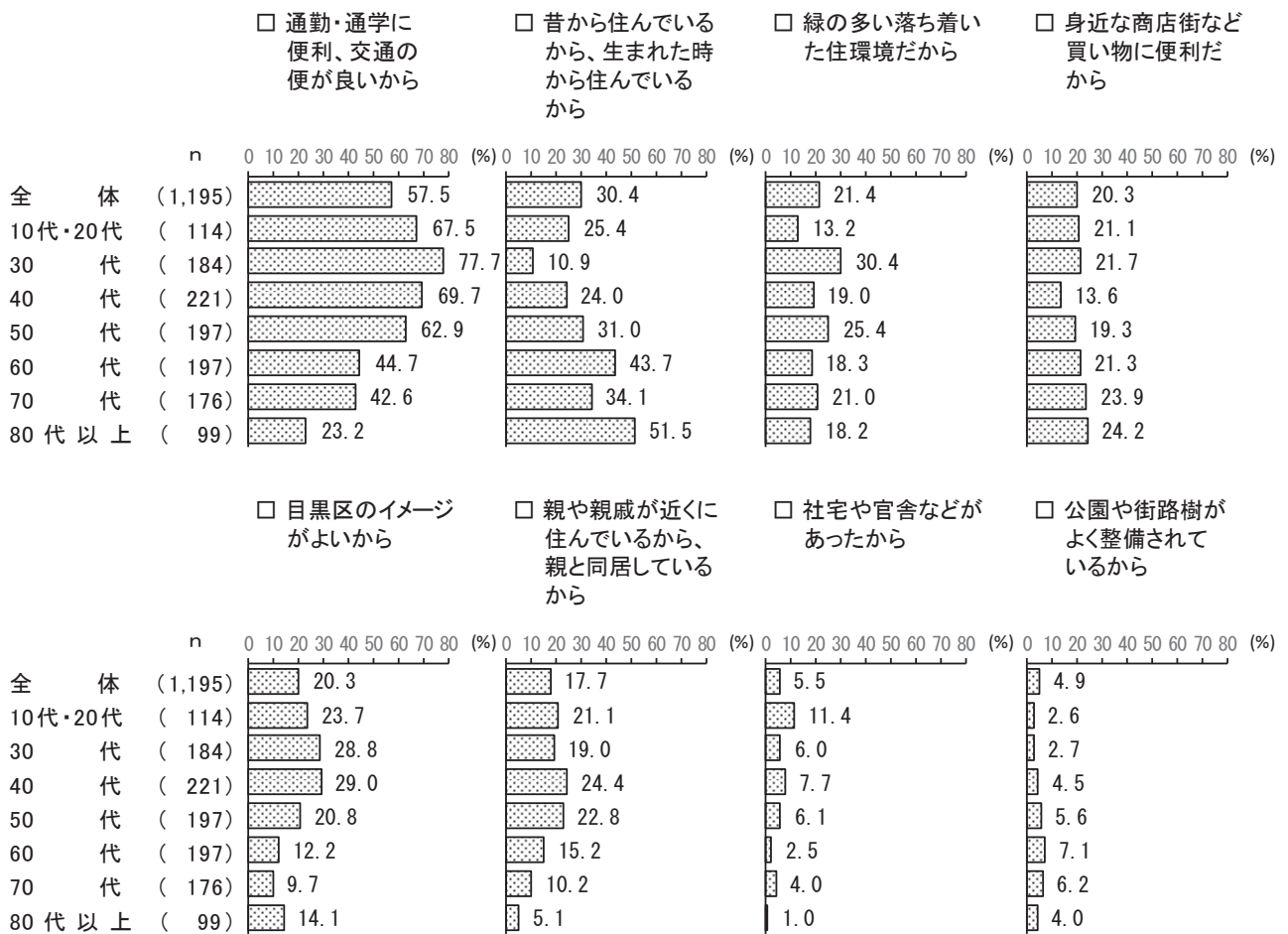
図1-2-4 居住理由【上位8項目】（居住年数別）



(5) 年代別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は低い年代ほど割合が高い傾向にあり、30代(77.7%)で最も高くなっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、80代以上(51.5%)で最も高くなっている。
- ・「緑の多い落ち着いた住環境だから」は30代(30.4%)、「身近な商店街など買い物に便利だから」は80代以上(24.2%)と70代(23.9%)、「目黒区のイメージがよいから」は40代(29.0%)と30代(28.8%)で高くなっている。

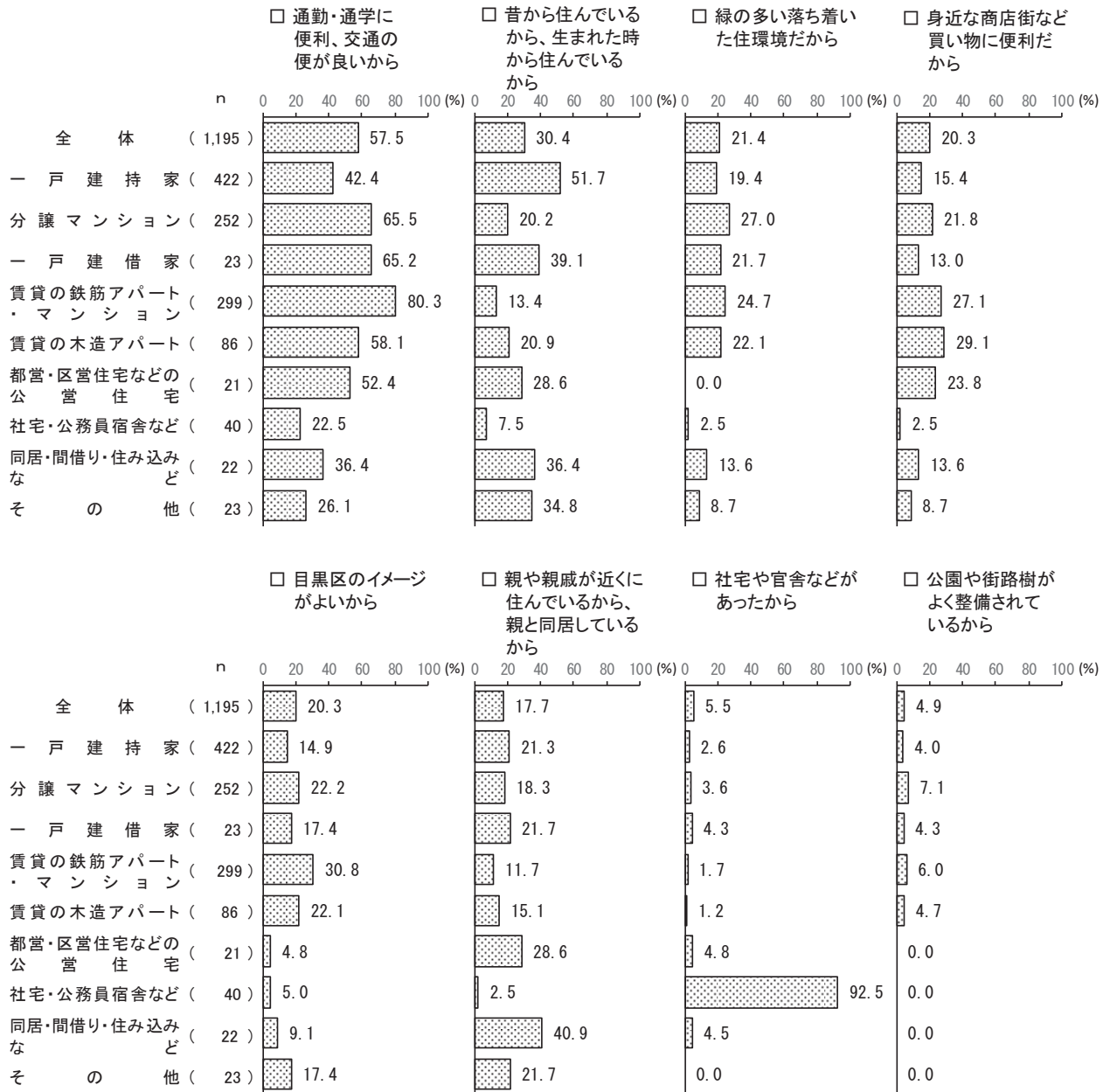
図1-2-5 居住理由【上位8項目】(年代別)



(6) 居住形態別

- ・「通勤・通学に便利、交通の便が良いから」は賃貸の鉄筋アパート・マンション（80.3%）で最も高く、次いで分譲マンション（65.5%）、一戸建借家（65.2%）の順となっている。
- ・「昔から住んでいるから、生まれた時から住んでいるから」は一戸建持家（51.7%）と一戸建借家（39.1%）で高くなっている。

図1-2-6 居住理由【上位8項目】（居住形態別）



1-3 定住・転出意向

問4 あなたは、目黒区に今後も住みたいと思いますか。(○は1つ)

- ・「ずっと住んでいたい」と「当分の間は住んでいたい」を合わせた『定住意向』は9割半ばを占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。また、中央地区、西部地区、東部地区、都営・区営住宅などの公営住宅、一戸建持家、分譲マンション、三世代家族で高くなっている。

(1) 全体

- ・「ずっと住んでいたい」51.2%と「当分の間は住んでいたい」43.8%を合わせた『定住意向』は95.0%となっている。
- ・『定住意向』の推移をみると、平成9年以降では95%前後となっている。一方、「あまり住んでいたくない」と「できれば引っ越したい」を合わせた『転出意向』の推移では、平成10年以降、5%以下となっている。

図1-3-1 定住・転出意向（全体）

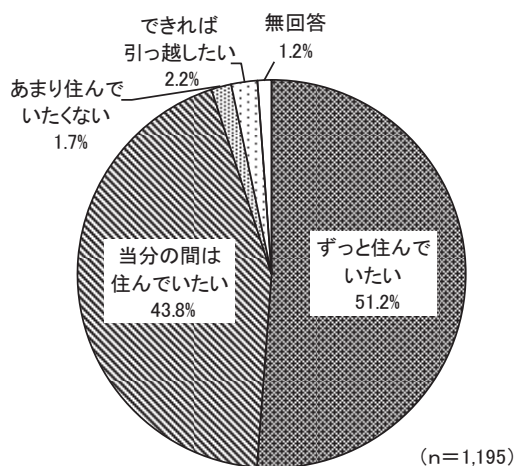
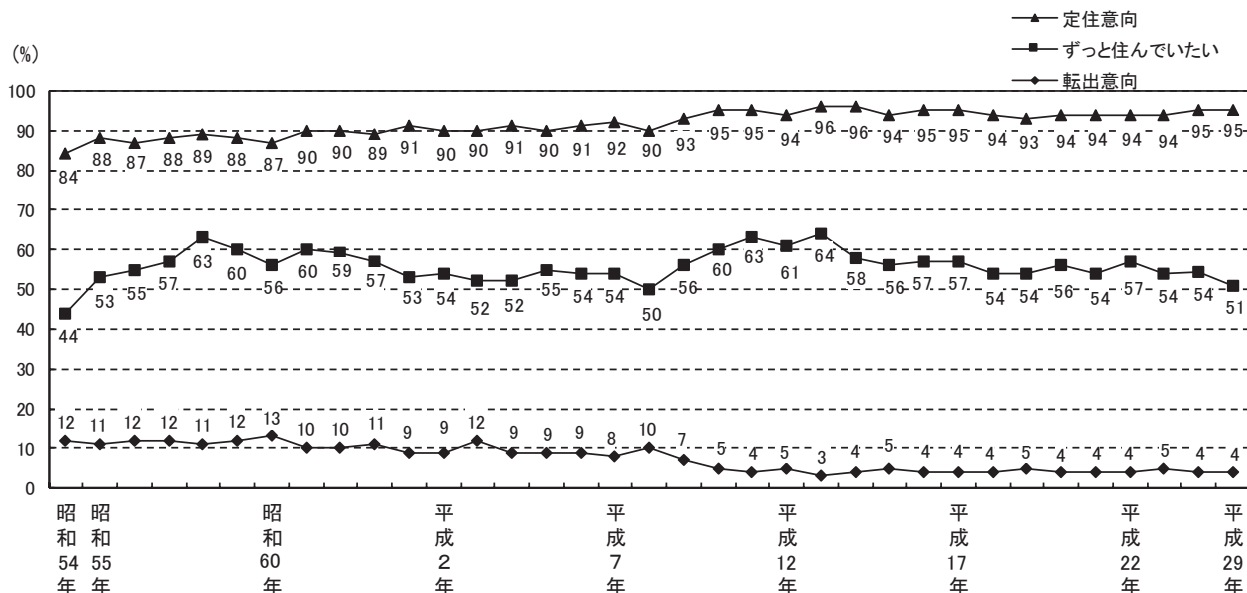


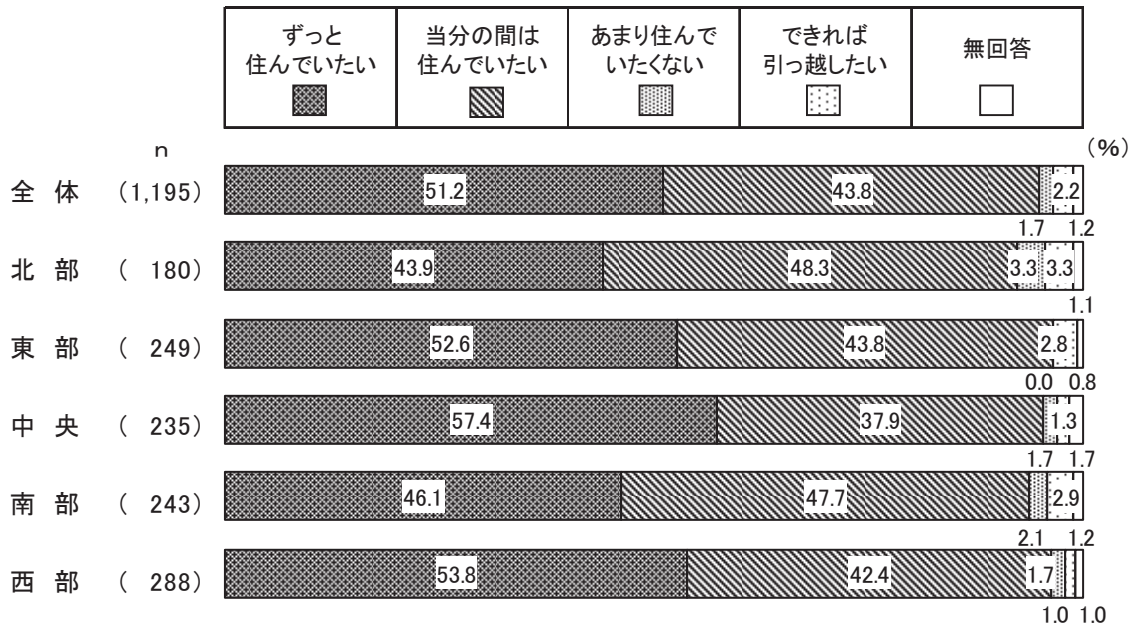
図1-3-2 定住・転出意向の推移（全体）



(2) 地区別

- ・『定住意向』はすべての地区で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は中央地区（57.4%）、西部地区（53.8%）、東部地区（52.6%）で高くなっている。

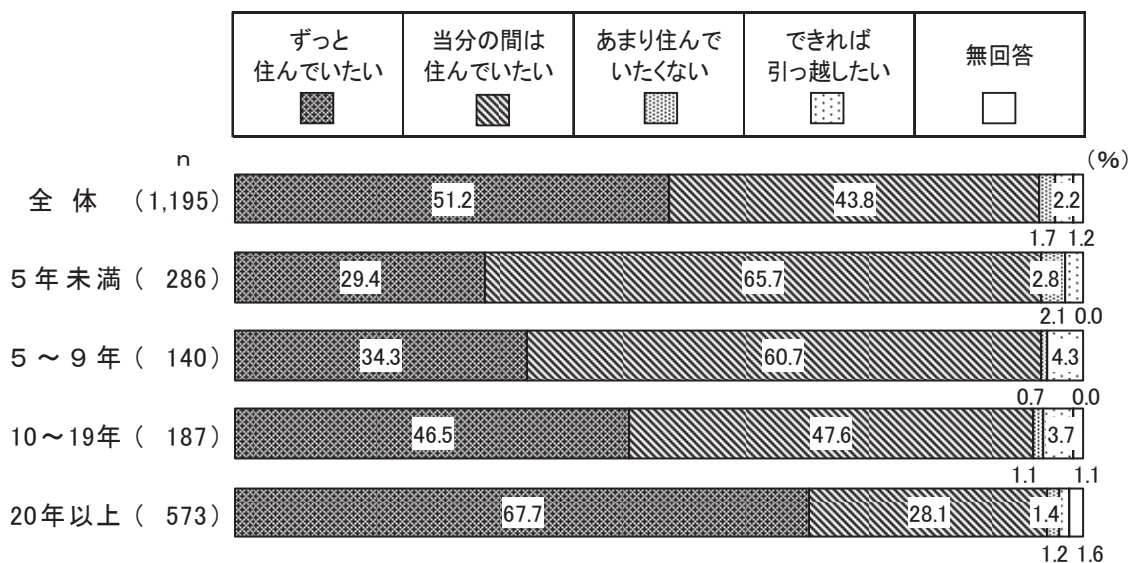
図1-3-3 定住・転出意向（地区別）



(3) 居住年数別

- ・『定住意向』はすべての居住年数で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にある。

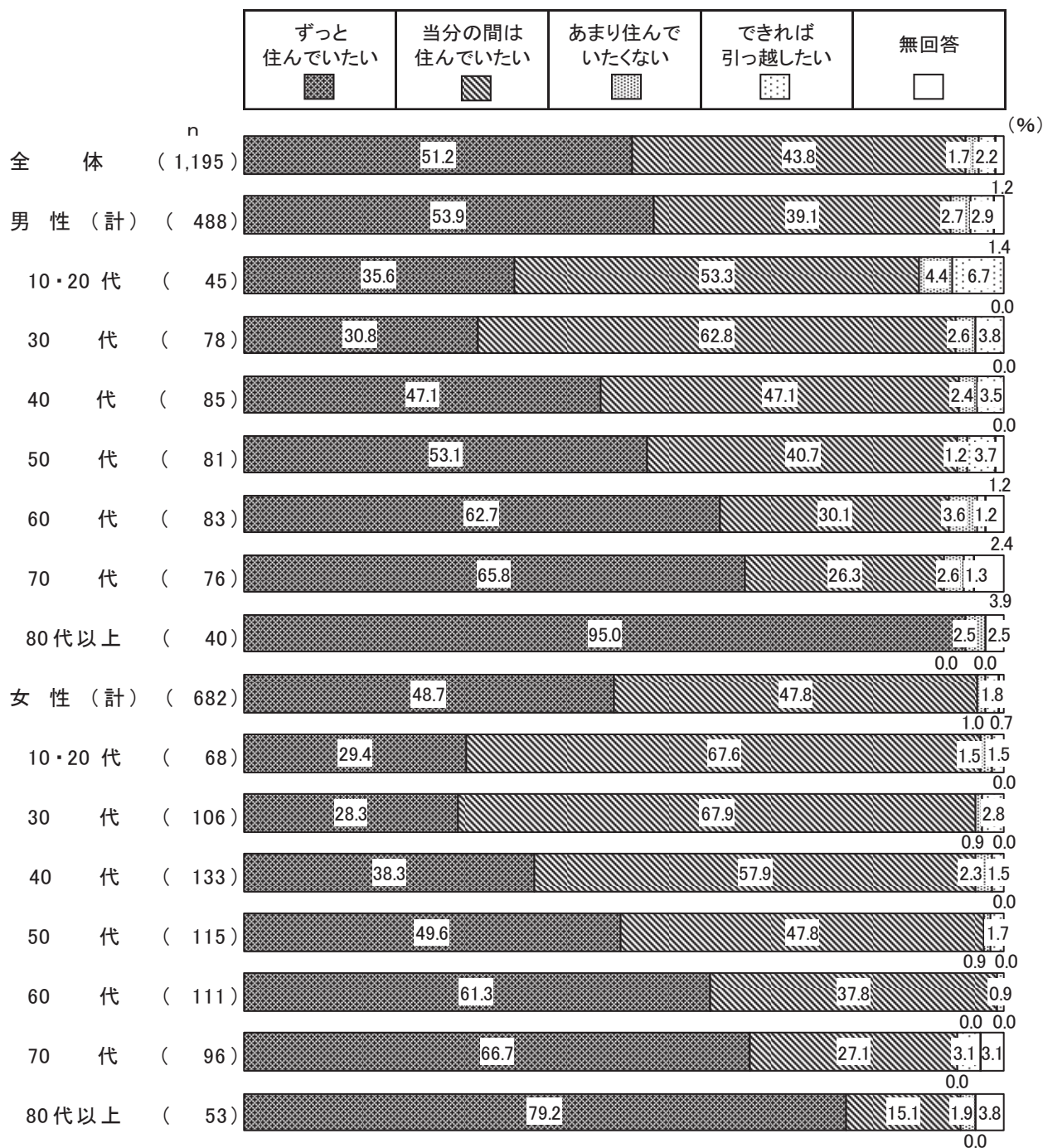
図1-3-4 定住・転出意向（居住年数別）



(4) 性・年代別

- ・『定住意向』は男性の10・20代(88.9%)を除くすべての性・年代で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「当分の間は住んでいたい」は男性の30代(62.8%)、女性の30代(67.9%)と10・20代(67.6%)で高くなっている。

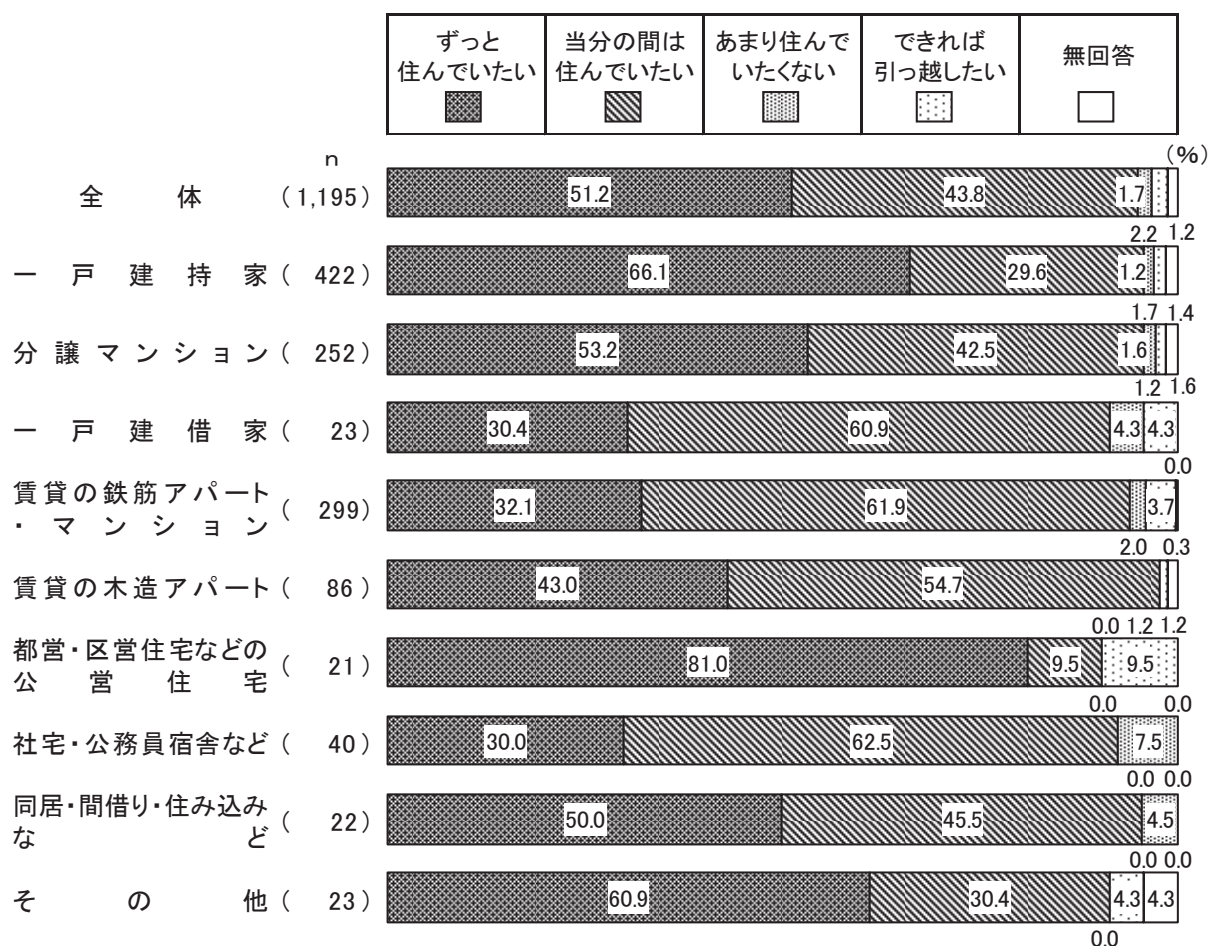
図1-3-5 定住・転出意向(性・年代別)



(5) 居住形態別

- ・「ずっと住んでいたい」は都営・区営住宅などの公営住宅（81.0%）、一戸建持家（66.1%）、分譲マンション（53.2%）で高くなっている。
- ・「当分の間は住んでいたい」は社宅・公務員宿舎など（62.5%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（61.9%）、一戸建借家（60.9%）で高くなっている。

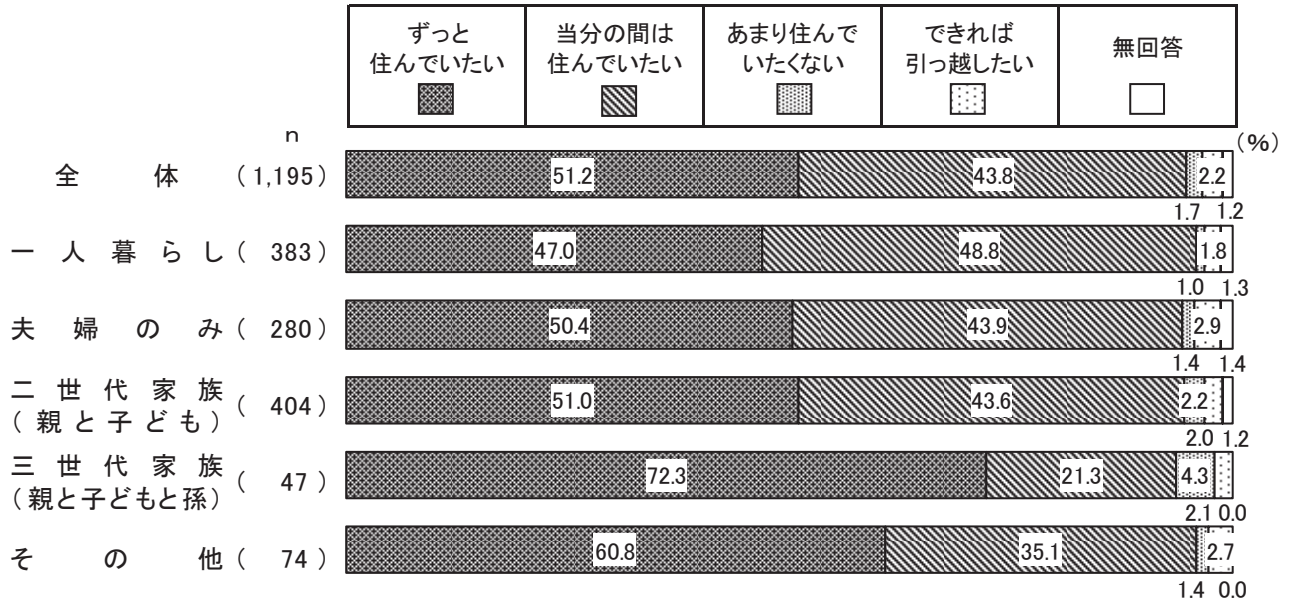
図1-3-6 定住・転出意向（居住形態別）



(6) 世帯構成別

- ・『定住意向』はすべての世帯構成で9割以上を占めている。
- ・「ずっと住んでいたい」は三世代家族（72.3%）で高くなっている。

図1-3-7 定住・転出意向（世帯構成別）



1-4 将来の居住地予想

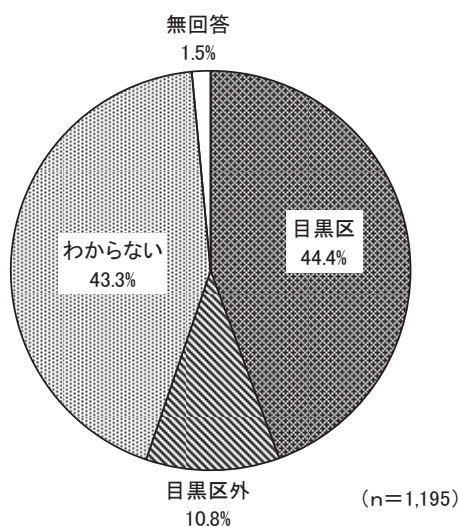
問5 あなたは、仕事の都合や家庭の事情などを考えると、十年後はどこに住んでいると思いますか。(〇は1つ)

- ・「目黒区」が4割半ば、「目黒区外」がほぼ1割となっている。
- ・「目黒区」は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60代、70代、80代以上で高くなっている。また、東部地区と西部地区、ずっと住んでいたい人、三世家族と二世家族、一戸建持家で高くなっている。

(1) 全体

- ・「目黒区」が44.4%、「目黒区外」が10.8%となっている。

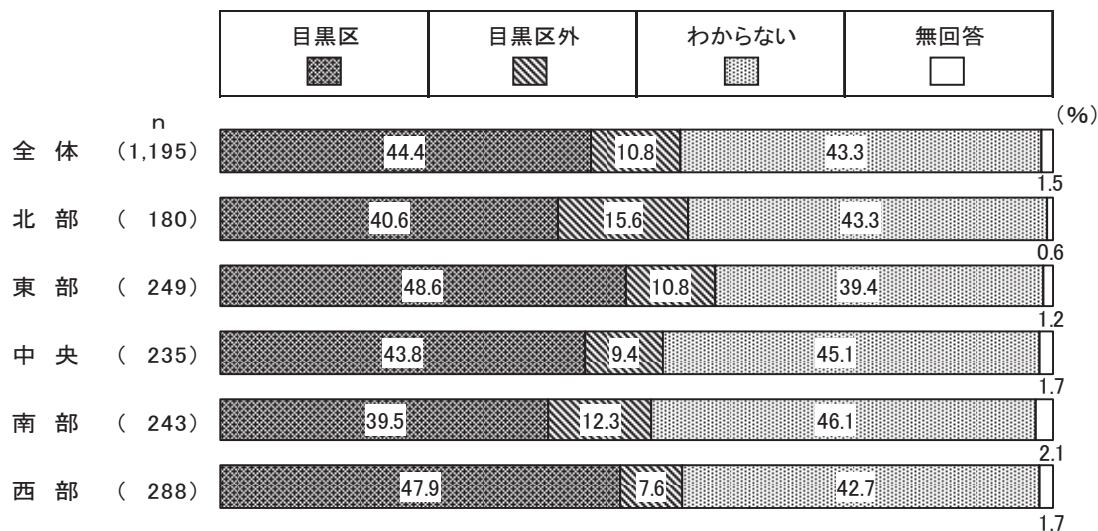
図1-4-1 将来の居住地予想 (全体)



(2) 地区別

- ・「目黒区」は東部地区 (48.6%) と西部地区 (47.9%) で高くなっている。
- ・「目黒区外」は北部地区 (15.6%) と南部地区 (12.3%) で高くなっている。

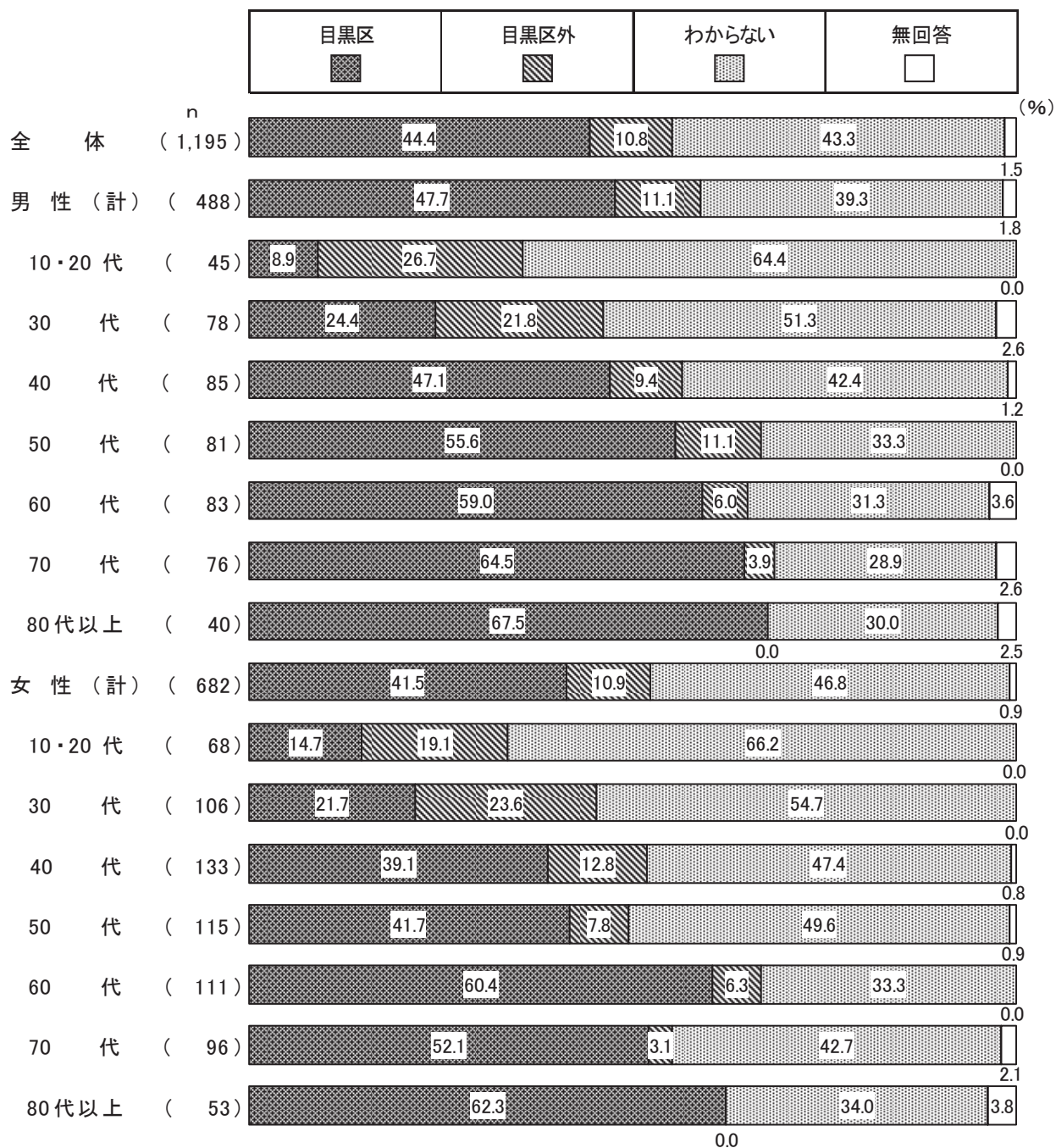
図1-4-2 将来の居住地予想 (地区別)



(3) 性・年代別

- ・「目黒区」は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、60代(男性59.0%、女性60.4%)、70代(男性64.5%、女性52.1%)、80代以上(男性67.5%、女性62.3%)で高くなっている。
- ・「目黒区外」は男性の10・20代(26.7%)と30代(21.8%)、女性の30代(23.6%)で高くなっている。

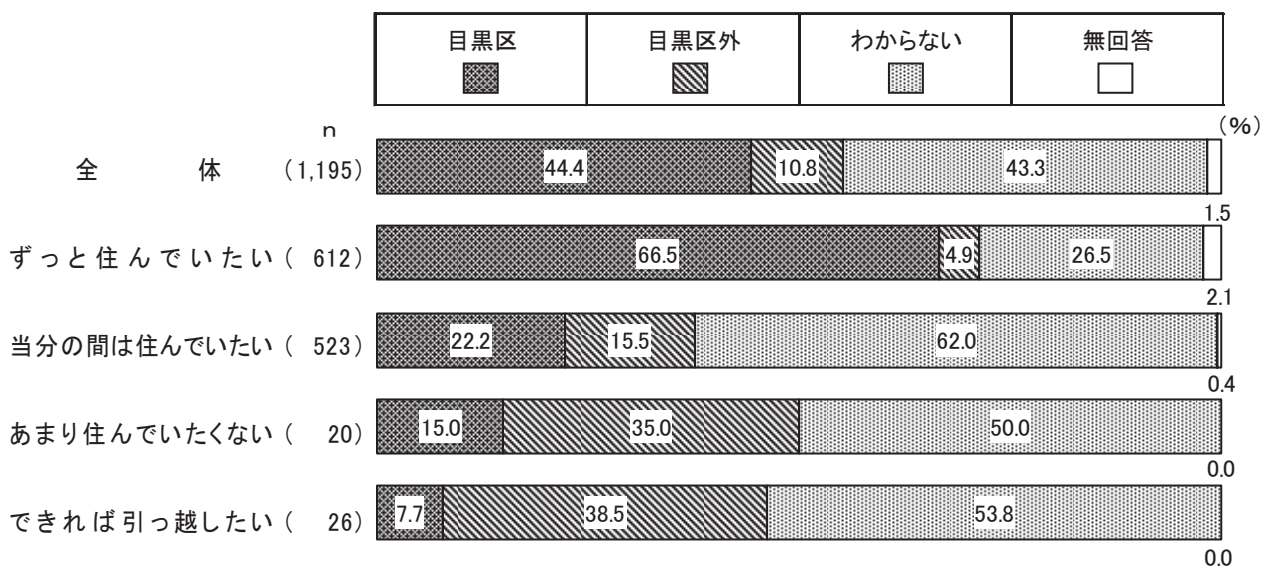
図1-4-3 将来の居住地予想(性・年代別)



(4) 定住意向別

- ・「目黒区」はずっと住んでいたい人（66.5%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」はできれば引っ越したい人（38.5%）とあまり住んでたくない人（35.0%）で高くなっている。
- ・「わからない」は当分の間は住んでいたい人（62.0%）で高くなっている。

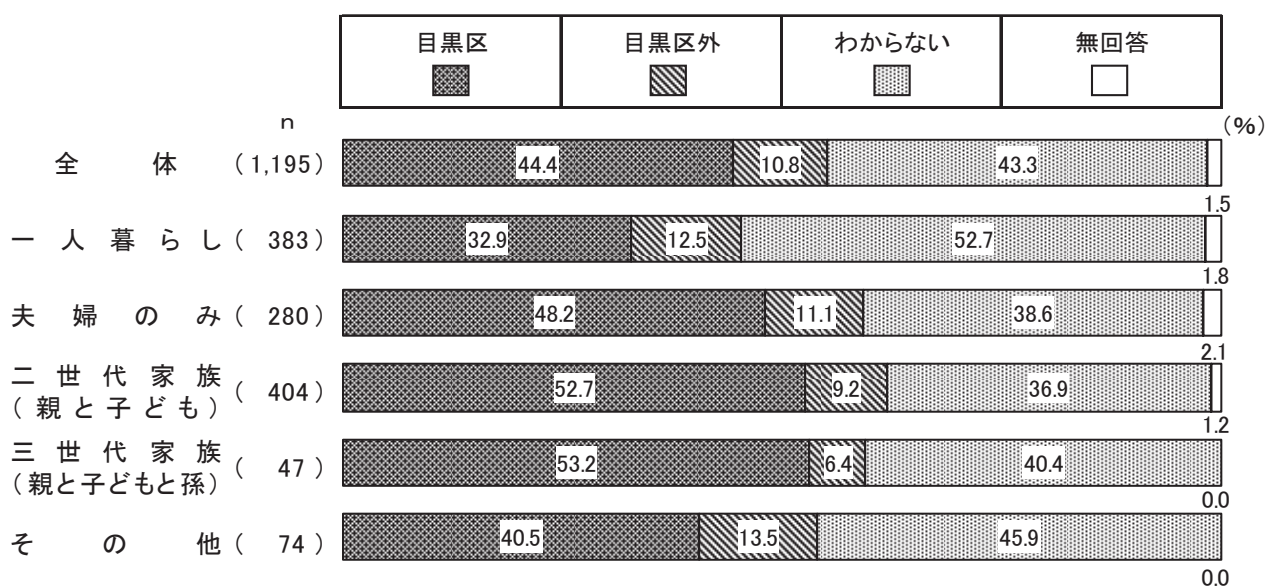
図 1-4-4 将来の居住地予想（定住意向別）



(5) 世帯構成別

- ・「目黒区」は三世代家族（53.2%）、二世代家族（52.7%）、夫婦のみ（48.2%）で高くなっている。
- ・「わからない」は一人暮らし（52.7%）で高くなっている。

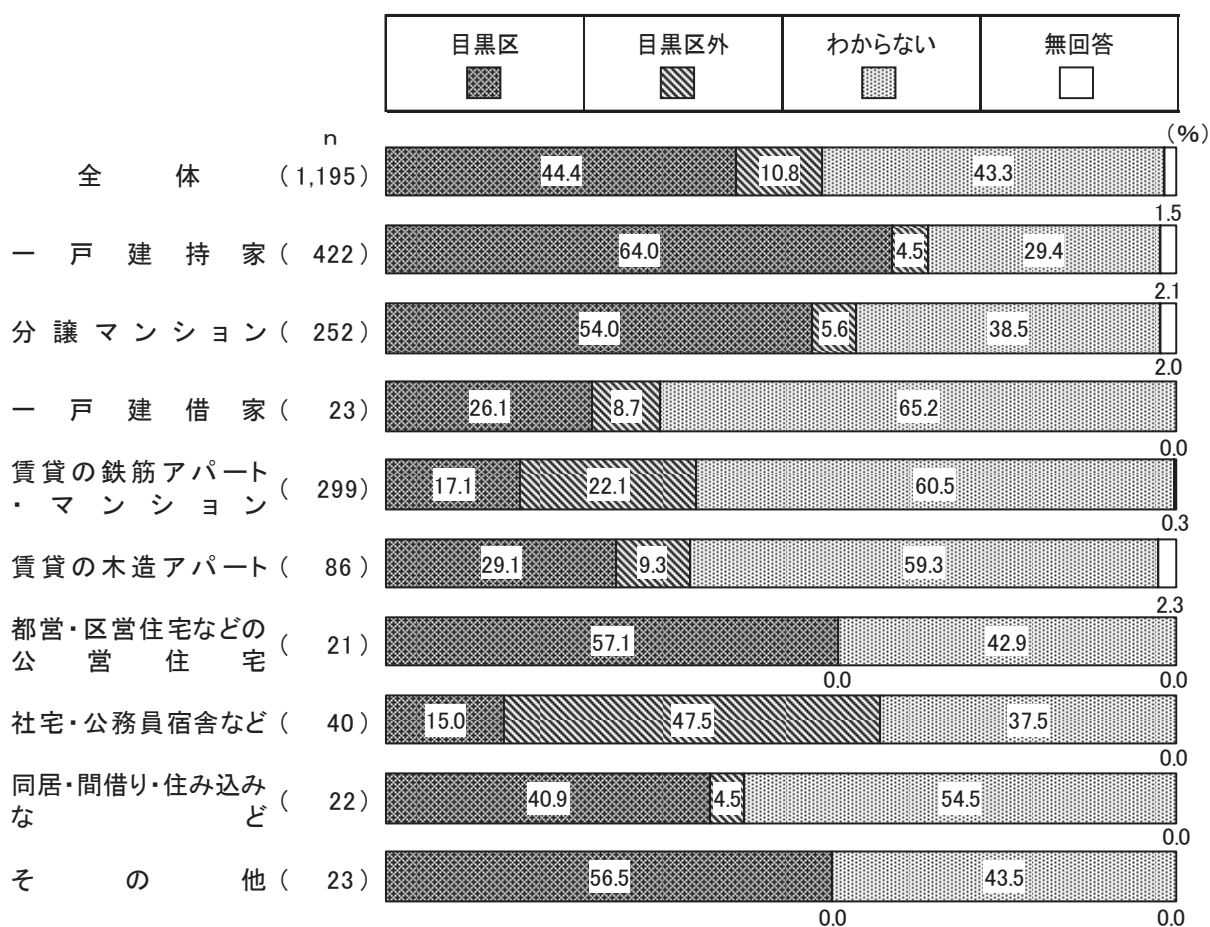
図 1-4-5 将来の居住地予想（世帯構成別）



(6) 居住形態別

- ・「目黒区」は一戸建持家（64.0%）、都営・区営住宅などの公営住宅（57.1%）、分譲マンション（54.0%）で高くなっている。
- ・「目黒区外」は社宅・公務員宿舎など（47.5%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（22.1%）で高くなっている。
- ・「わからない」は一戸建借家（65.2%）、賃貸の鉄筋アパート・マンション（60.5%）、賃貸の木造アパート（59.3%）で高くなっている。

図 1-4-6 将来の居住地予想（居住形態別）



2. 政治への関心度

2-1 区政・都政・国政への関心度

問6 あなたは、政治や行政に関心がありますか。

(○はそれぞれ「非常に関心がある」～「まったく関心がない」のうちの1つ)

- ・「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた『政治に関心がある』人は、区政では7割近く、都政では8割近く、国政ではほぼ8割となっている。
- ・『政治に関心がある』人は、区政、都政、国政ともに男性が女性を上回っている。年代別では、10・20代が低くなっているのに対し、他の年代では高くなっている。

(1) 全体

- ・「非常に関心がある」と「まあ関心がある」を合わせた『政治に関心がある』人は、区政では67.3%、都政では77.3%、国政では79.3%となっている。
- ・政治への関心度の推移をみると、平成10年以降、区政への関心度で6割以上、都政への関心度で7割程度、国政への関心度で8割前後を占めている。

図2-1-1 区政・都政・国政への関心度（全体）

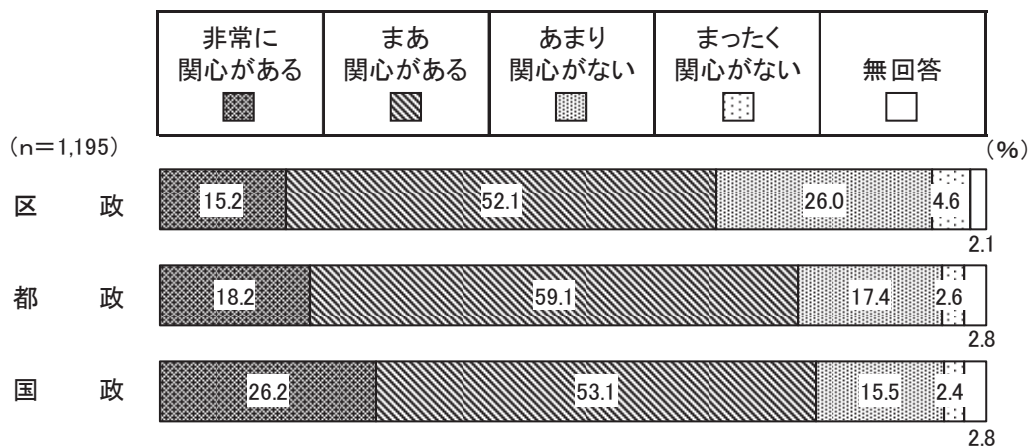


図 2-1-2 区政への関心度の推移（全体）

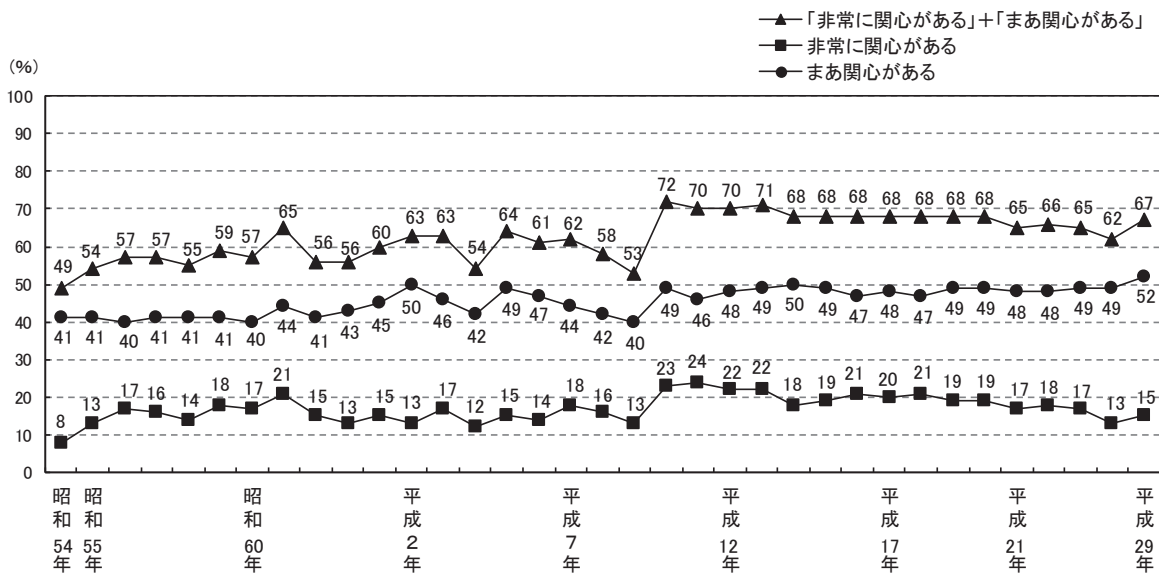


図 2-1-3 都政への関心度の推移（全体）

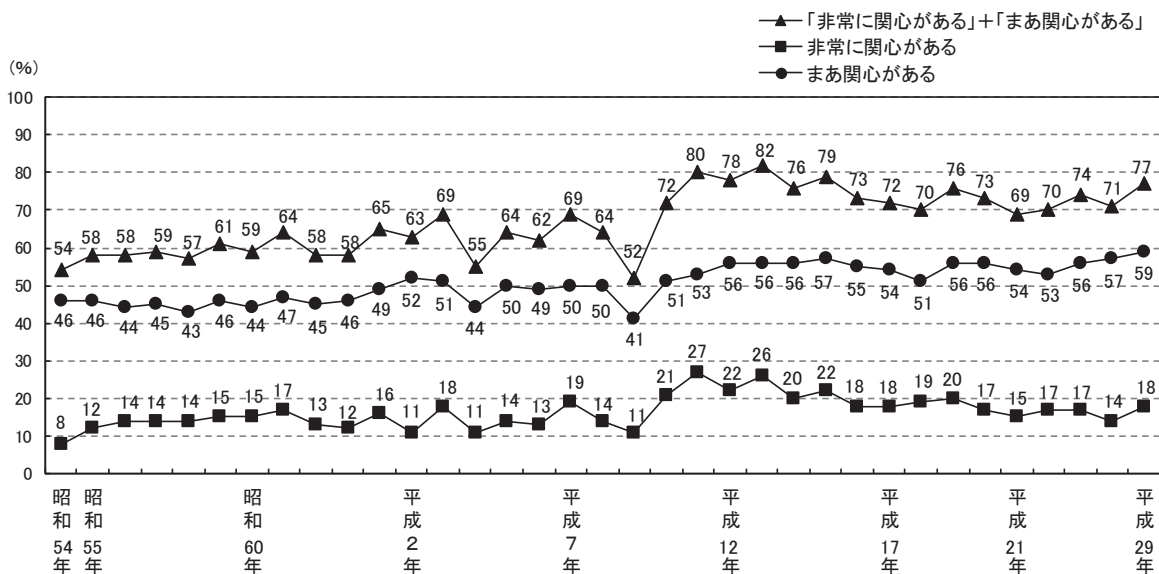
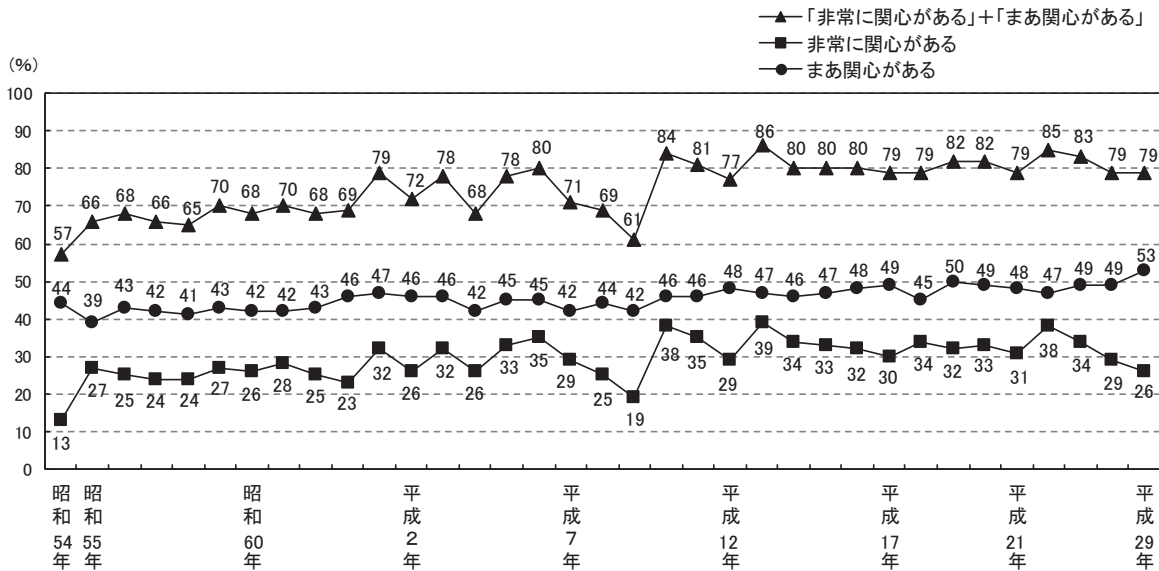


図 2-1-4 国政への関心度の推移（全体）



(2) 男女別

- ・『政治に関心がある』人は、区政では男性（67.3%）が女性（66.6%）を0.7ポイント、都政では男性（79.2%）が女性（75.7%）を3.5ポイント、国政では男性（83.0%）が女性（76.4%）を6.6ポイントそれぞれ上回っている。

図2-1-5 区政への関心度（男女別）

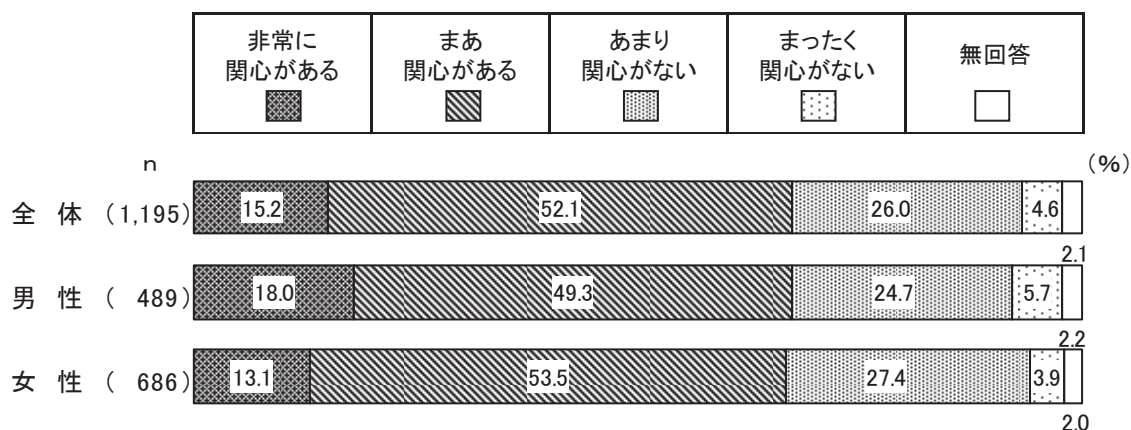


図2-1-6 都政への関心度（男女別）

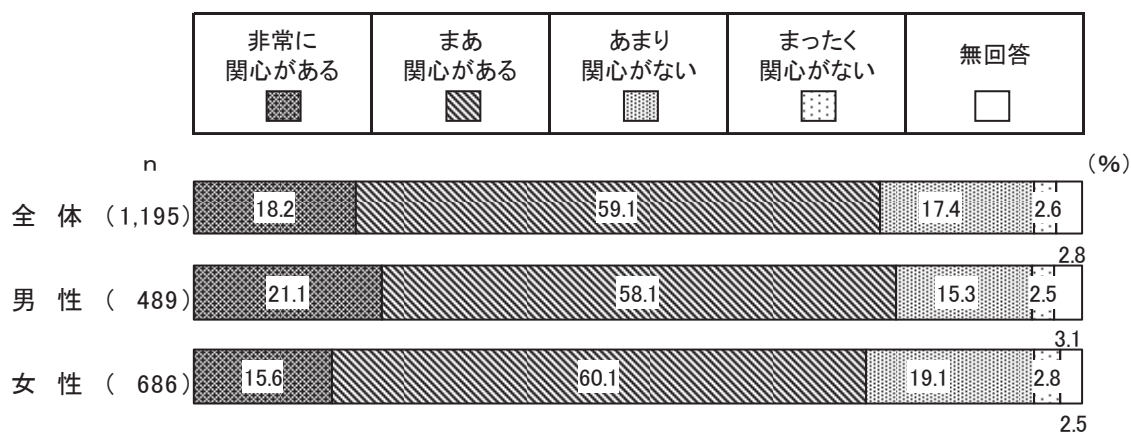
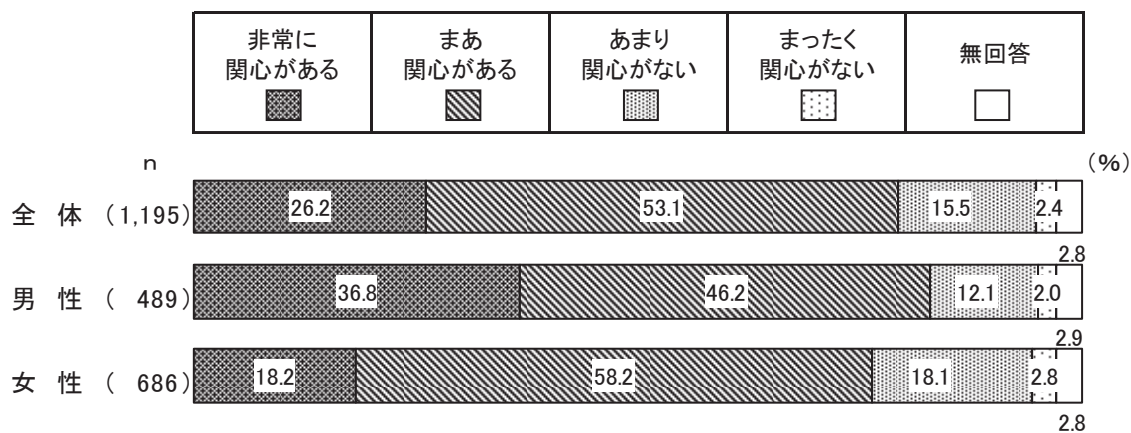


図2-1-7 国政への関心度（男女別）



(3) 年代別

・『政治に関心がある』人は、区政では40代(77.3%)、70代(75.6%)、50代(75.1%)で高くなっている。また、都政では50代(86.3%)、40代(83.2%)、30代(78.3%)、70代(77.9%)で高く、国政では40代(86.0%)、30代(82.1%)、50代(81.2%)、70代(80.1%)で高くなっている。また、これらの世代にくらべ10・20代の政治への関心度は低く、特に区政への関心度が低くなっている。

図2-1-8 区政への関心度(年代別)

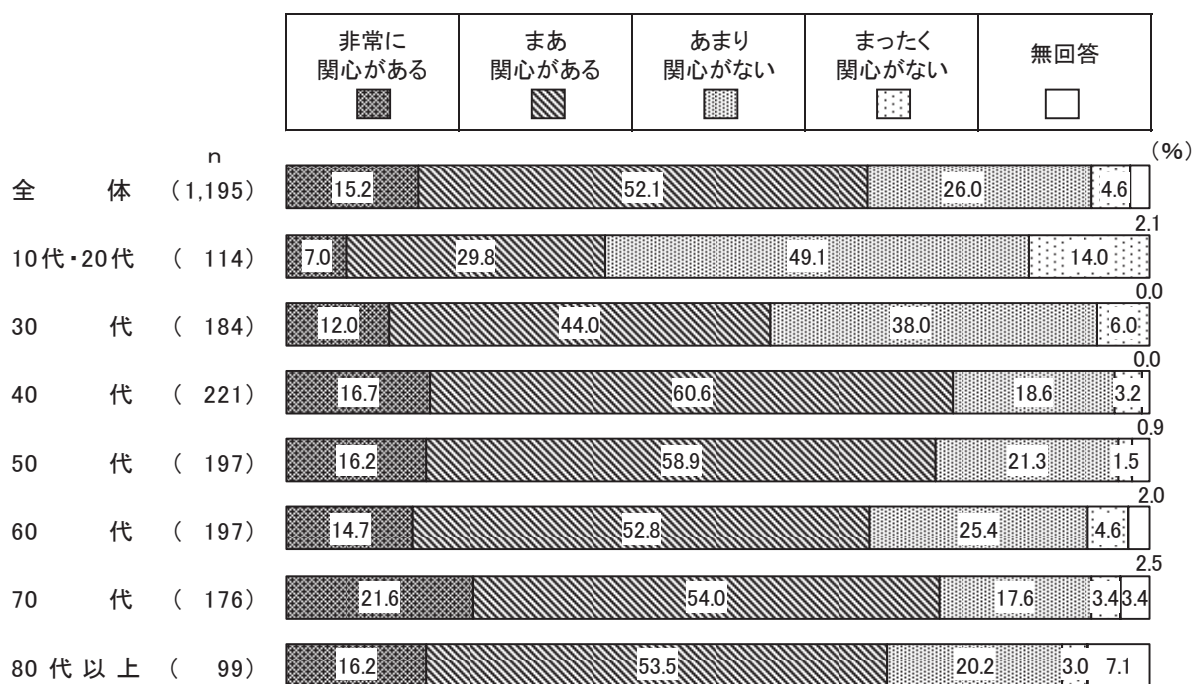


図2-1-9 都政への関心度(年代別)

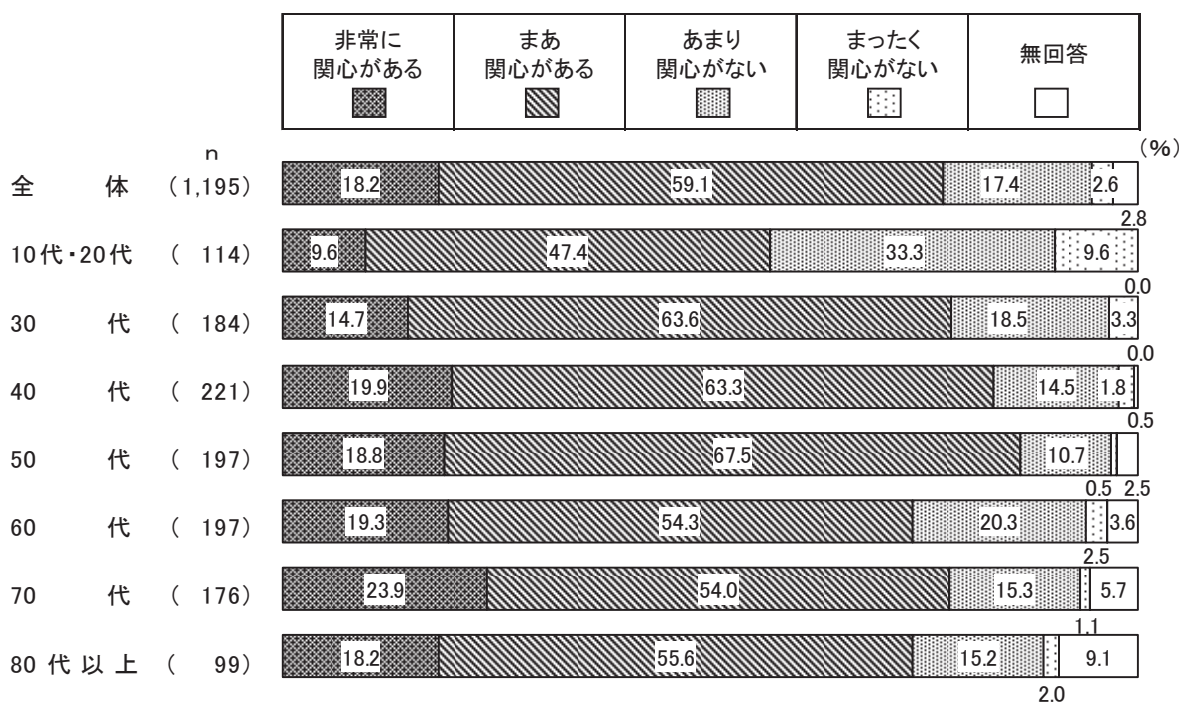
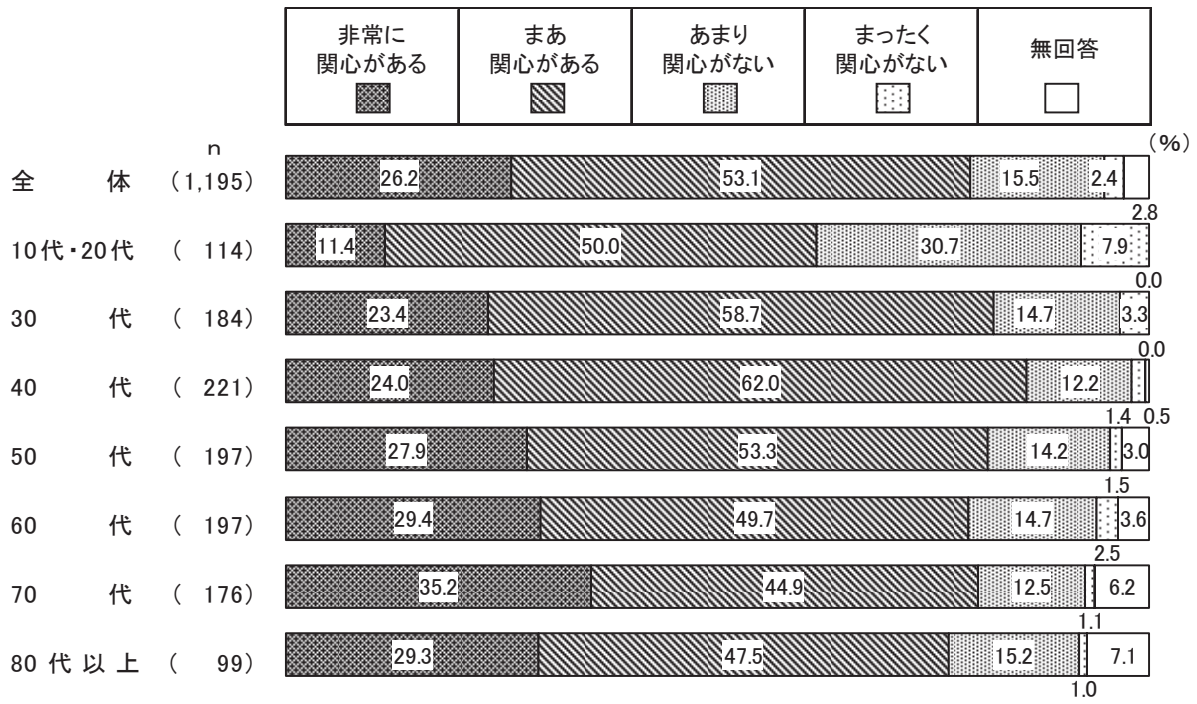


図 2-1-10 国政への関心度（年代別）



2-2 区長の名前の認知度

問7 あなたは、現在の目黒区長の名前を知っていますか。(○は1つ)

- ・「知っている」は6割を占めている。
- ・「知っている」は女性が男性を上回っており、高い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・「知っている」が59.7%、「知らない」が38.5%となっている。
- ・「知っている」の推移をみると、平成22年以降ほぼ6割で推移している。

図2-2-1 区長の名前の認知度（全体）

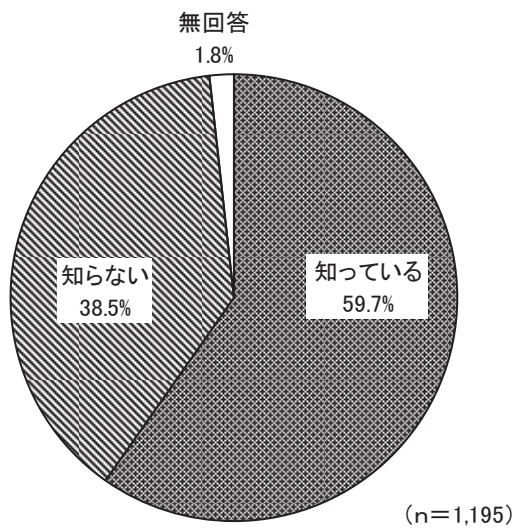
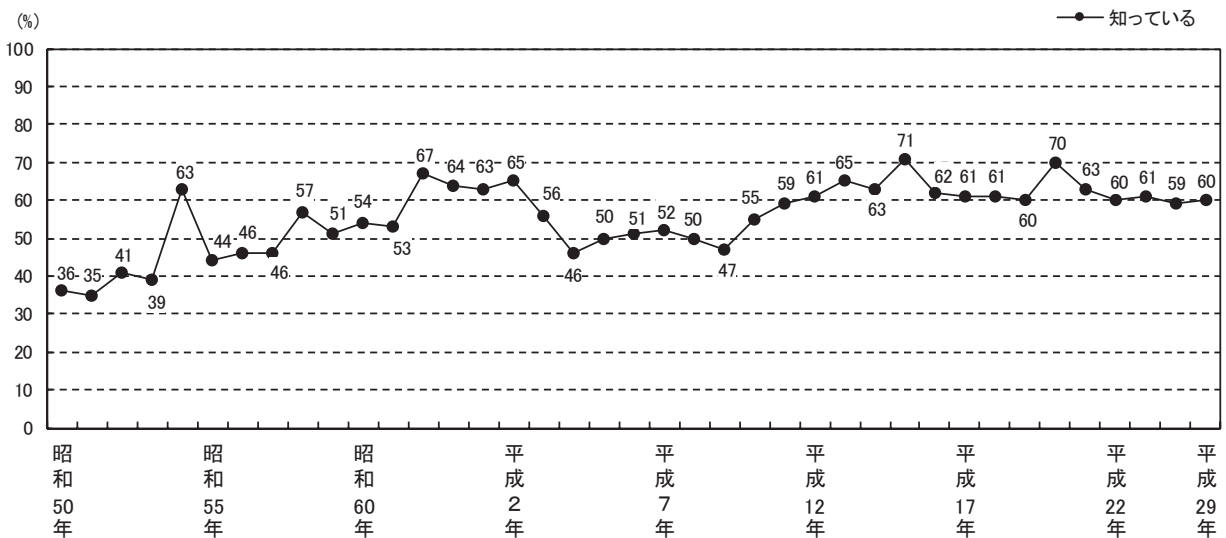


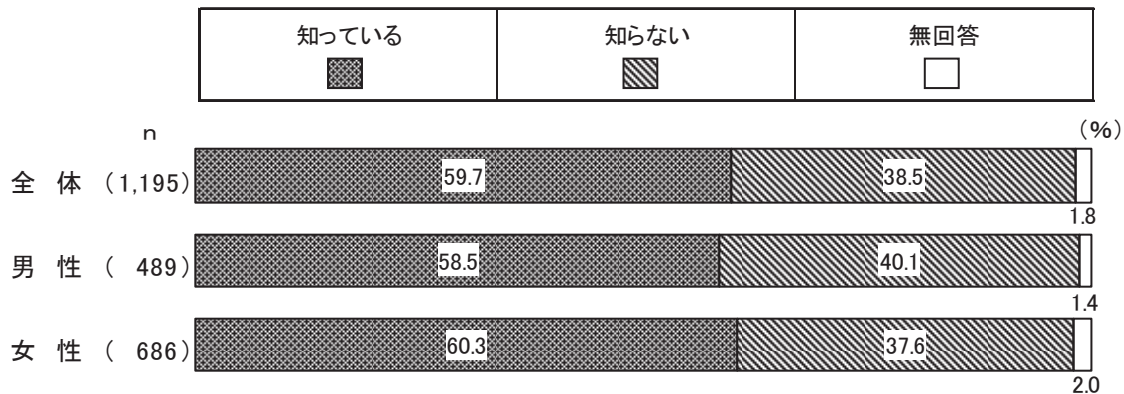
図2-2-2 区長の名前の認知度の推移（「知っている」のみ）（全体）



(2) 男女別

- ・「知っている」は女性（60.3%）が男性（58.5%）を1.8ポイント上回っている。

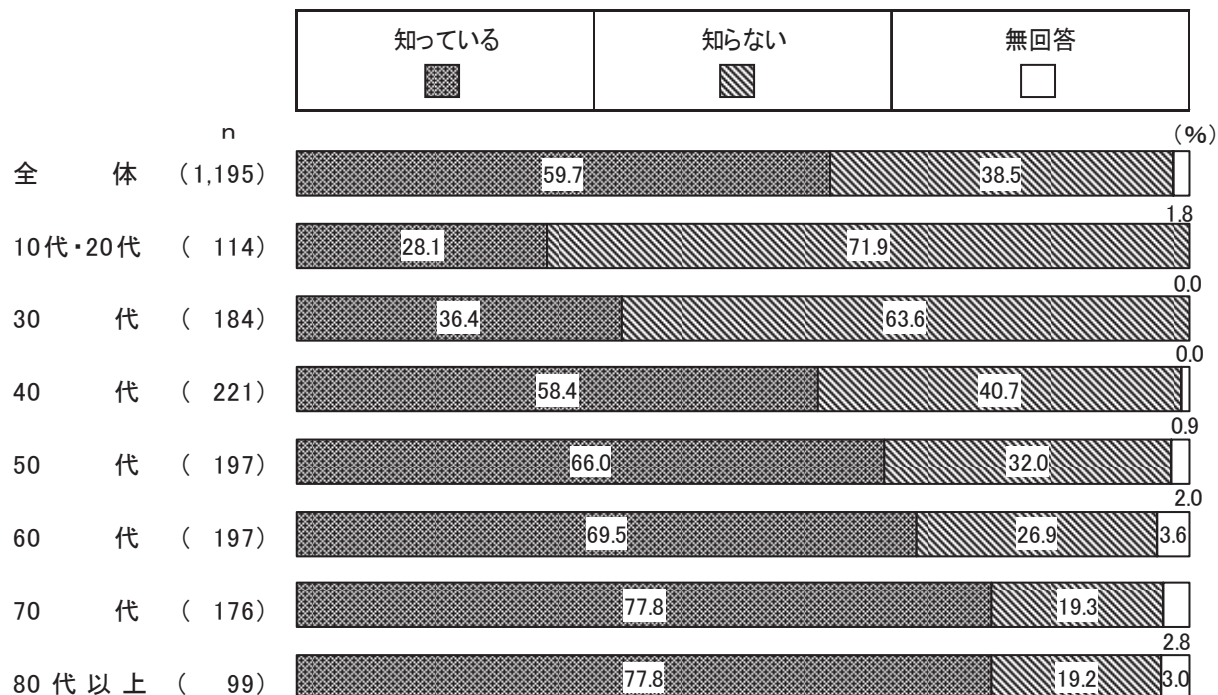
図 2-2-3 区長の名前の認知度（男女別）



(3) 年代別

- ・「知っている」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、70代と80代以上（ともに77.8%）で最も高くなっている。

図 2-2-4 区長の名前の認知度（年代別）



3. 区の施策

3-1 良いと思うところ・悪いと思うところ

問8 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の施策の中からそれぞれ5つまで選び、記入してください。

● 良いと思うところ

- ・第1位は「公園・緑化」、第2位は「清掃・リサイクル」、第3位は「防犯」となっている。
- ・「公園・緑化」は男性の30代と50代、女性の30代と40代、西部地区と東部地区で高くなっている。また、「清掃・リサイクル」は男性、女性ともに60代と70代で高くなっている。

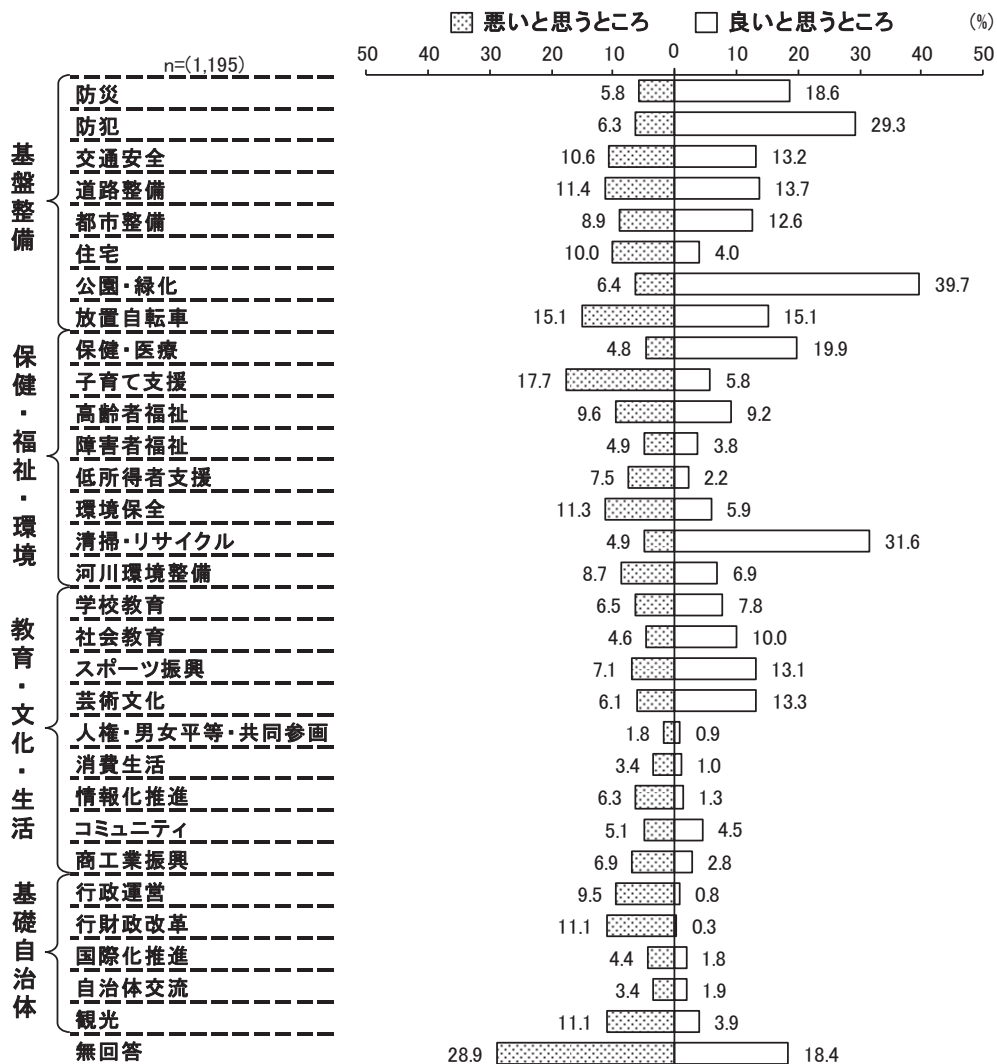
● 悪いと思うところ

- ・第1位は「子育て支援」、第2位は「放置自転車」、第3位は「道路整備」となっている。
- ・「子育て支援」は男性、女性ともに30代、東部地区で高くなっている。また、「放置自転車」は、男性の70代、女性の50代と60代、北部地区、中央地区、南部地区で高くなっている。

(1) 全体

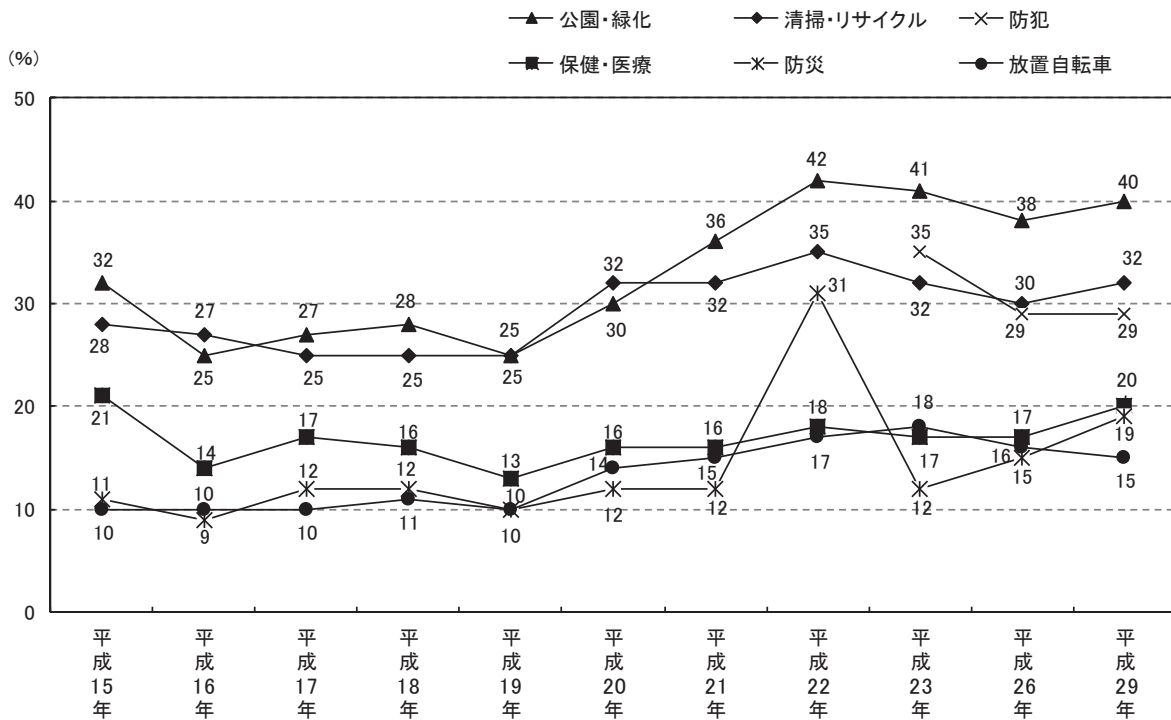
- ・良いと思うところの第1位は「公園・緑化」39.7%、第2位は「清掃・リサイクル」31.6%、第3位は「防犯」29.3%、第4位は「保健・医療」19.9%、第5位は「防災」18.6%となっている。
- ・悪いと思うところの第1位は「子育て支援」17.7%、第2位は「放置自転車」15.1%、第3位は「道路整備」11.4%、第4位は「環境保全」11.3%、第5位は「行財政改革」と「観光」とともに11.1%となっている。

図3-1-1 良いと思うところ・悪いと思うところ（全体）



- ・ 良いと思うところの推移をみると、「公園・緑化」は平成 21 年以降 4 割前後で第 1 位となっている。
- ・ 悪いと思うところの推移をみると、「子育て支援」は平成 26 年の第 2 位から、6 ポイント上昇し、第 1 位となっている。

図 3-1-2 良いと思うところの推移【上位 6 項目】（全体）



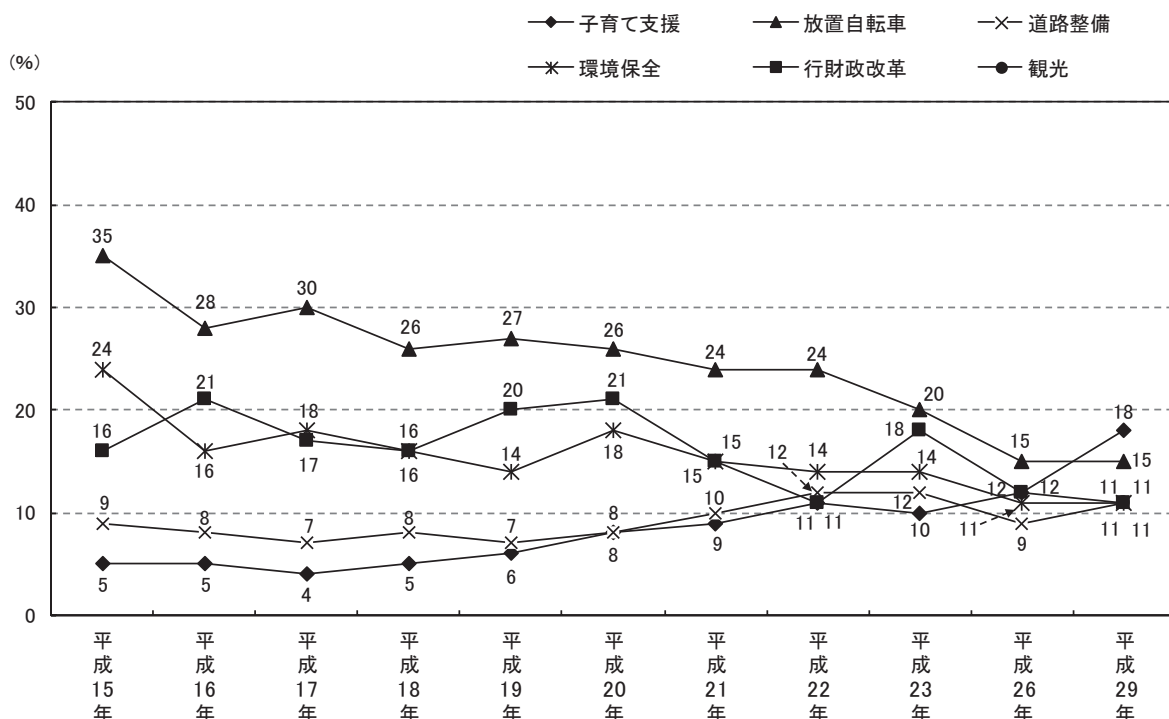
※平成 22 年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた

※「防犯」は平成 23 年から新設した選択肢

※「観光」は今回調査から新設した選択肢（図 3-1-3）

※このグラフは今回調査における上位 6 項目の推移である（図 3-1-3 も同様）

図 3-1-3 悪いと思うところの推移【上位 6 項目】（全体）

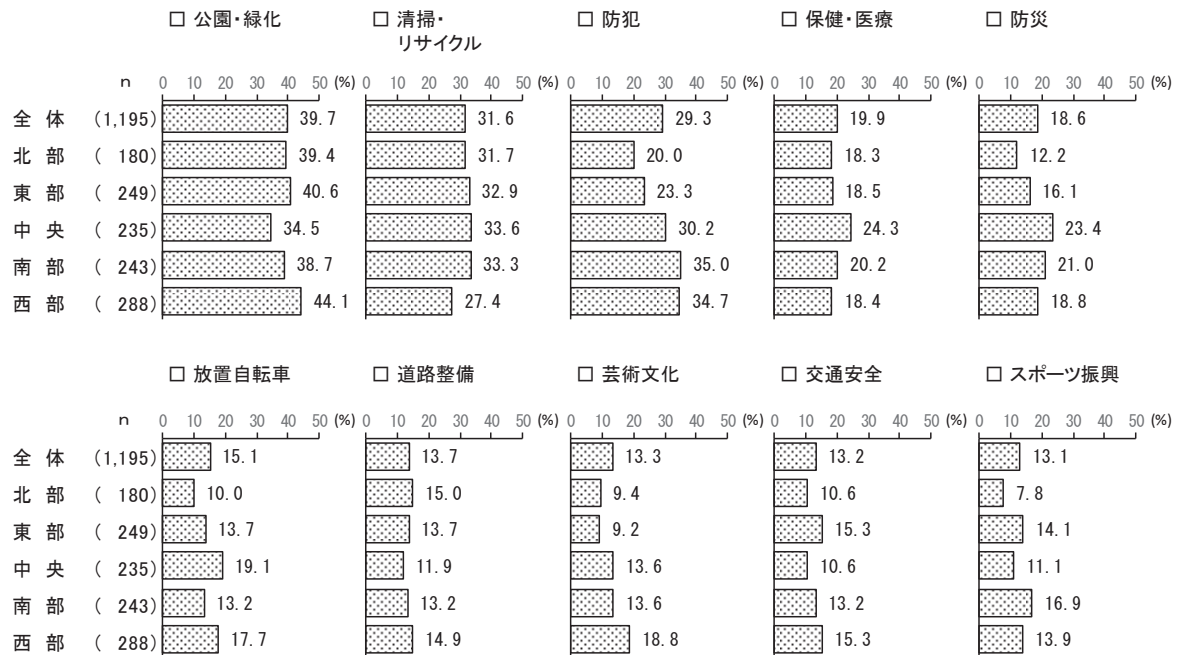


(2) 地区別

①良いと思うところ

- ・「公園・緑化」は西部地区（44.1%）と東部地区（40.6%）で高くなっている。
- ・「清掃・リサイクル」は西部地区（27.4%）以外の4地区で30%を超えており、中央地区（33.6%）で最も高くなっている。
- ・「防犯」は南部地区（35.0%）と西部地区（34.7%）で高く、「保健・医療」は中央地区（24.3%）で高くなっている。

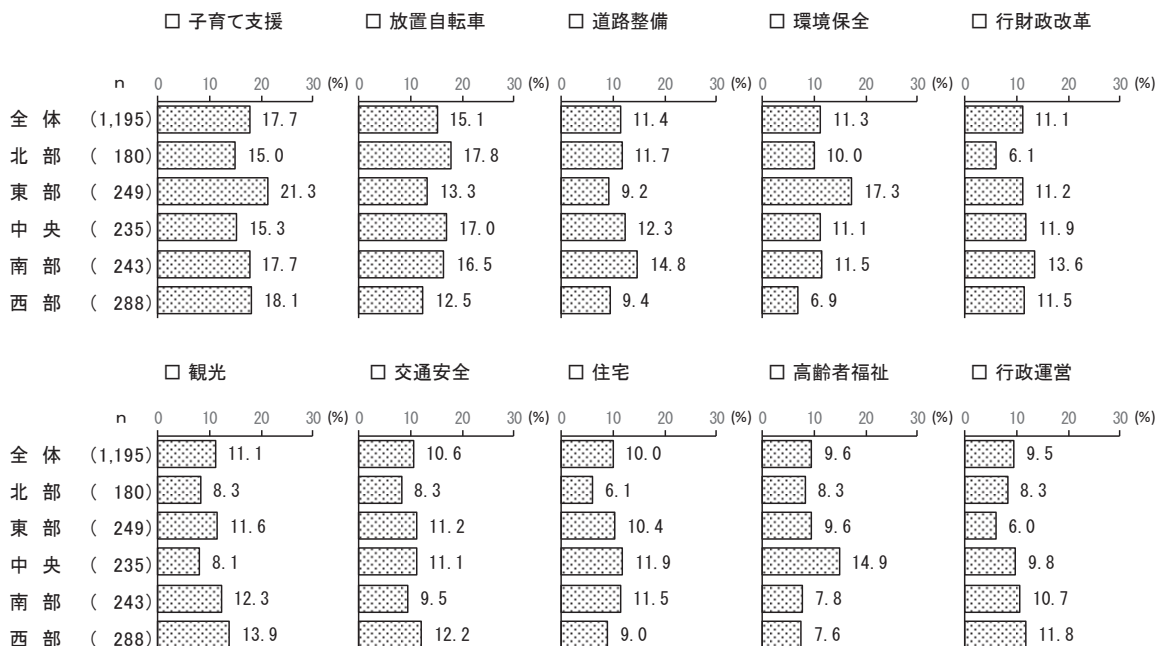
図3-1-4 良いと思うところ【上位10項目】（地区別）



②悪いと思うところ

- ・「子育て支援」は東部地区（21.3%）で高くなっている。
- ・「放置自転車」は北部地区（17.8%）、中央地区（17.0%）、南部地区（16.5%）で高くなっている。

図3-1-5 悪いと思うところ【上位10項目】（地区別）

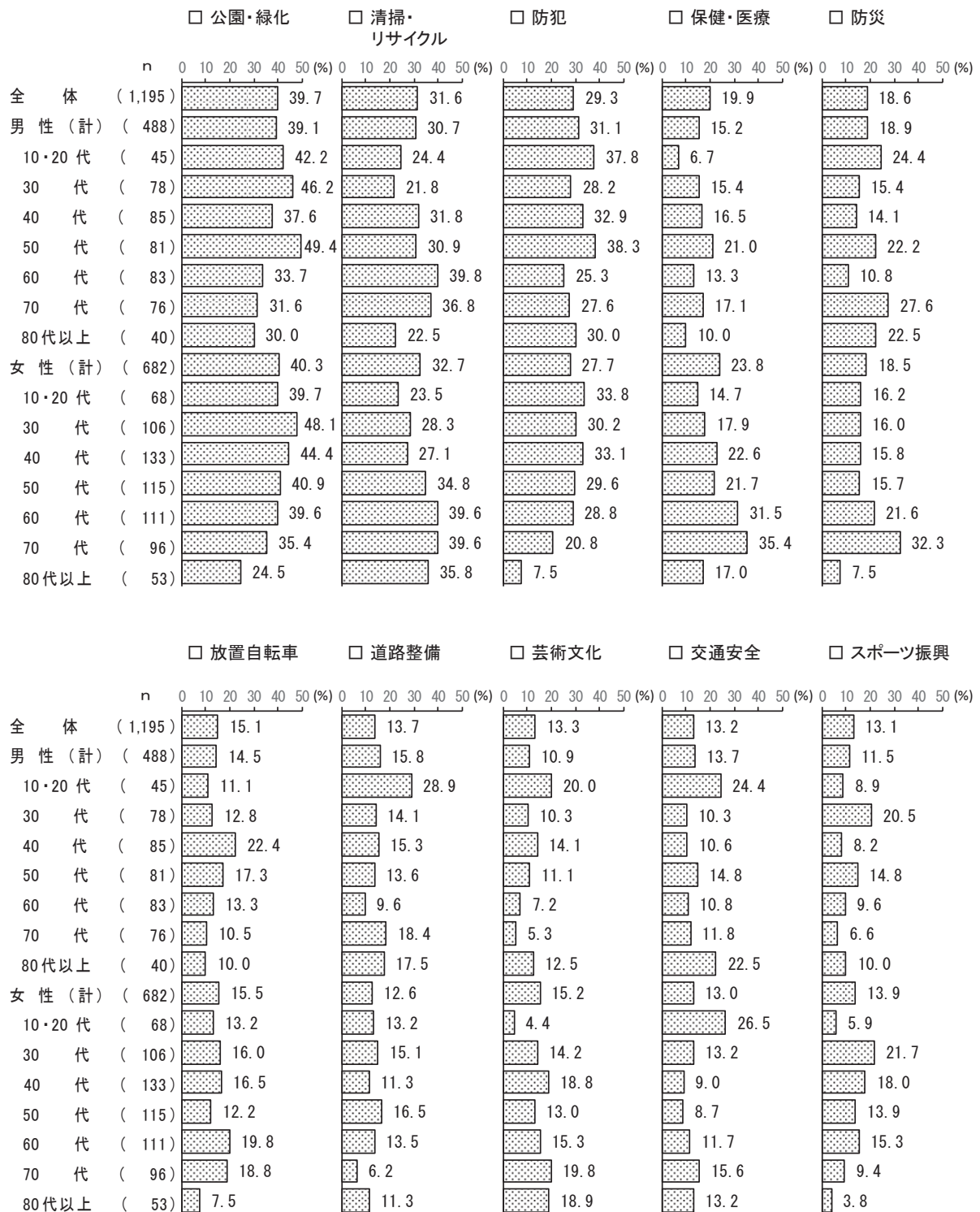


(3) 性・年代別

①良いと思うところ

- ・「公園・緑化」は男性の50代(49.4%)と30代(46.2%)、女性の30代(48.1%)と40代(44.4%)で高くなっている。
- ・「清掃・リサイクル」は男性の60代(39.8%)と70代(36.8%)、女性の60代と70代(ともに39.6%)で高く、「防犯」は男性の50代(38.3%)と10・20代(37.8%)、女性の10・20代(33.8%)と40代(33.1%)で高くなっている。

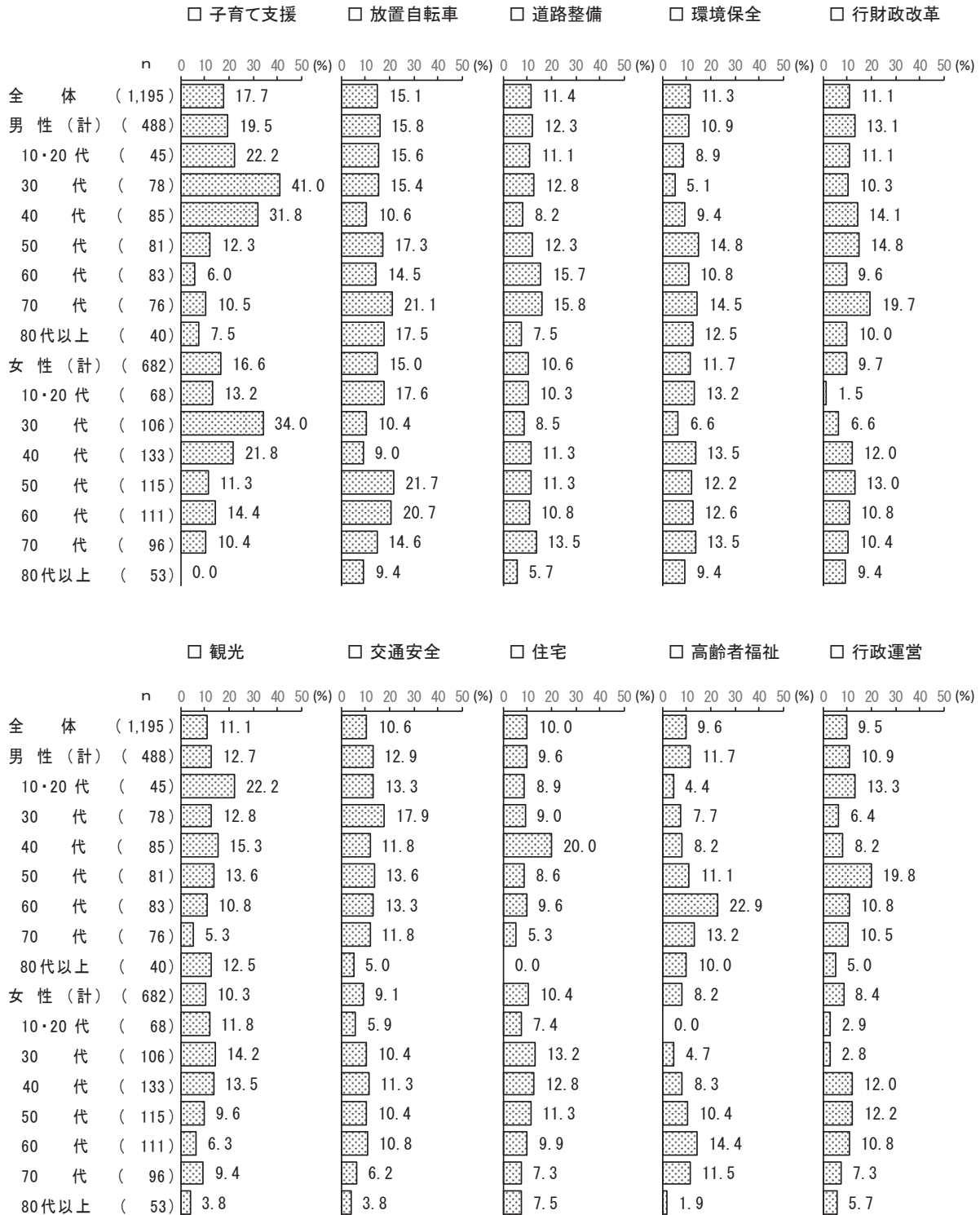
図3-1-6 良いと思うところ【上位10項目】(性・年代別)



②悪いと思うところ

- ・「子育て支援」は男性、女性ともに30代（男性41.0%、女性34.0%）で高くなっている。
- ・「放置自転車」は男性の70代（21.1%）、女性の50代（21.7%）と60代（20.7%）で高くなっている。
- ・「道路整備」は男性の70代（15.8%）と60代（15.7%）、女性の70代（13.5%）で高くなっている。

図3-1-7 悪いと思うところ【上位10項目】（性・年代別）



3-2 優先して行ってほしいところ

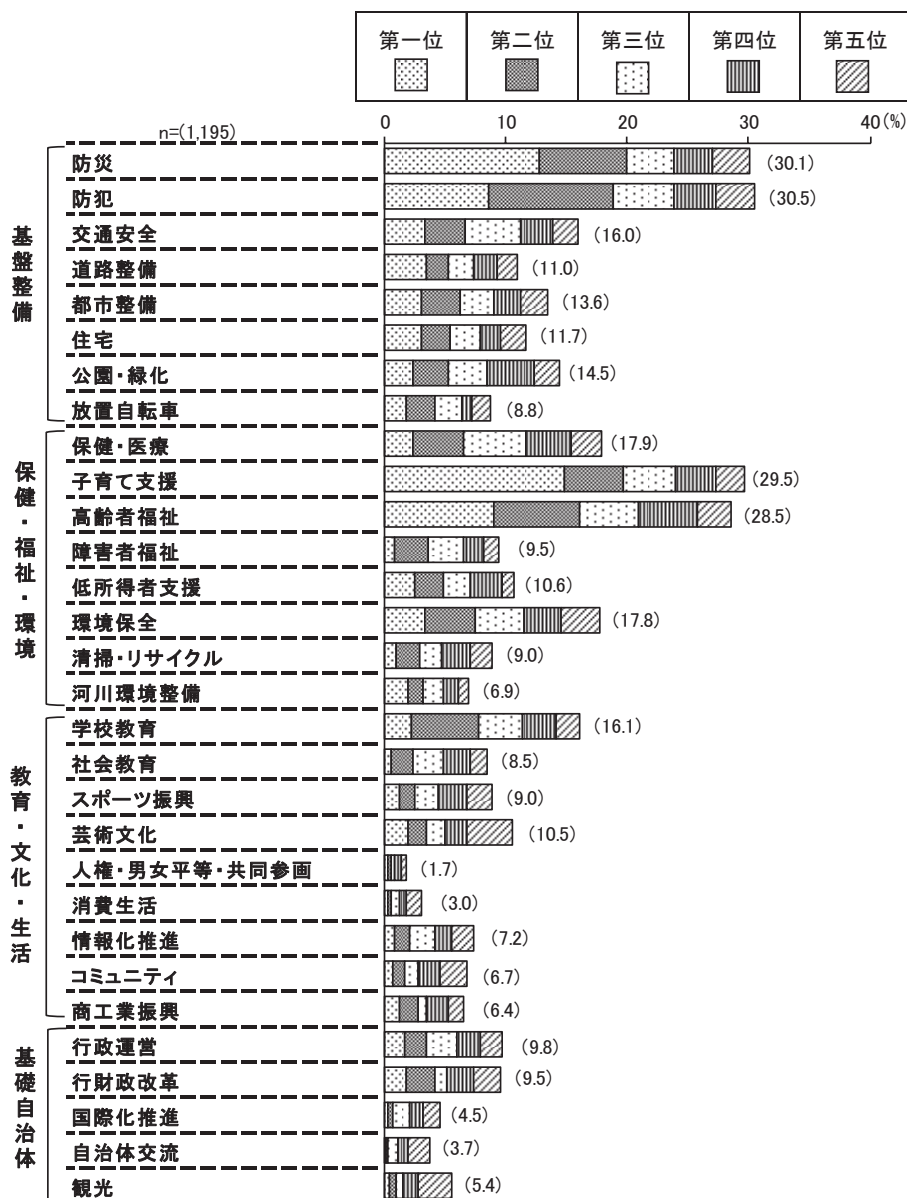
問8 あなたは、区の施策についてどのように思いますか。下表の施策の中からそれぞれ5つまで選び、記入してください。

- ・優先して行ってほしい施策の総数のうち、第1位は「防犯」、第2位は「防災」、第3位は「子育て支援」、第4位は「高齢者福祉」となっている。
- ・「防犯」は女性が男性を上回っており、男性の10・20代と女性の40代、北部地区と中央地区で高くなっている。
- ・「防災」は男性の50代、女性の30代と50代、北部地区で高くなっている。
- ・「子育て支援」は男性の30代と40代、女性の30代、東部地区で高くなっている。
- ・「高齢者福祉」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の60代と80代以上、女性の50代、60代、70代、中央地区で高くなっている。

(1) 全体

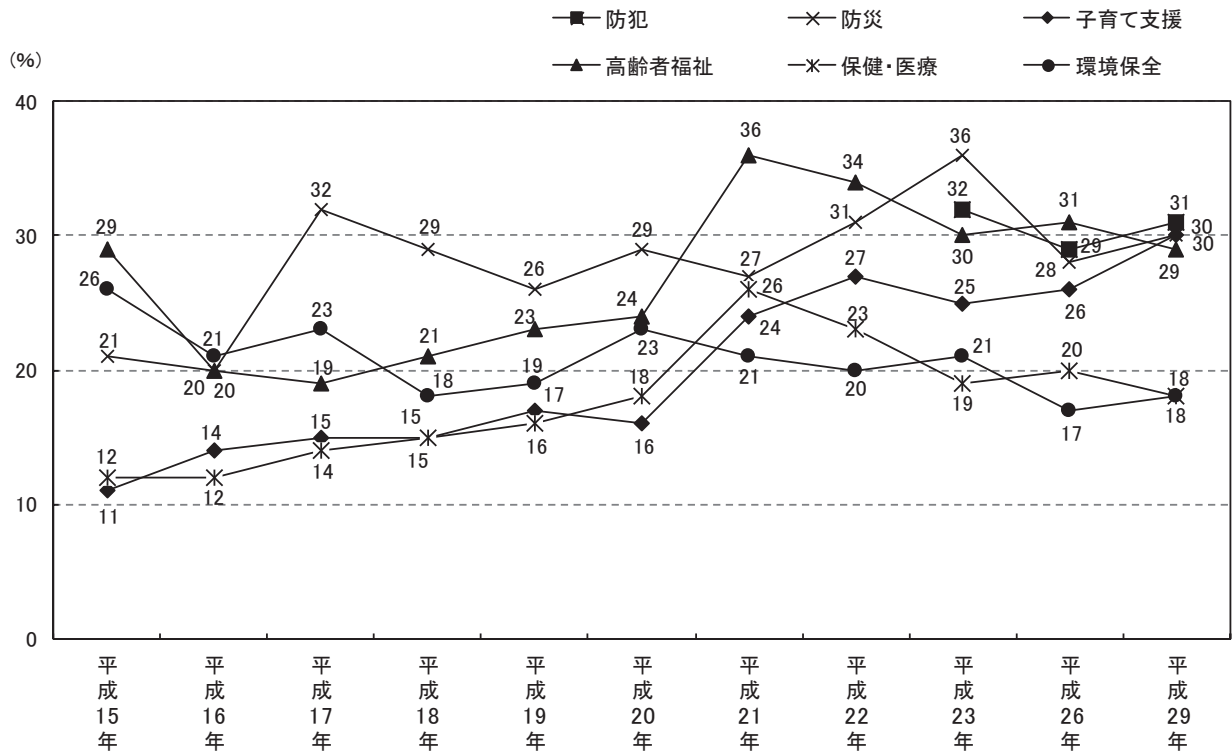
- ・優先して行ってほしい施策の総数のうち、第1位は「防犯」30.5%、第2位は「防災」30.1%、第3位は「子育て支援」29.5%、第4位は「高齢者福祉」28.5%、第5位は「保健・医療」17.9%となっている。

図3-2-1 優先して行ってほしいところ（全体）



・優先して行ってほしい施策の総数の推移をみると、上位4位の「防犯」、「防災」、「子育て支援」、「高齢者福祉」は順位に変動はあるものの、平成23年以降3割前後で推移している。

図3-2-2 優先して行ってほしいところの推移【上位6項目】（全体）



※平成22年の「防災」の選択肢は「防災・防犯」としていた

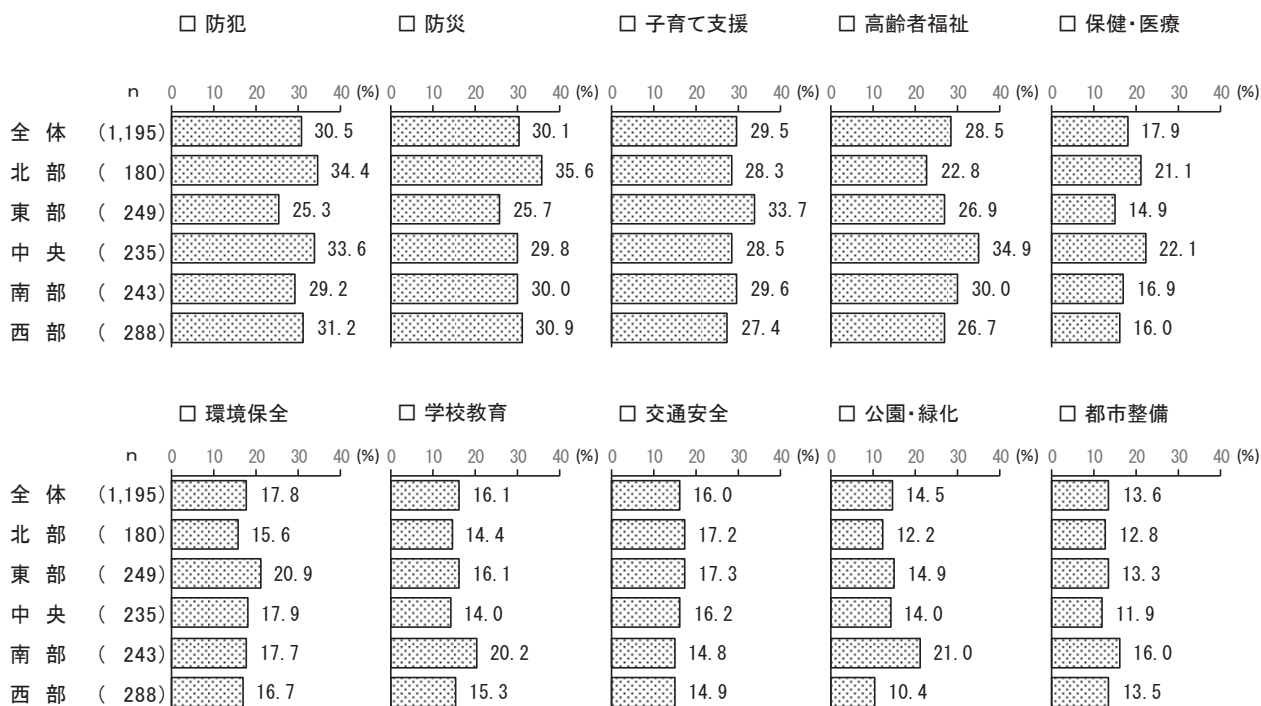
※「防犯」は平成23年から新設した選択肢

※このグラフは今回調査における上位6項目の推移である

(2) 地区別

- ・「防犯」は北部地区（34.4%）と中央地区（33.6%）で高くなっている。
- ・「防災」は北部地区（35.6%）で高くなっている。
- ・「子育て支援」は東部地区（33.7%）で高くなっている。
- ・「高齢者福祉」は中央地区（34.9%）で高くなっている。
- ・「保健・医療」は中央地区（22.1%）と北部地区（21.1%）で高くなっている。

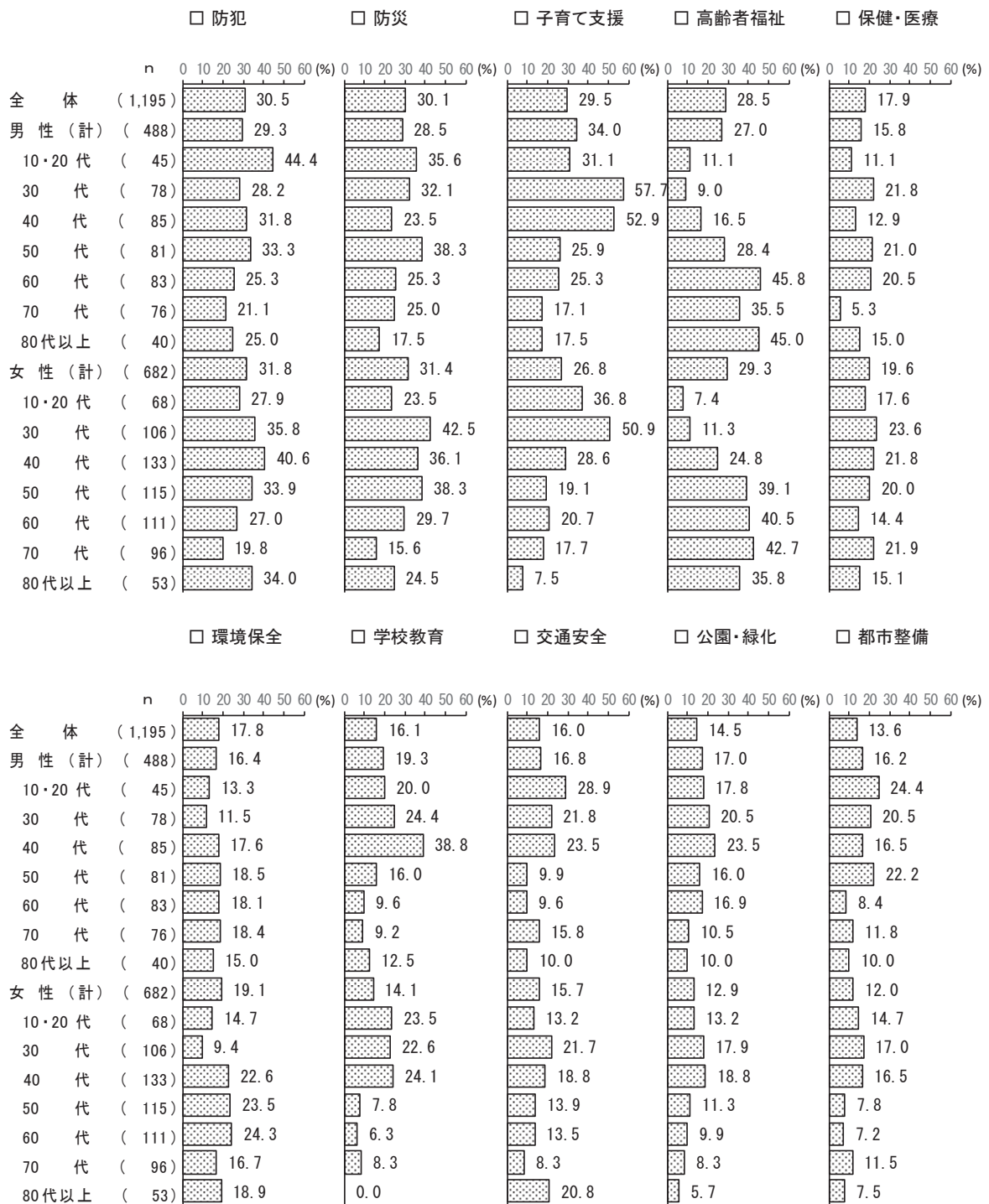
図3-2-3 優先して行ってほしいところ【上位10項目】（地区別）



(3) 性・年代別

- ・「防犯」は女性(31.8%)が男性(29.3%)を2.5ポイント上回っており、男性の10・20代(44.4%)と女性の40代(40.6%)で高くなっている。
- ・「防災」は男性の50代(38.3%)、女性の30代(42.5%)と50代(38.3%)で高くなっている。
- ・「子育て支援」は男性の30代(57.7%)と40代(52.9%)、女性の30代(50.9%)で高くなっている。
- ・「高齢者福祉」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の60代(45.8%)と80代以上(45.0%)、女性の70代(42.7%)、60代(40.5%)、50代(39.1%)で高くなっている。

図3-2-4 優先して行ってほしいところ【上位10項目】(性・年代別)



(4) 施策の優先順位

・優先して行ってほしいところを地区別、性・年代別、居住年数別に上位5位で表した。属性別にみると、全体で第1位の「防犯」は西部地区、男性の10・20代、女性の40代、居住年数が10年～19年で第1位となっている。

表3-2-1 優先して行ってほしいところ（地区別、性・年代別、居住年数別）【施策の優先順位】

(%)

属性		順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
全 体			1195	防犯 30.5	防災 30.1	子育て支援 29.5	高齢者福祉 28.5	保健・医療 17.9	
地区別	北部地区		180	防災 35.6	防犯 34.4	子育て支援 28.3	高齢者福祉 22.8	保健・医療 21.1	
	東部地区		249	子育て支援 33.7	高齢者福祉 26.9	防災 25.7	防犯 25.3	環境保全 20.9	
	中央地区		235	高齢者福祉 34.9	防犯 33.6	防災 29.8	子育て支援 28.5	保健・医療 22.1	
	南部地区		243	防災／高齢者福祉 30.0		子育て支援 29.6	防犯 29.2	公園・緑化 21.0	
	西部地区		288	防犯 31.2	防災 30.9	子育て支援 27.4	高齢者福祉 26.7	環境保全 16.7	
性／年代別	男 性 (計)		488	子育て支援 34.0	防犯 29.3	防災 28.5	高齢者福祉 27.0	学校教育 19.3	
	10・20代		45	防犯 44.4	防災 35.6	子育て支援 31.1	交通安全 28.9	都市整備 24.4	
	30代		78	子育て支援 57.7	防災 32.1	防犯 28.2	学校教育 24.4	交通安全/保健・医療 21.8	
	40代		85	子育て支援 52.9	学校教育 38.8	防犯 31.8	防災／交通安全／公園・緑化 23.5		
	50代		81	防災 38.3	防犯 33.3	高齢者福祉 28.4	子育て支援 25.9	都市整備 22.2	
	60代		83	高齢者福祉 45.8	低所得者支援 27.7		防災／防犯／子育て支援 25.3		
	70代		76	高齢者福祉 35.5	防災 25.0	防犯 21.1	環境保全 18.4	子育て支援/行政運営 /行財政改革 17.1	
	80代以上		40	高齢者福祉 45.0	防犯 25.0	防災／子育て支援 17.5		保健・医療/環境保全 /社会教育 15.0	
	女 性 (計)		682	防犯 31.8	防災 31.4	高齢者福祉 29.3	子育て支援 26.8	保健・医療 19.6	
	10・20代		68	子育て支援 36.8	防犯 27.9	防災／学校教育 23.5		保健・医療 17.6	
	30代		106	子育て支援 50.9	防災 42.5	防犯 35.8	保健・医療 23.6	学校教育 22.6	
	40代		133	防犯 40.6	防災 36.1	子育て支援 28.6	高齢者福祉 24.8	学校教育 24.1	
	50代		115	高齢者福祉 39.1	防災 38.3	防犯 33.9	環境保全 23.5	保健・医療 20.0	
	60代		111	高齢者福祉 40.5	防災 29.7	防犯 27.0	環境保全 24.3	子育て支援 20.7	
	70代		96	高齢者福祉 42.7	保健・医療 21.9	防犯 19.8	子育て支援 17.7	環境保全 16.7	
80代以上		53	高齢者福祉 35.8	防犯 34.0	防災 24.5	交通安全 20.8	環境保全 18.9		
居住年数別	5年未満		286	子育て支援 40.9	防犯 35.7	防災 33.9	学校教育 21.0	公園・緑化 19.9	
	5年～9年		140	子育て支援 33.6	防犯 32.1	防災 30.7	保健・医療 22.9	交通安全 20.0	
	10年～19年		187	防犯／子育て支援 28.9		防災 27.3	高齢者福祉 25.7	環境保全 19.8	
	20年以上		573	高齢者福祉 40.8	防災 29.5	防犯 28.4	子育て支援 23.6	環境保全 18.2	

4. 暮らし向き

4-1 暮らし向きの変化

問9 あなたの暮らし向きは、昨年の今ごろと比べてどうですか。(〇は1つ)

- ・「変わらない」が6割半ば、「非常に苦しくなった」と「苦しくなった」を合わせた『苦しくなった』は3割近くとなっている。
- ・『苦しくなった』は男性の50代、60代、80代以上、女性の50代、60代、70代で高くなっている。また、パート・アルバイト、無職、就学前の乳幼児がいる家族、都営・区営住宅などの公営住宅、賃貸の木造アパート、一戸建借家で高くなっている。

(1) 全体

- ・「変わらない」が65.6%となっている。
- ・「非常に苦しくなった」4.2%と「苦しくなった」23.3%を合わせた『苦しくなった』は27.5%となっている。
- ・暮らし向きの変化の推移をみると、「変わらない」は平成21年以降増加傾向、『苦しくなった』は平成21年以降減少傾向となっている。

図4-1-1 暮らし向きの変化(全体)

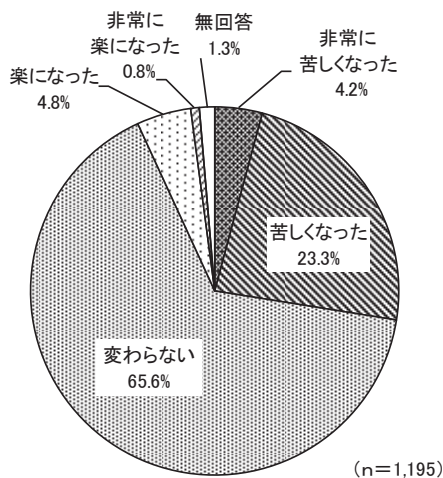
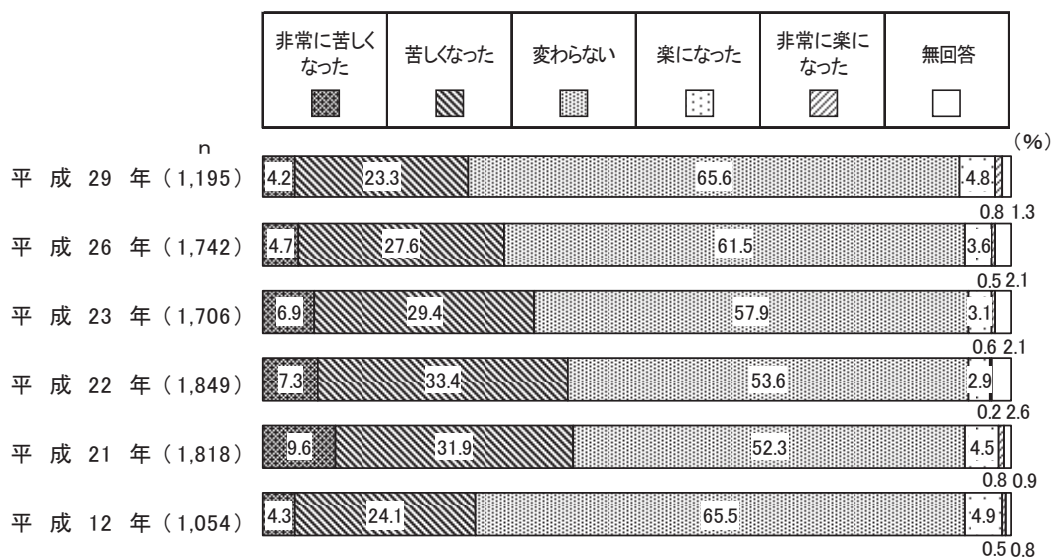


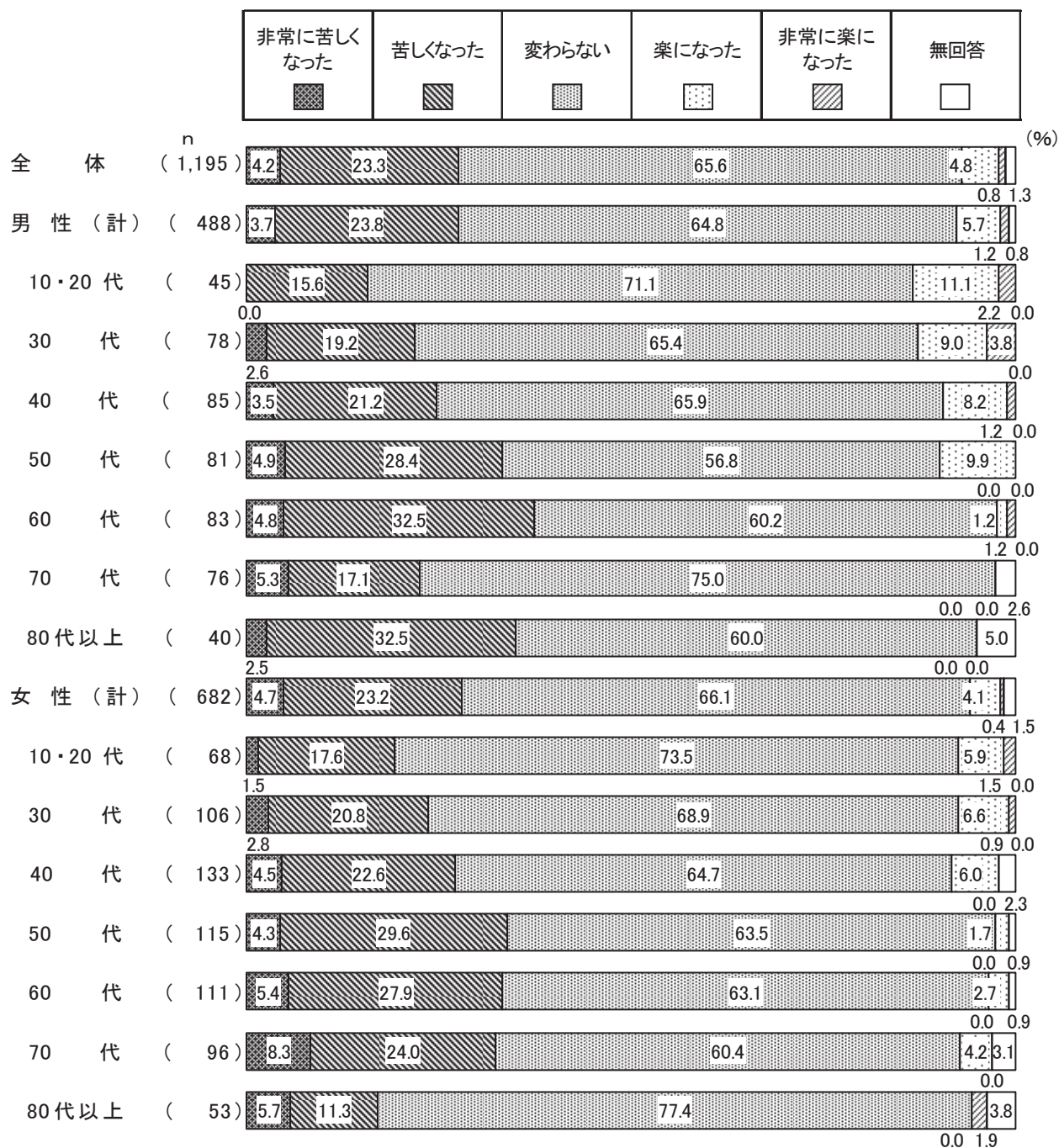
図4-1-2 暮らし向きの変化の推移(全体)



(2) 性・年代別

- ・『苦しくなった』は男性の60代(37.3%)、80代以上(35.0%)、50代(33.3%)、女性の50代(33.9%)、60代(33.3%)、70代(32.3%)で高くなっている。
- ・『変わらない』は男性の70代(75.0%)と10・20代(71.1%)、女性の80代以上(77.4%)と10・20代(73.5%)で高くなっている。

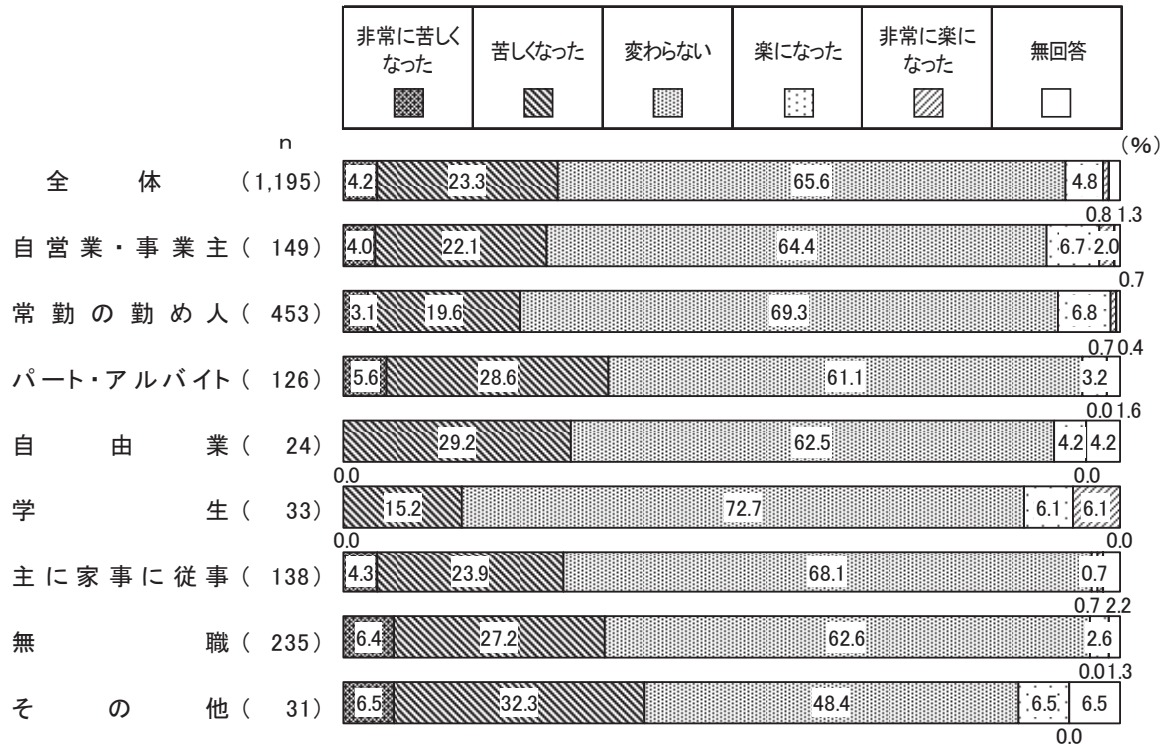
図4-1-3 暮らし向きの変化(性・年代別)



(3) 職業別

- ・『苦しくなった』はパート・アルバイト (34.2%)、無職 (33.6%) で高くなっている。
- ・「変わらない」は学生 (72.7%) と常勤の勤め人 (69.3%) で高くなっている。

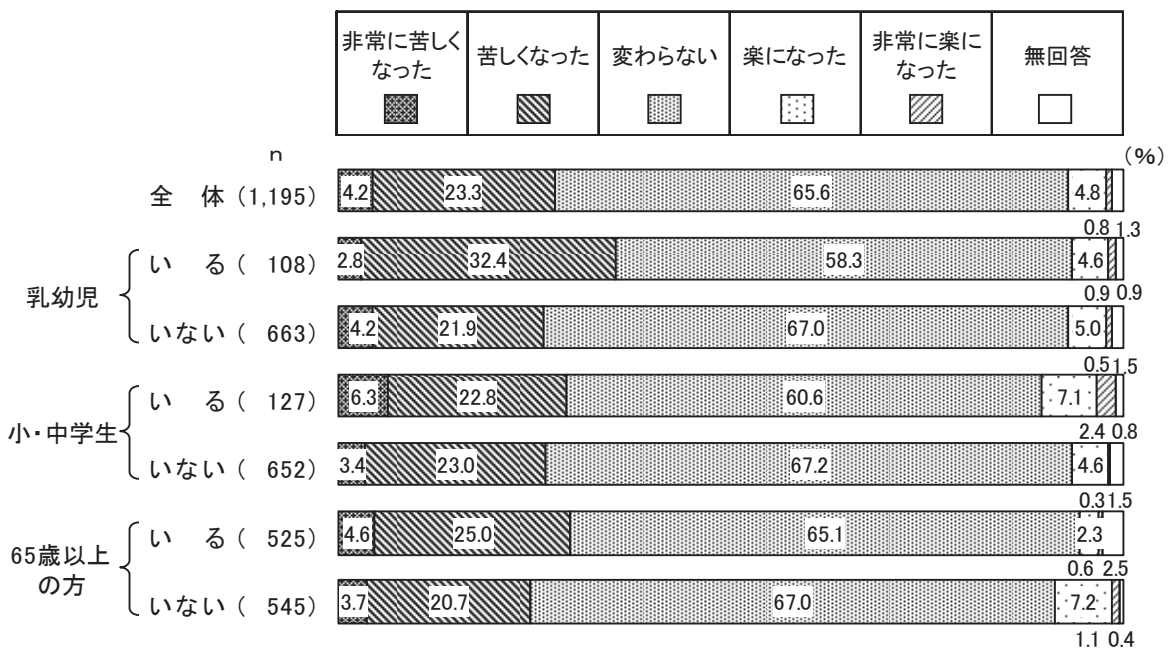
図 4-1-4 暮らし向きの変化 (職業別)



(4) 家族構成別

- ・『苦しくなった』は就学前の乳幼児がいる家族 (35.2%) で高く、就学前の乳幼児がいない家族 (26.1%) より 9.1 ポイント高くなっている。

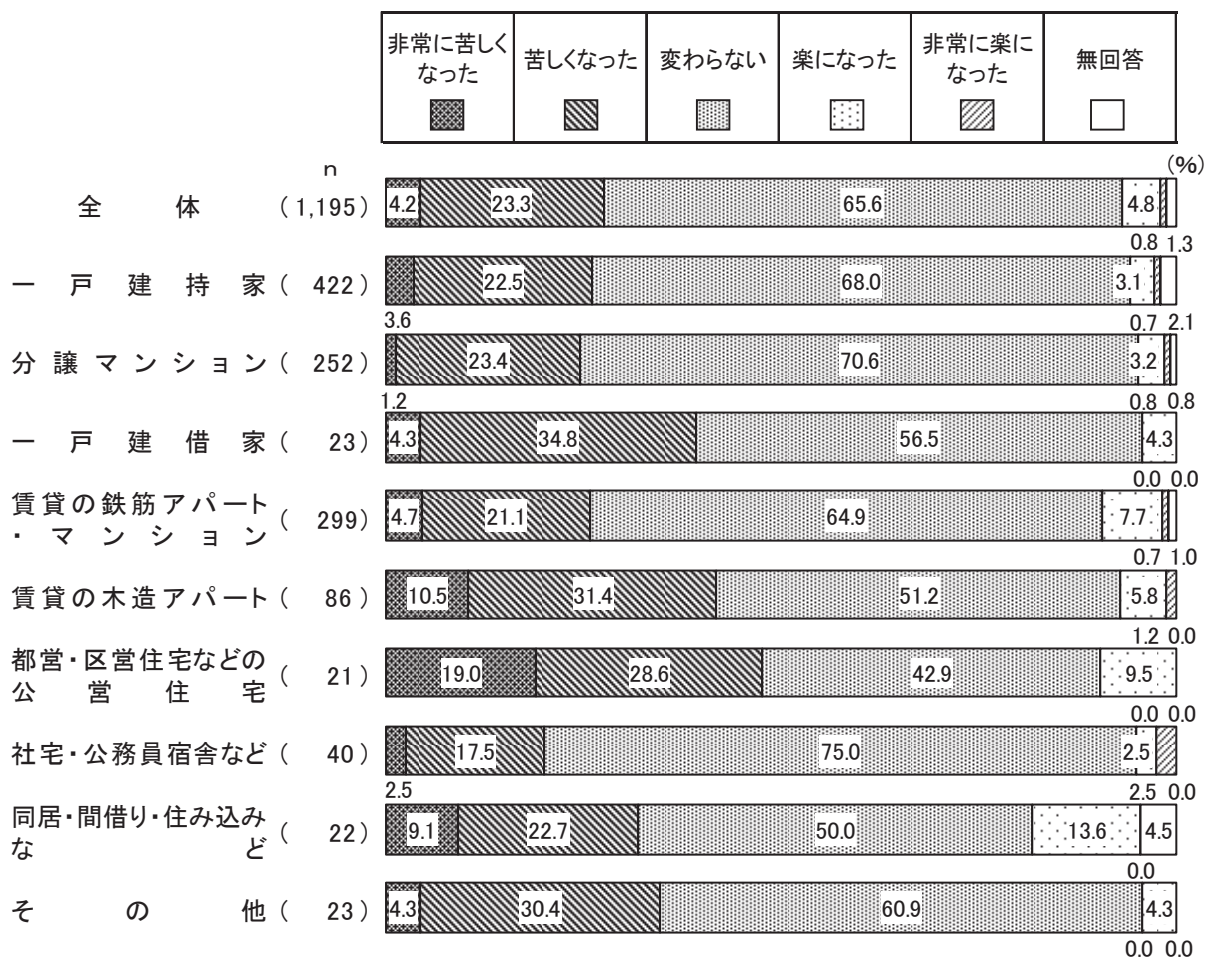
図 4-1-5 暮らし向きの変化 (家族構成別)



(5) 居住形態別

- ・『苦しくなった』は、都営・区営住宅などの公営住宅（47.6%）、賃貸の木造アパート（41.9%）、一戸建借家（39.1%）で高くなっている。
- ・「変わらない」は社宅・公務員宿舎など（75.0%）と分譲マンション（70.6%）で高くなっている。

図4-1-6 暮らし向きの変化（居住形態別）



4-2 暮らし向きが苦しくなった理由

(問9で、暮らし向きが「非常に苦しくなった」「苦しくなった」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

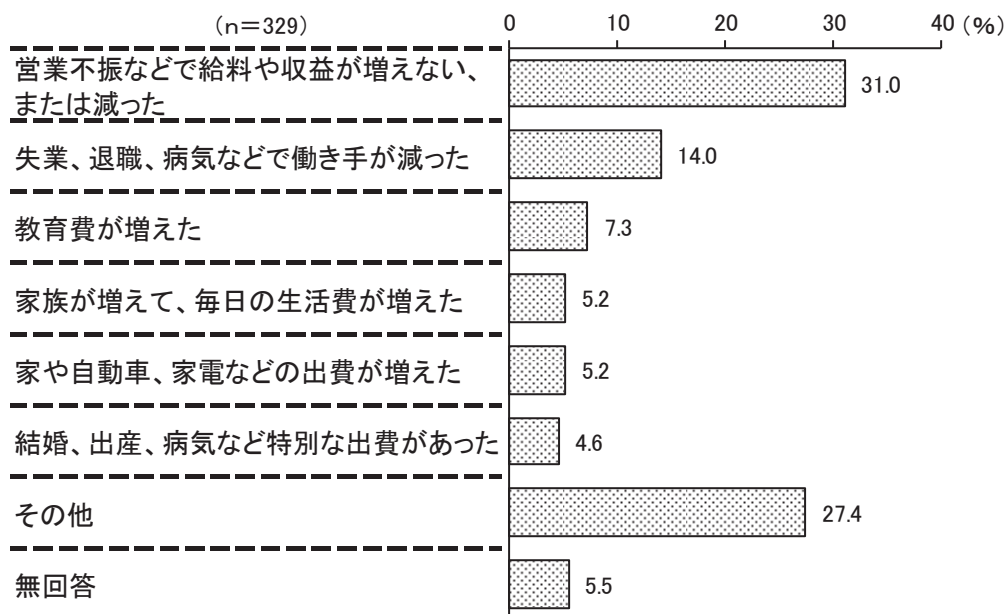
問9-1 暮らし向きが苦しくなったのは、主にどのような理由からですか。(〇は1つ)

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」が3割を超えて最も高く、次いで「失業、退職、病気などで働き手が減った」が1割半ばとなっている。
- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性、女性ほぼ同じで、男性の40代、50代、60代、女性の40代、50代で高くなっている。また、自営業・事業主で高くなっている。
- ・「教育費が増えた」は男性の10・20代、50代と女性の40代、また、小・中学生がいる家族で高くなっている。「家族が増えて、毎日の生活費が増えた」は就学前の乳幼児がいる家族で高くなっている。

(1) 全体

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」が31.0%で最も高く、次いで「失業、退職、病気などで働き手が減った」14.0%、「教育費が増えた」7.3%の順となっている。

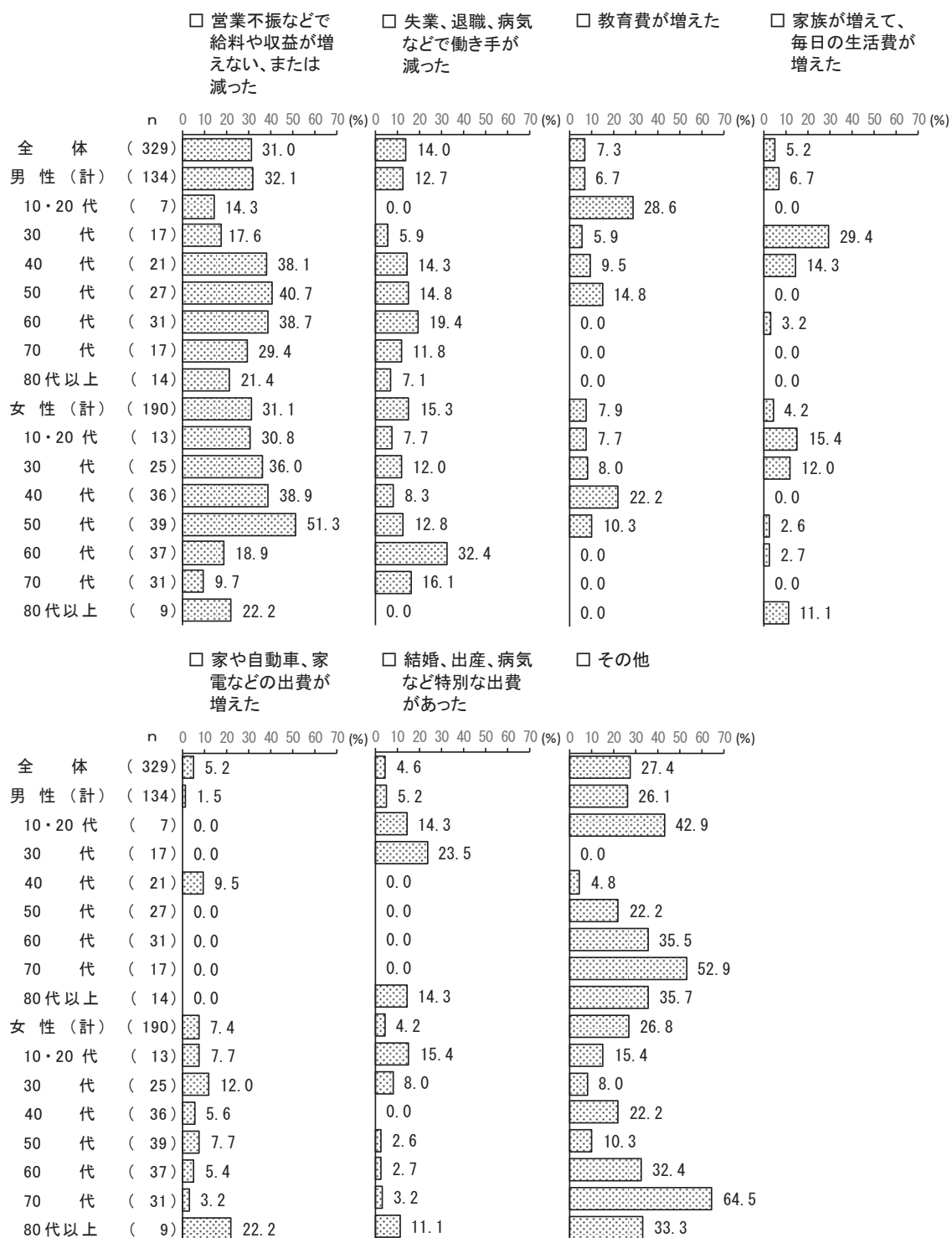
図4-2-1 暮らし向きが苦しくなった理由(全体)



(2) 性・年代別

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は男性（32.1%）、女性（31.1%）であり、男性と女性で大きな差はみられない。また、男性の50代（40.7%）、60代（38.7%）、40代（38.1%）、女性の50代（51.3%）と40代（38.9%）で高くなっている。
- ・「失業、退職、病気などで働き手が減った」は女性の60代（32.4%）で高くなっている。
- ・「教育費が増えた」は男性の10・20代（28.6%）、50代（14.8%）と女性の40代（22.2%）で高くなっている。

図4-2-2 暮らし向きが苦しくなった理由（性・年代別）



(3) 職業別

- ・「営業不振などで給料や収益が増えない、または減った」は自営業・事業主（71.8%）で高くなっている。

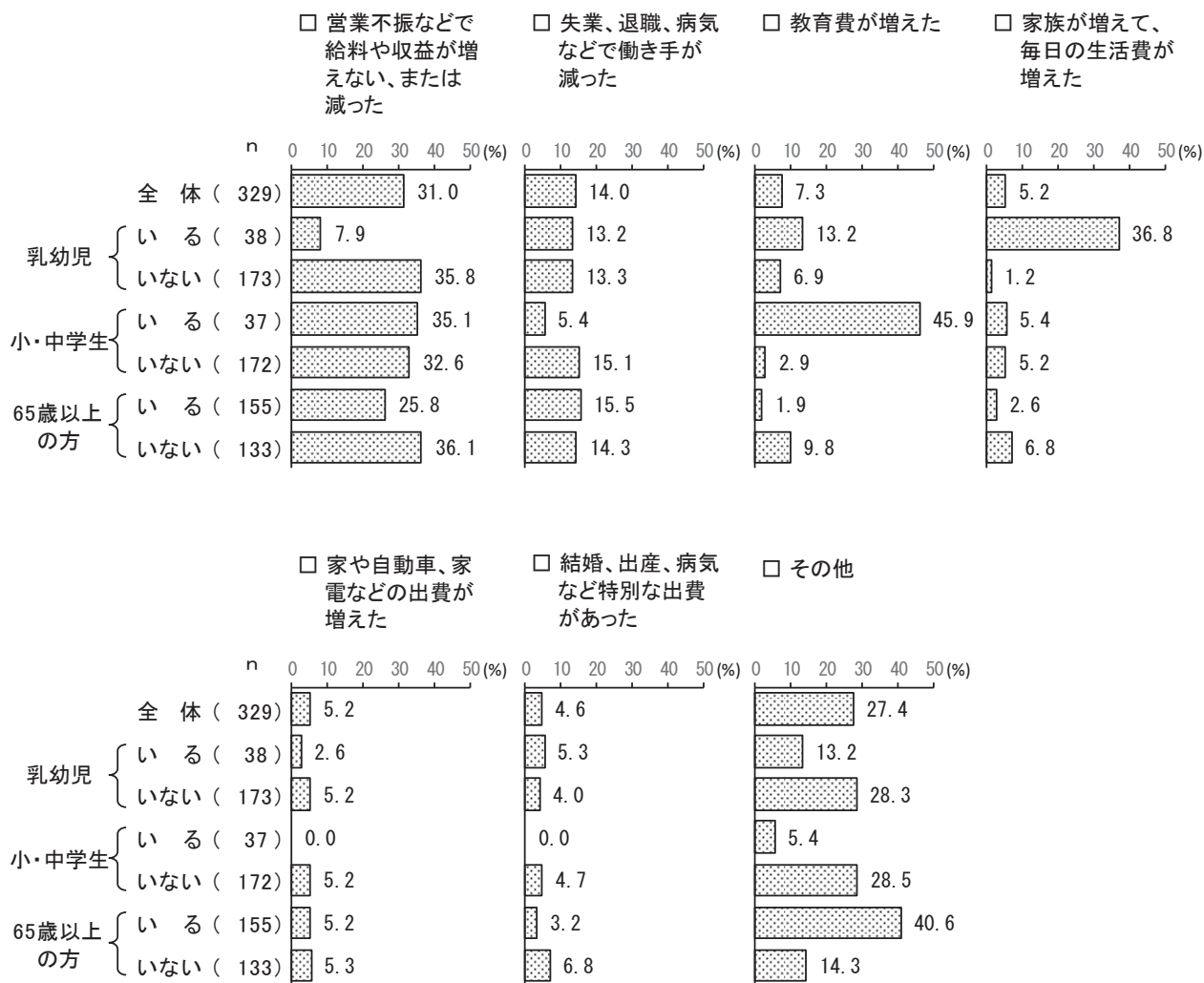
図4-2-3 暮らし向きが苦しくなった理由（職業別）



(4) 家族構成別

- ・「教育費が増えた」は小・中学生がいる家族（45.9%）で高くなっている。
- ・「家族が増えて、毎日の生活費が増えた」は就学前の乳幼児がいる家族（36.8%）で高くなっている。

図4-2-4 暮らし向きが苦しくなった理由（家族構成別）



5. 地域・日常生活

5-1 住んでいる地域・日常生活について

問10 あなたの住んでいる地域、日常生活について、お尋ねします。(〇はそれぞれ1つ)

—住んでいる地域について—

- ・“安全で安心して暮らせる街であると思いますか”は「はい」が8割近くで、男性の10・20代と40代、女性の30代と40代で高くなっている。
- ・“安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか”は「はい」が3割を超え、男性の10・20代と40代、女性の40代で高くなっている。

—日常生活について—

- ・“美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか”は「はい」がほぼ3割で、女性が男性を上回っており、男性の80代以上、女性の40代と70代で高くなっている。
- ・“自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか”は「はい」が5割半ばを占め、男性が女性を上回っており、男性の30代と女性の70代で高くなっている。

(1) 全体

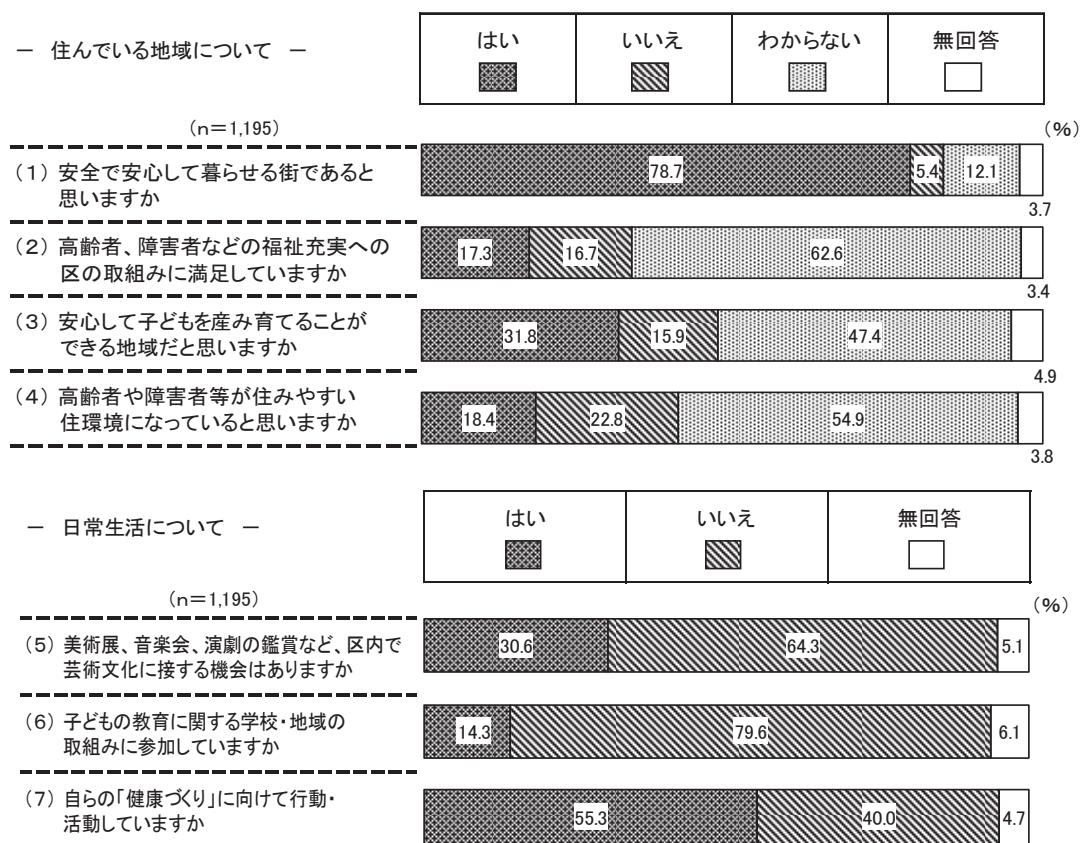
—住んでいる地域について—

- ・“安全で安心して暮らせる街であると思いますか”で「はい」が78.7%となっている。
- ・“安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか”で「はい」が31.8%となっている。

—日常生活について—

- ・“美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか”で「はい」が30.6%となっている。
- ・“自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか”で「はい」が55.3%となっている。

図5-1-1 住んでいる地域・日常生活について(全体)



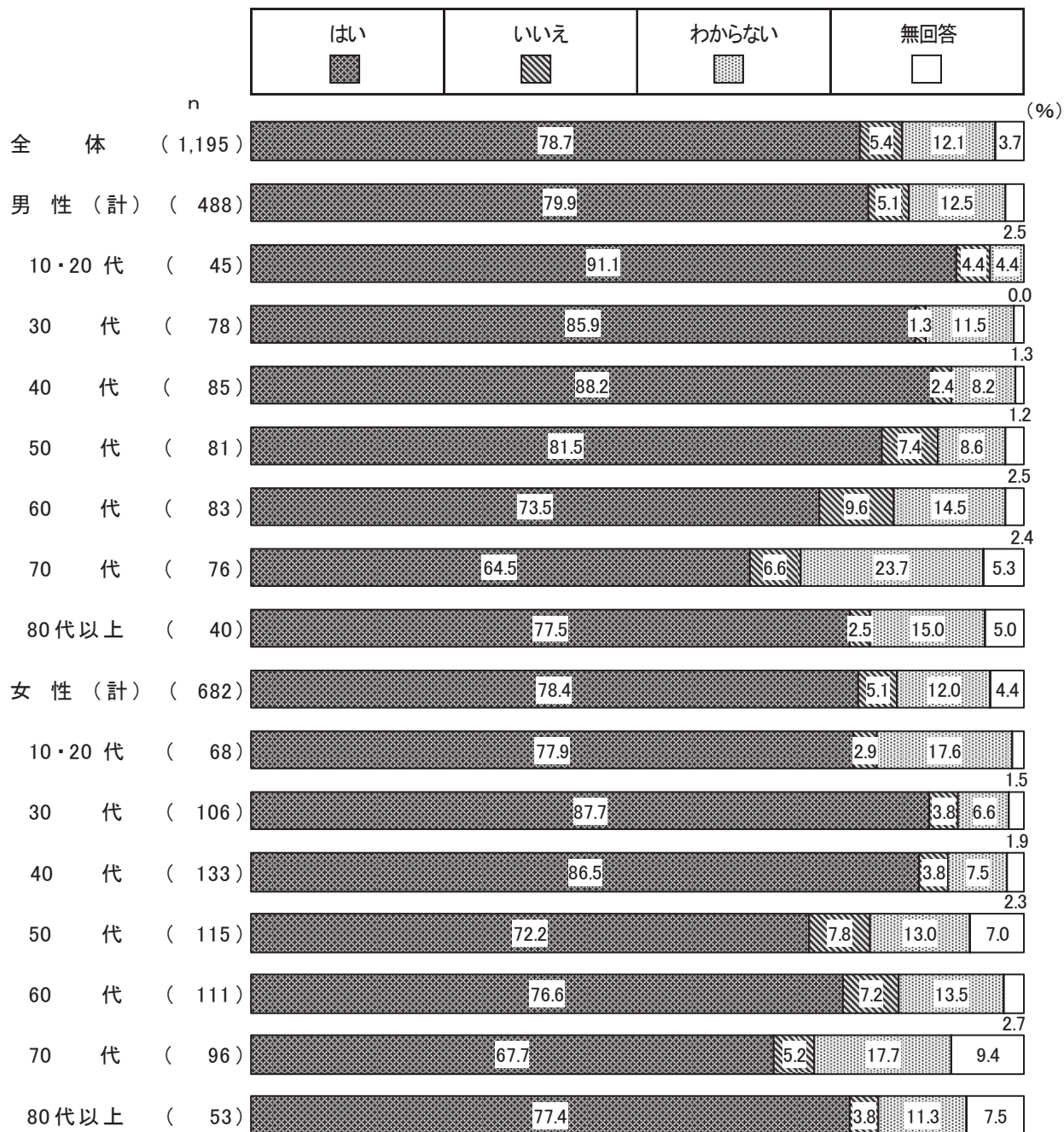
(2) 性・年代別

1. 安全で安心して暮らせる街であると思いますか

- ・ 「はい」は男性の10・20代(91.1%)と40代(88.2%)、女性の30代(87.7%)と40代(86.5%)で高くなっている。

図5-1-2 住んでいる地域・日常生活について

1. 安全で安心して暮らせる街であると思いますか(性・年代別)

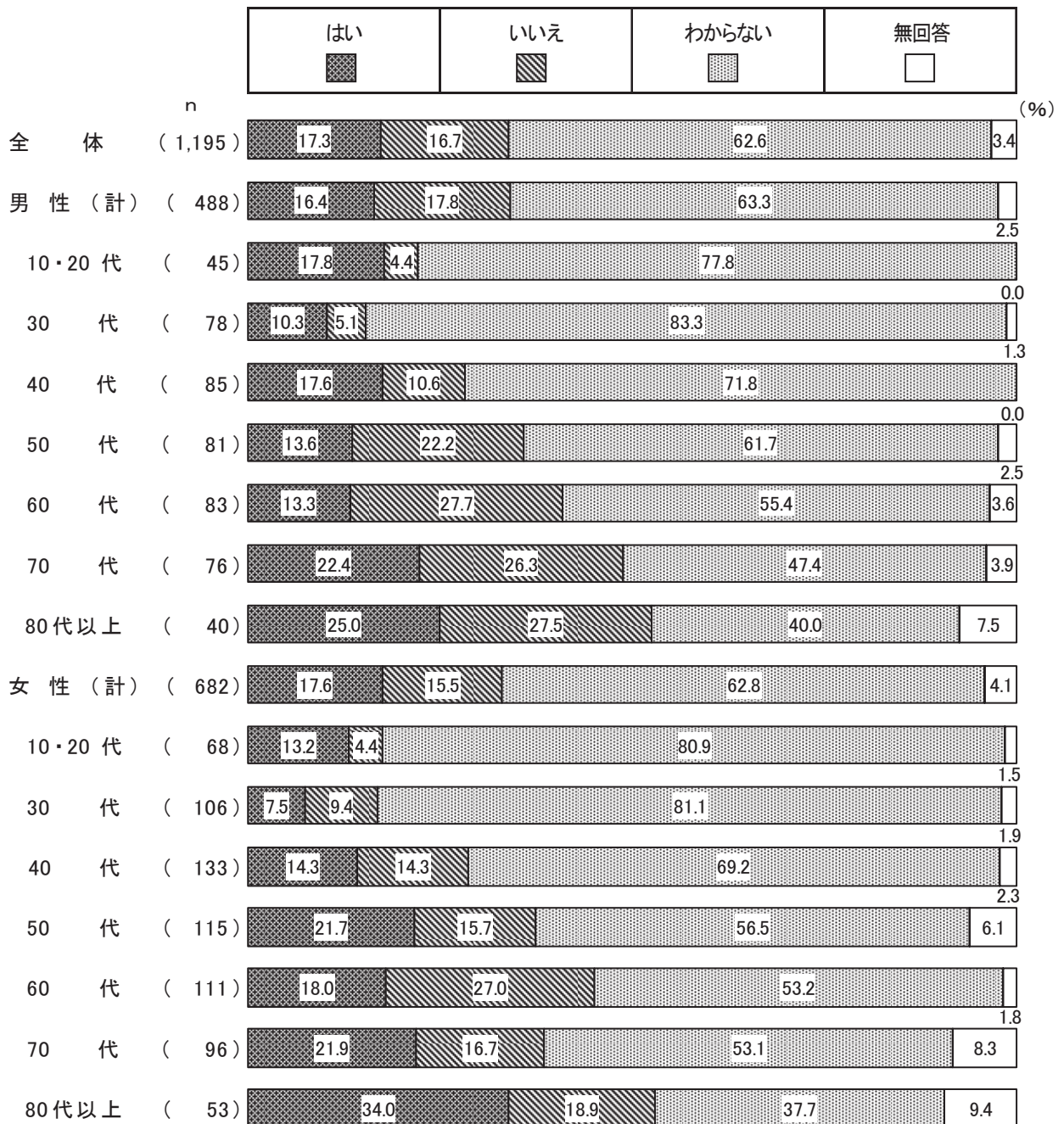


2. 高齢者、障害者などの福祉充実への区の実施に満足していますか

- ・「はい」は男性、女性ともに80代以上（男性25.0%、女性34.0%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性、女性ともに60代（男性27.7%、女性27.0%）と80代以上（男性27.5%、女性18.9%）で高くなっている。

図5-1-3 住んでいる地域・日常生活について

2. 高齢者、障害者などの福祉充実への区の実施に満足していますか（性・年代別）

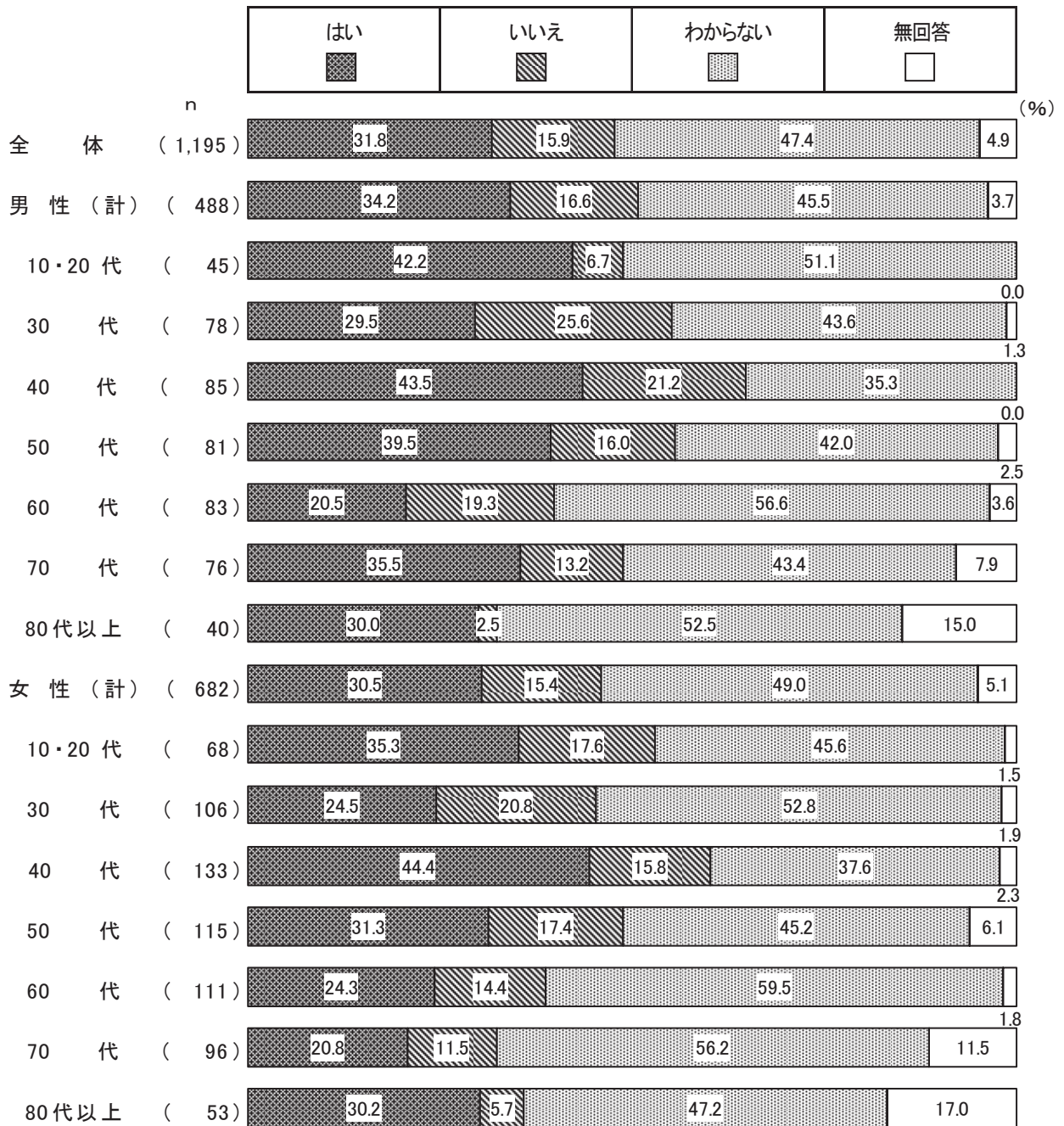


3. 安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか

- ・「はい」は男性（34.2%）が女性（30.5%）を3.7ポイント上回っている。
- ・「はい」は男性の40代（43.5%）と10・20代（42.2%）、女性の40代（44.4%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性、女性ともに30代（男性25.6%、女性20.8%）で最も高くなっている。

図5-1-4 住んでいる地域・日常生活について

3. 安心して子どもを産み育てることができる地域だと思いますか（性・年代別）

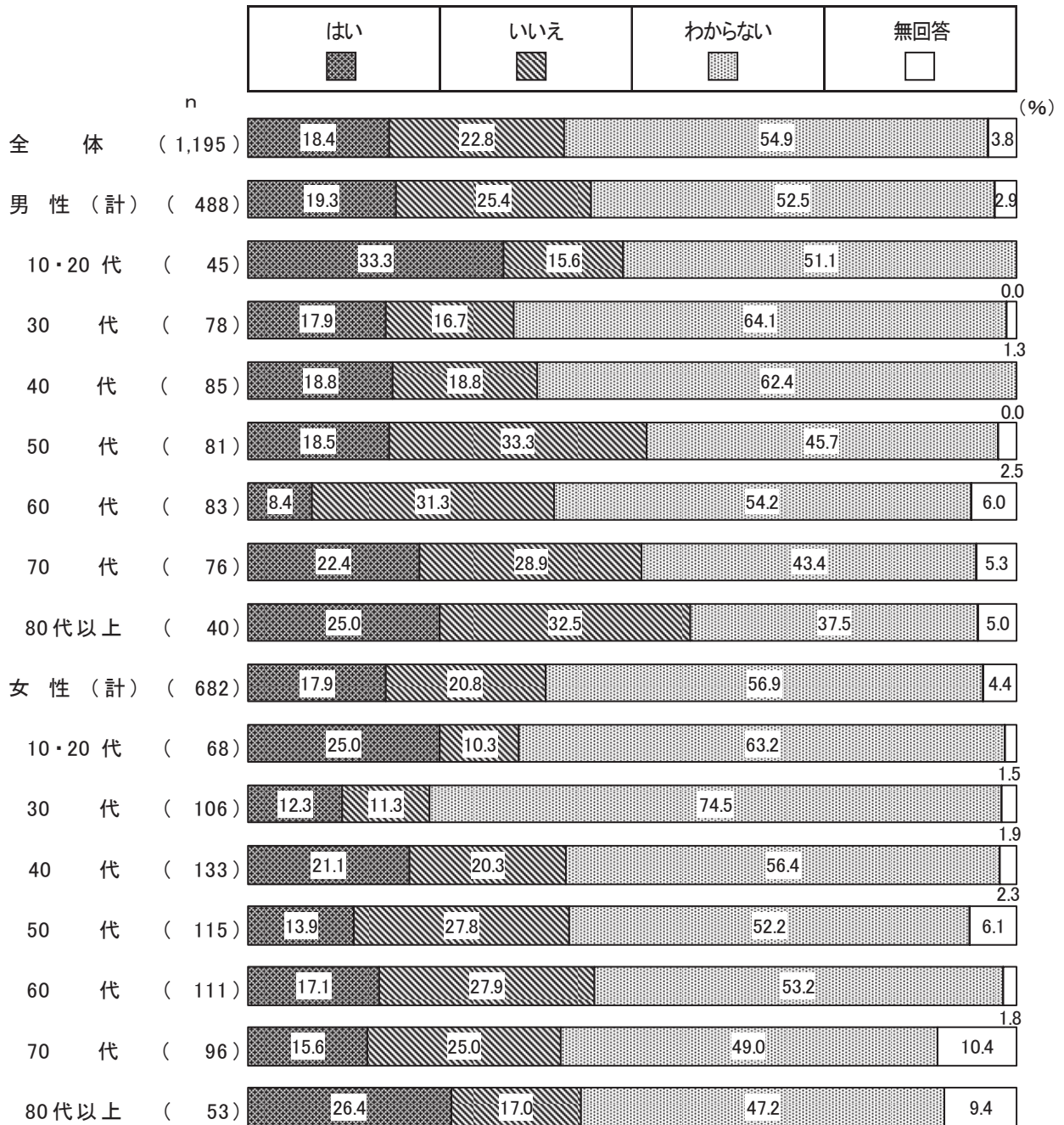


4. 高齢者や障害者等が住みやすい住環境になっていると思いますか

- ・「はい」は男性、女性ともに10・20代（男性33.3%、女性25.0%）、80代以上（男性25.0%、女性26.4%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性の50代（33.3%）と80代以上（32.5%）、女性の60代（27.9%）と50代（27.8%）で高くなっている。

図5-1-5 住んでいる地域・日常生活について

4. 高齢者や障害者等が住みやすい住環境になっていると思いますか（性・年代別）

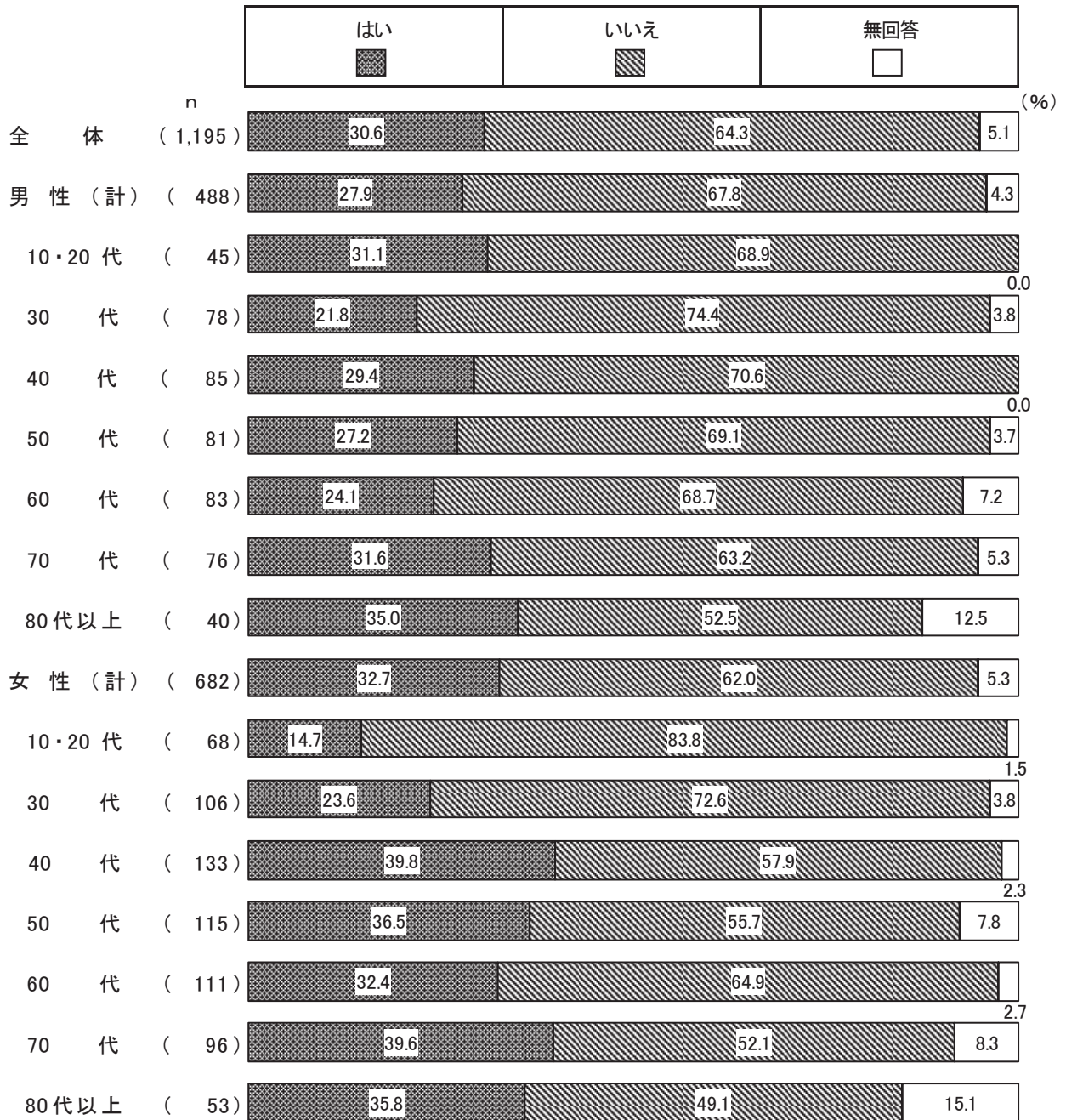


5. 美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか

- ・「はい」は女性（32.7%）が男性（27.9%）を4.8ポイント上回っている。
- ・「はい」は男性の80代以上（35.0%）、女性の40代（39.8%）と70代（39.6%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性の30代（74.4%）、女性の10・20代（83.8%）で高くなっている。

図5-1-6 住んでいる地域・日常生活について

5. 美術展、音楽会、演劇の鑑賞など、区内で芸術文化に接する機会がありますか（性・年代別）

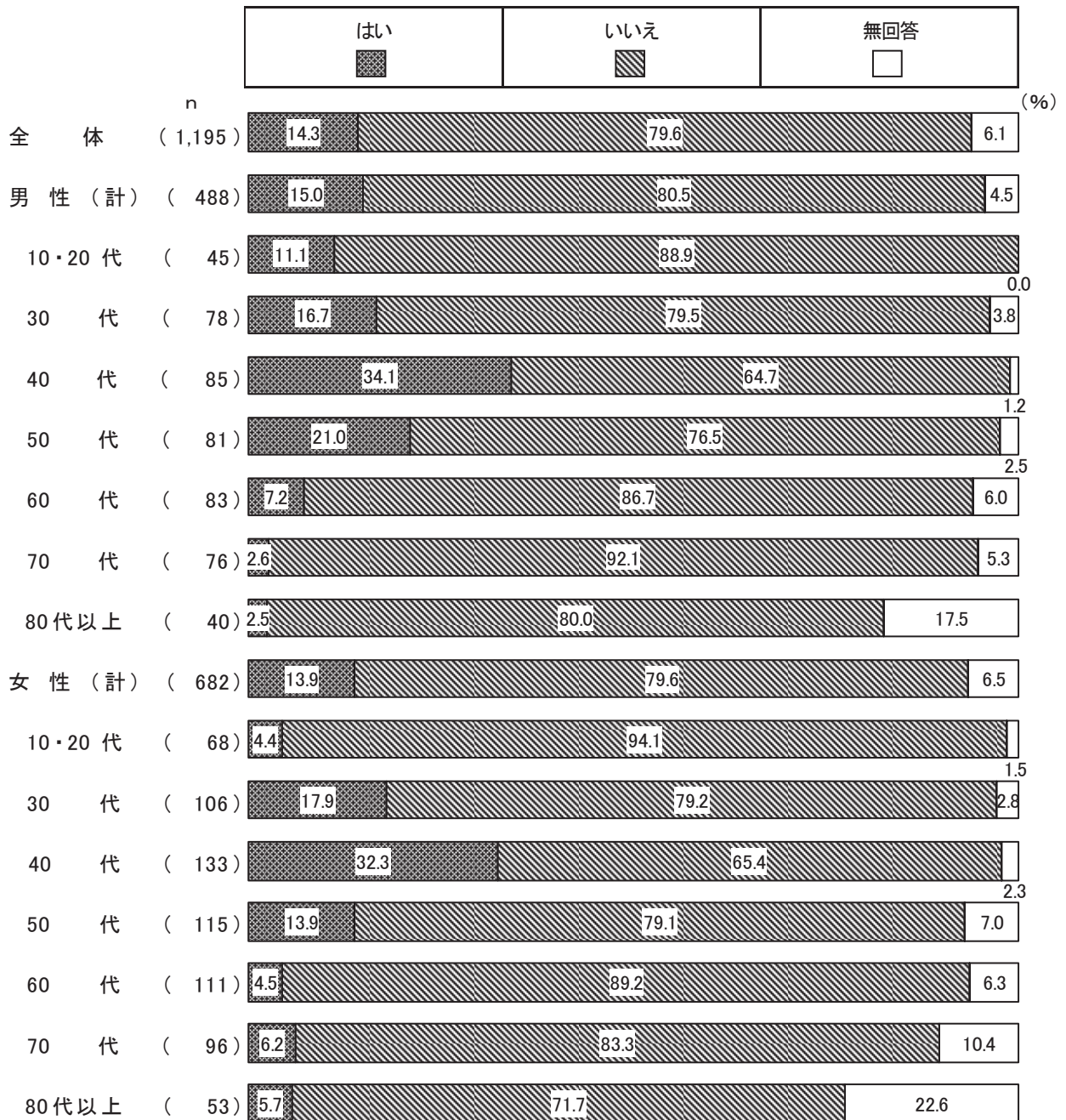


6. 子どもの教育に関する学校・地域の取組みに参加していますか

- ・「はい」は男性（15.0%）が女性（13.9%）を1.1ポイント上回っている。
- ・「はい」は男性、女性ともに40代（男性34.1%、女性32.3%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性の70代（92.1%）と女性の10・20代（94.1%）で高くなっている。

図5-1-7 住んでいる地域・日常生活について

6. 子どもの教育に関する学校・地域の取組みに参加していますか（性・年代別）

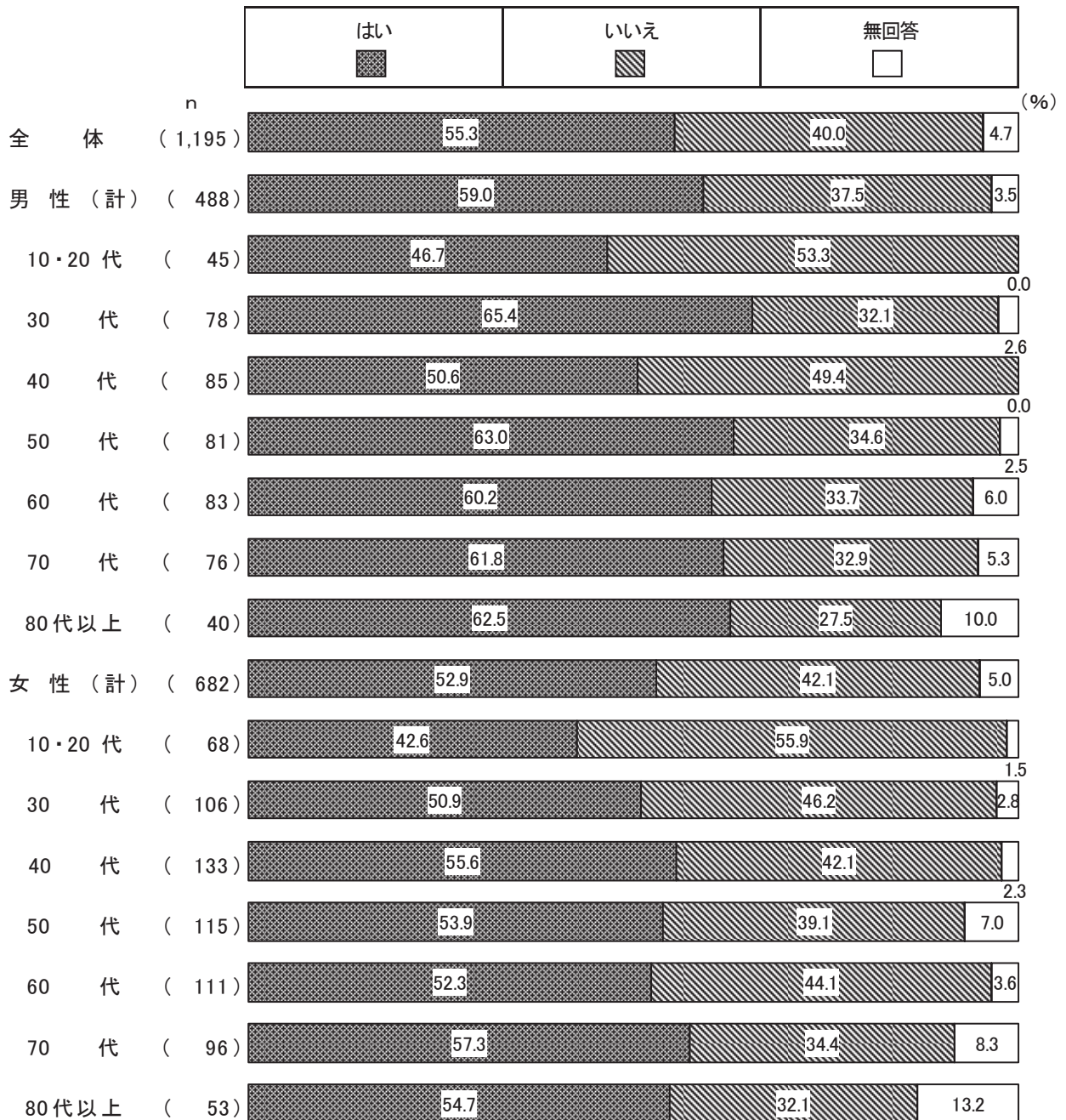


7. 自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか

- ・「はい」は男性（59.0%）が女性（52.9%）を6.1ポイント上回っている。
- ・「はい」は男性の30代（65.4%）と女性の70代（57.3%）で高くなっている。
- ・「いいえ」は男性、女性ともに10・20代（男性53.3%、女性55.9%）で高くなっている。

図5-1-8 住んでいる地域・日常生活について

7. 自らの「健康づくり」に向けて行動・活動していますか（性・年代別）



6. 広報・インターネット

6-1 区の情報の入手先

問11 あなたは、日ごろ必要としている区の情報やお知らせを、どのように入手していますか。

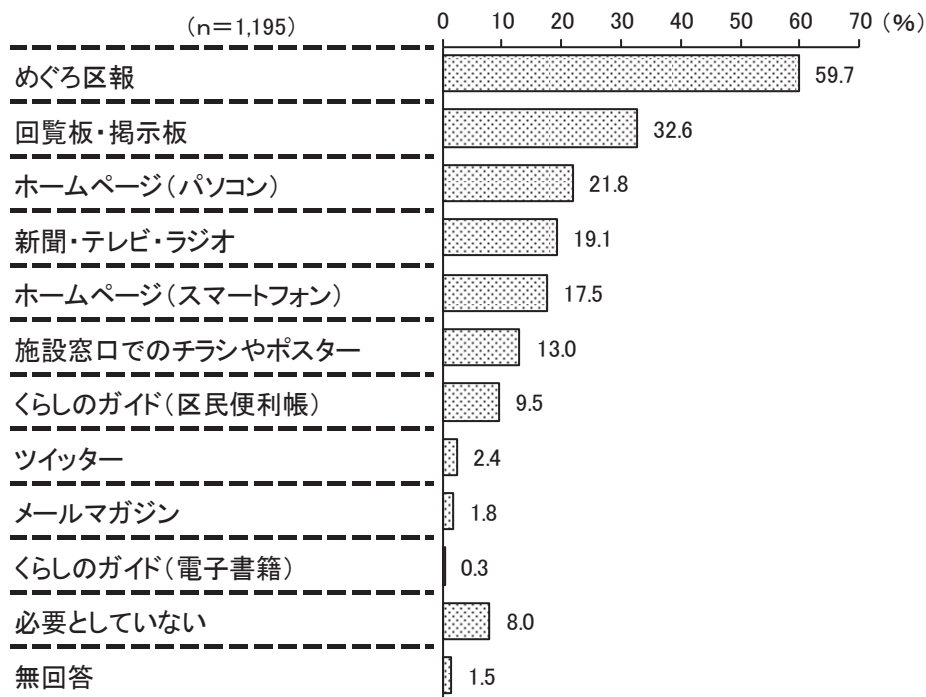
(〇はいくつでも)

- ・「めぐろ区報」が6割で最も高く、次いで「回覧板・掲示板」が3割を超え、「ホームページ（パソコン）」が2割を超えている。
- ・「めぐろ区報」は女性が男性を上回り、男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の80代以上、女性の70代で最も高くなっている。
- ・「回覧板・掲示板」は男性の80代以上と女性の70代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「めぐろ区報」が59.7%で最も高く、次いで「回覧板・掲示板」32.6%、「ホームページ（パソコン）」21.8%、「新聞・テレビ・ラジオ」19.1%、「ホームページ（スマートフォン）」17.5%の順となっている。

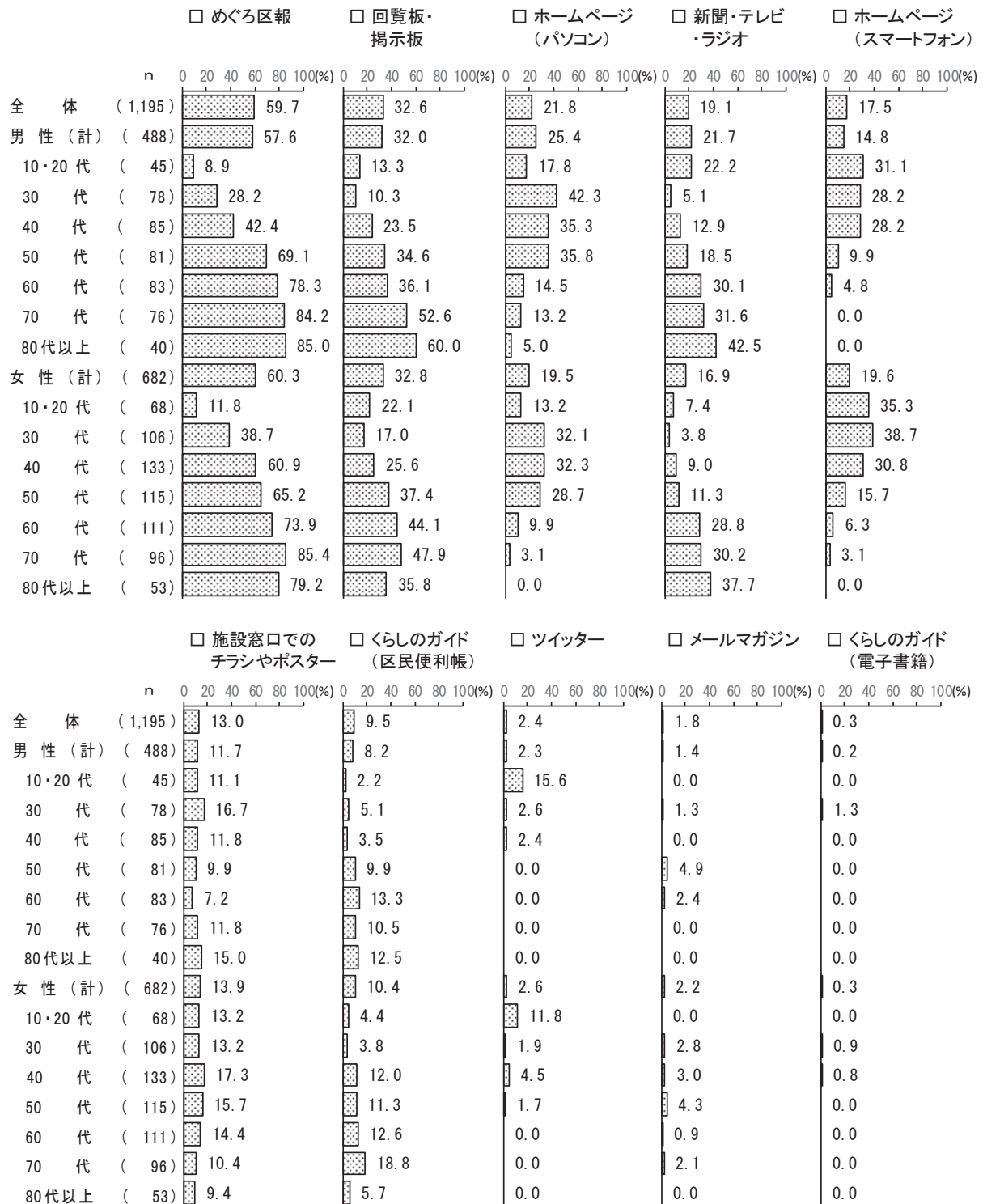
図6-1-1 区の情報の入手先（全体）



(2) 性・年代別

- ・「めぐろ区報」は女性(60.3%)が男性(57.6%)を2.7ポイント上回っている。また、男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の80代以上(85.0%)、女性の70代(85.4%)で最も高くなっている。
- ・「回覧板・掲示板」は男性の80代以上(60.0%)と女性の70代(47.9%)で高くなっている。
- ・「ホームページ(パソコン)」は男性、女性ともに30代~50代(30代から順に男性42.3%、35.3%、35.8%、女性32.1%、32.3%、28.7%)で高くなっている。

図6-1-2 区の情報の入手先(性・年代別)



6-2 めぐる区報の入手先

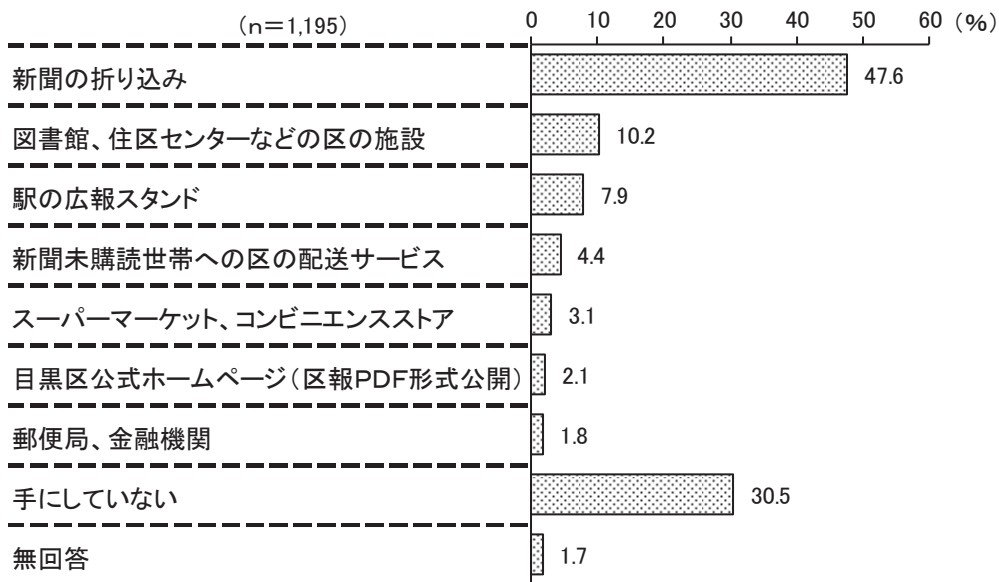
問12 区では、広報紙「めぐろ区報」を毎月3回（5日、15日、25日）発行しています。あなたは、主にどこで広報紙を手に入れていますか。（〇は2つまで）

- ・「新聞の折り込み」が5割近くで最も高くなっている。また、「手にしていない」はほぼ3割となっている。
- ・「新聞の折り込み」は高い年代ほど割合が高い傾向にあり、「手にしていない」は低い年代ほど割合が高い傾向にある。

(1) 全体

- ・「新聞の折り込み」が47.6%で最も高くなっている。また、「手にしていない」は30.5%となっている。

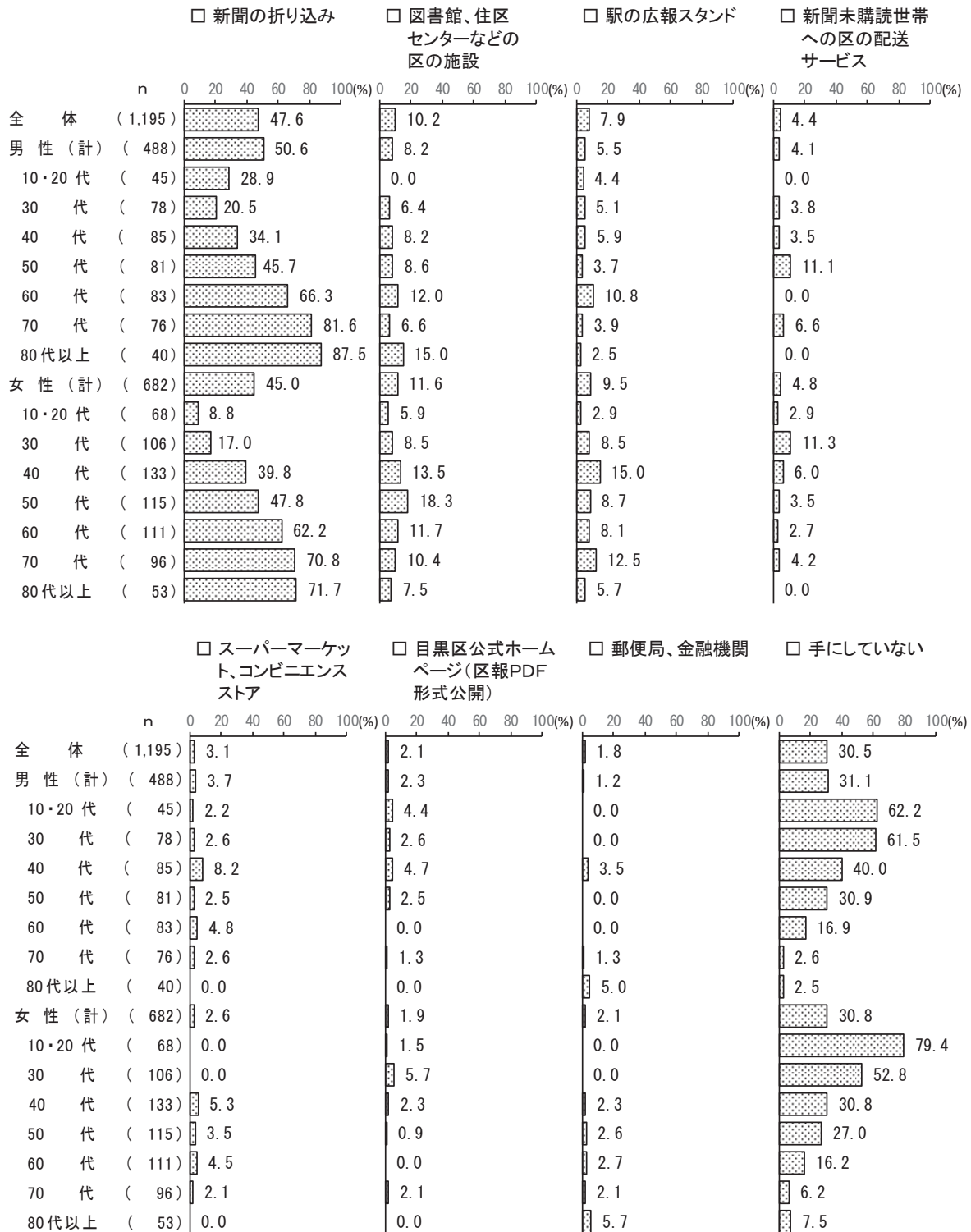
図6-2-1 めぐる区報の入手先（全体）



(2) 性・年代別

- ・「新聞の折り込み」は男性、女性ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、80代以上(男性87.5%、女性71.7%)で最も高くなっている。
- ・「手にしていない」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、10・20代(男性62.2%、女性79.4%)で最も高くなっている。

図6-2-2 めぐる区報の入手先(性・年代別)



6-3 めぐる区報の閲覧状況

(問12で、めぐろ区報の入手先が「新聞の折り込み」～「目黒区公式ホームページ」と回答した方にお尋ねします)

問12-1 あなたは、「めぐろ区報」をどの程度読んでいますか。(○は1つ)

- ・「十分に目を通す」という『精読率』は2割となっており、これに「必要などころだけ読む」を合わせた『閲読率』は8割を超えている。
- ・『閲読率』は女性が男性を上回っており、男性の80代以上、女性の70代で最も高くなっている。

(1) 全体

- ・「十分に目を通す」という『精読率』は19.6%で、これに「必要などころだけ読む」62.7%を合わせた『閲読率』は82.3%となっている。
- ・めぐろ区報の閲覧状況の推移をみると、『閲読率』は毎年8割以上を占めている。

図6-3-1 めぐる区報の閲覧状況(全体)

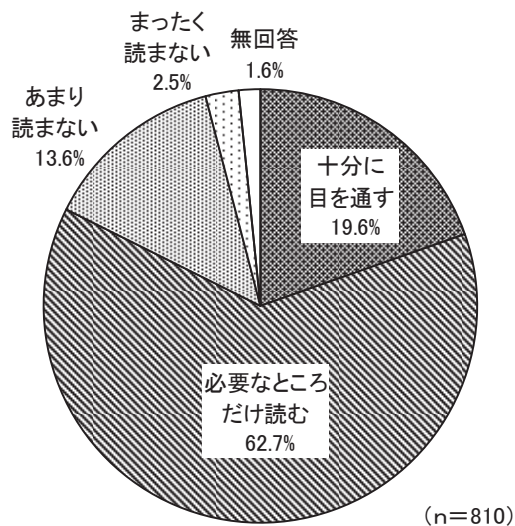
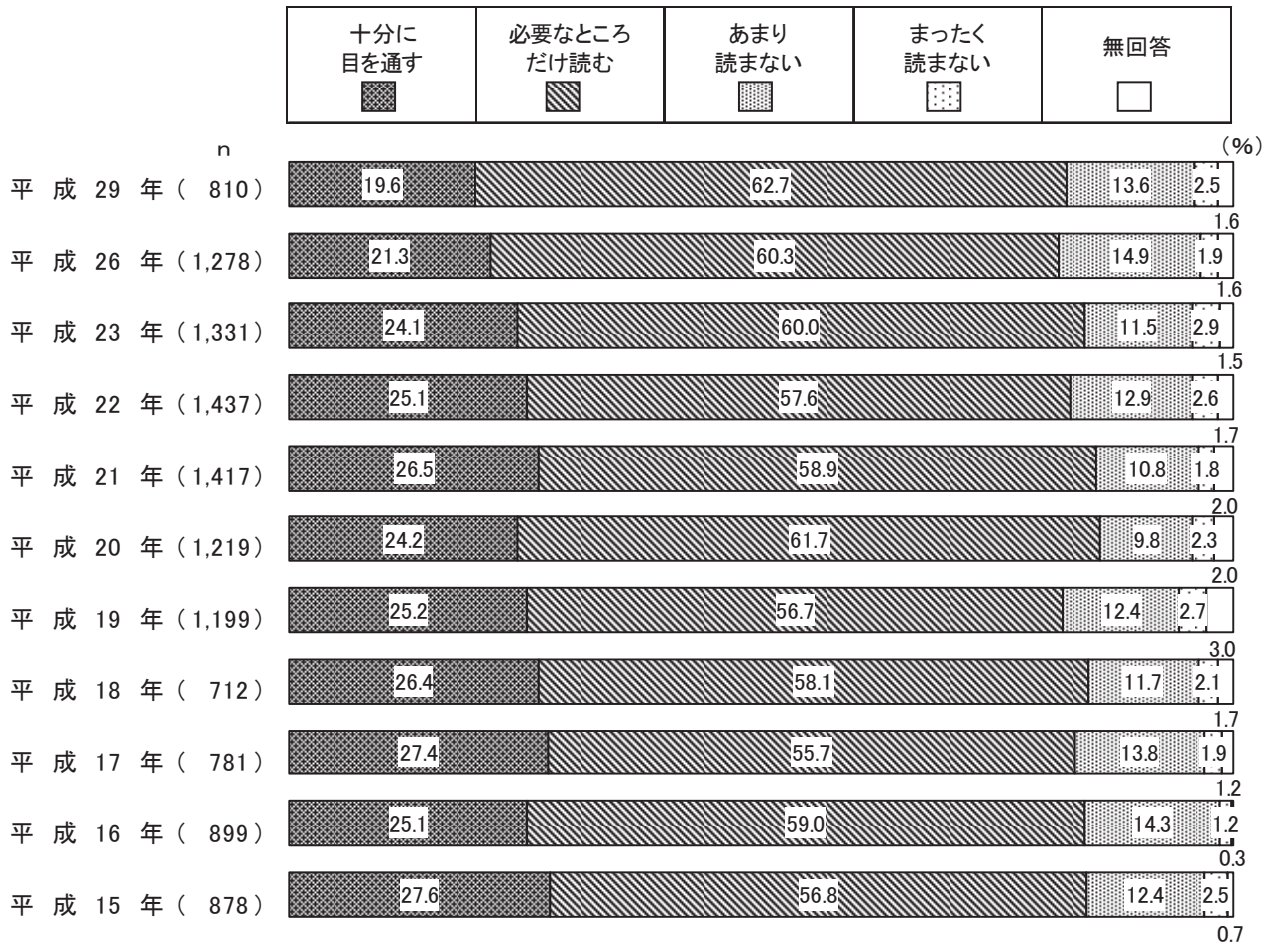


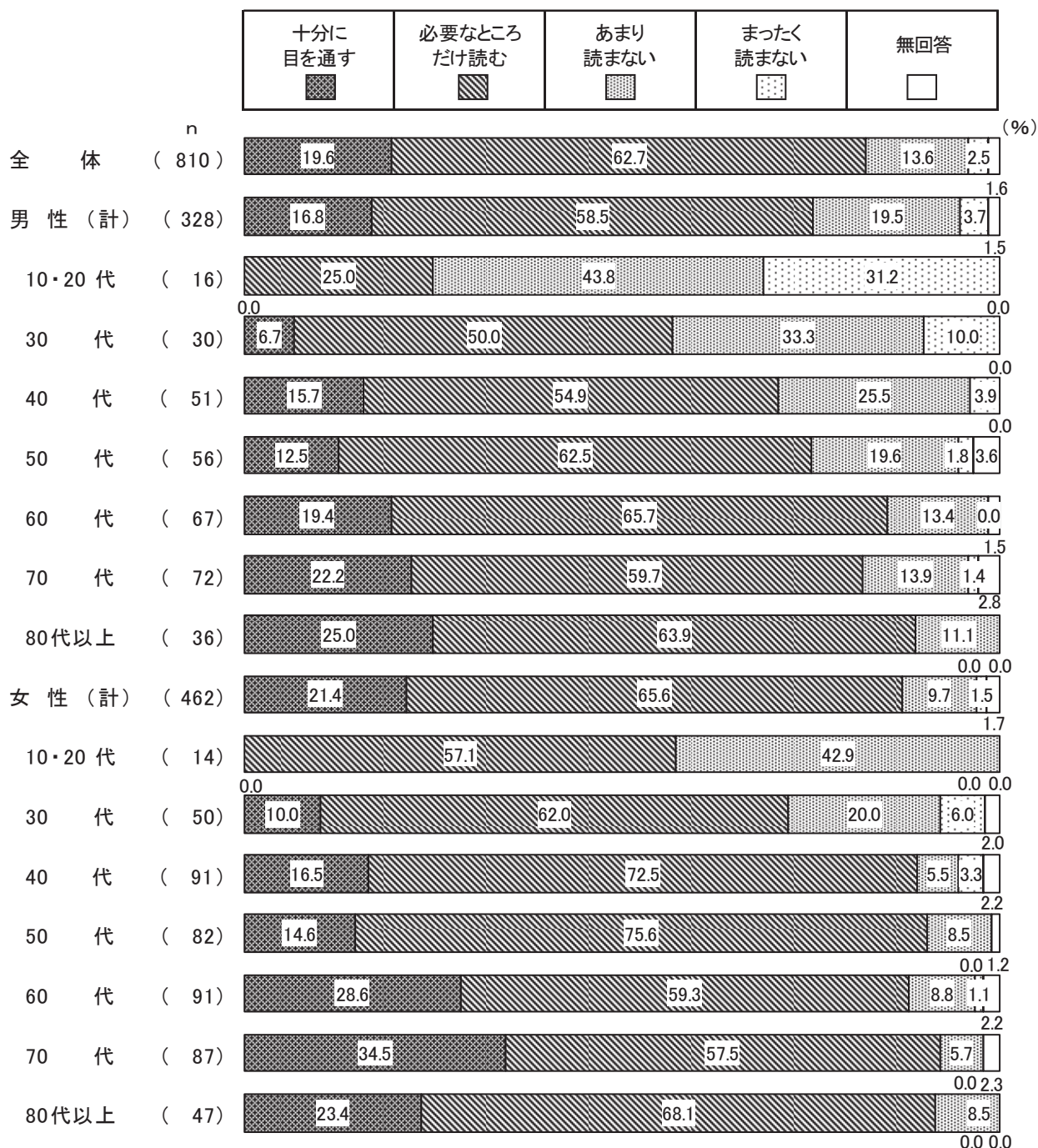
図6-3-2 めぐろ区報の閲覧状況の推移（全体）



(2) 性・年代別

- ・『閲読率』は女性(87.0%)が男性(75.3%)を11.7ポイント上回っている。また、男性の80代以上(88.9%)、女性の70代(92.0%)で最も高くなっている。
- ・『精読率』は女性の70代(34.5%)と60代(28.6%)で高くなっている。

図6-3-3 めぐる区報の閲読状況(性・年代別)



6-4 めぐる区報を手にしていない理由

(問12で、めぐる区報を「手にしていない」と回答した方にお尋ねします)

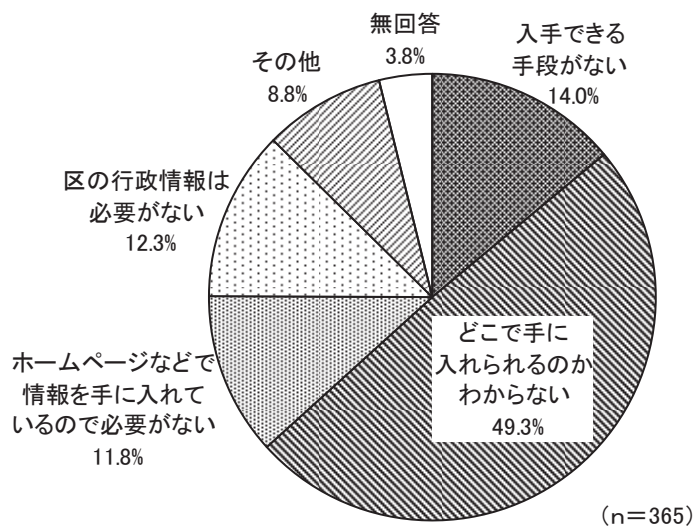
問12-2 あなたが、「めぐる区報」を手にしていない理由は何ですか。(〇は1つ)

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」がほぼ5割、「入手できる手段がない」が1割半ばとなっている。
- ・「どこで手に入れられるのかわからない」は30代、40代、80代以上で高く、「入手できる手段がない」は60代と70代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」が49.3%、「入手できる手段がない」が14.0%、「区の行政情報は必要がない」が12.3%、「ホームページなどで情報を手に入れているので必要がない」が11.8%となっている。

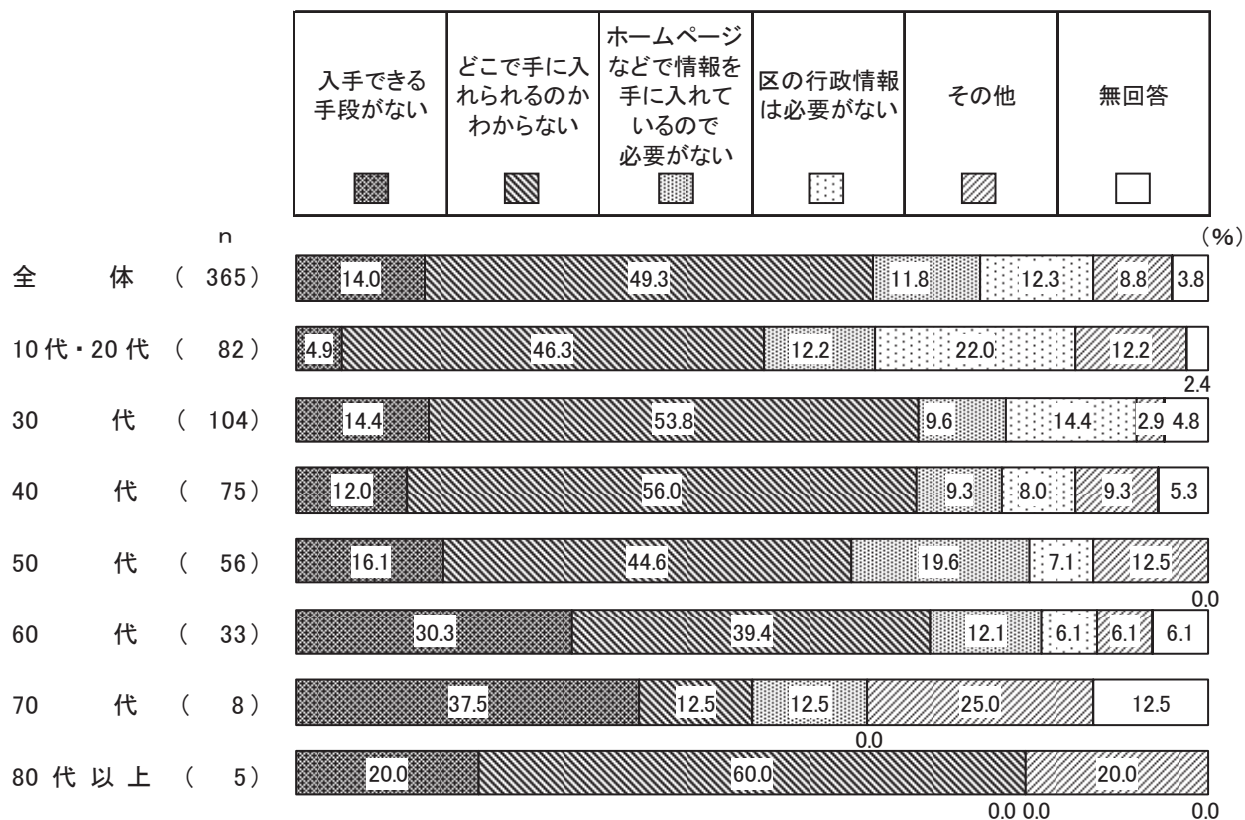
図6-4-1 めぐる区報を手にしていない理由(全体)



(2) 年代別

- ・「どこで手に入れられるのかわからない」は80代以上(60.0%)、40代(56.0%)、30代(53.8%)で高くなっている。
- ・「入手できる手段がない」は70代(37.5%)と60代(30.3%)で高くなっている。

図6-4-2 めぐる区報を手にしていない理由(年代別)



6-5 インターネットの利用状況

問13 あなたは、インターネット（電子メールも含みます）を利用していますか。（○は1つ）

- ・「インターネットをすでに利用している」は7割を超え、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」を合わせると8割近くとなっている。
- ・「インターネットをすでに利用している」は男性が女性を上回り、男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にある。
- ・「利用していないが、機会があれば利用したい」は男性の60代、女性の70代で高くなっている。
- ・「利用するつもりはない」は男性、女性ともに70代と80代以上で高くなっている。

(1) 全体

- ・「インターネットをすでに利用している」は71.0%で、これに「利用していないが、機会があれば利用したい」6.9%を合わせると77.9%となっている。
- ・インターネットの利用状況の推移をみると、「インターネットをすでに利用している」は平成19年以降6割以上を占めており、今回調査では前回調査同様、7割を超えている。

図6-5-1 インターネットの利用状況（全体）

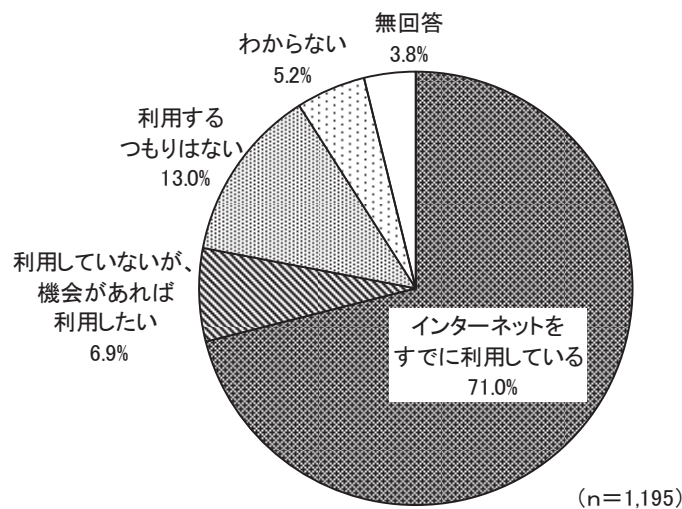
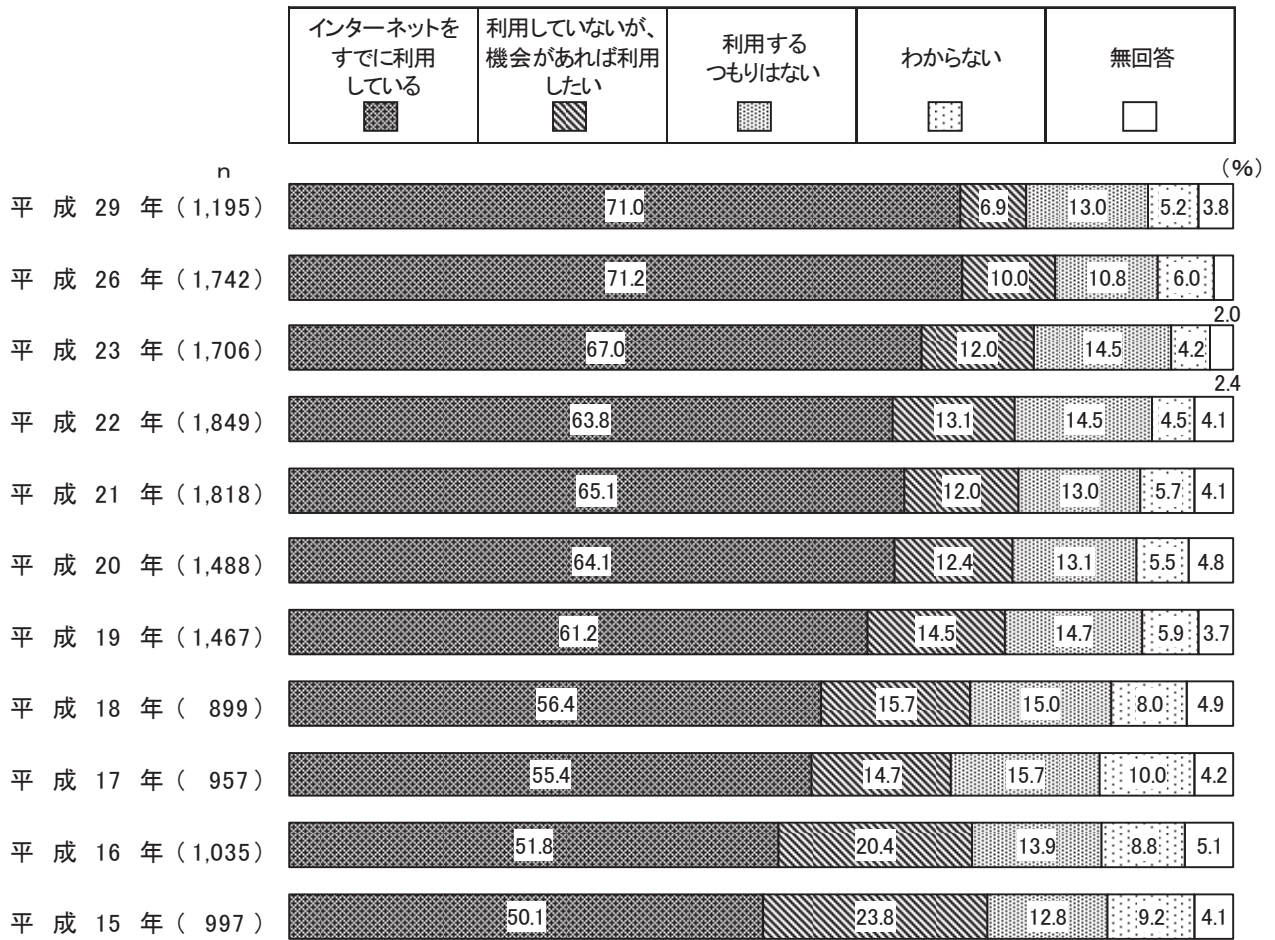


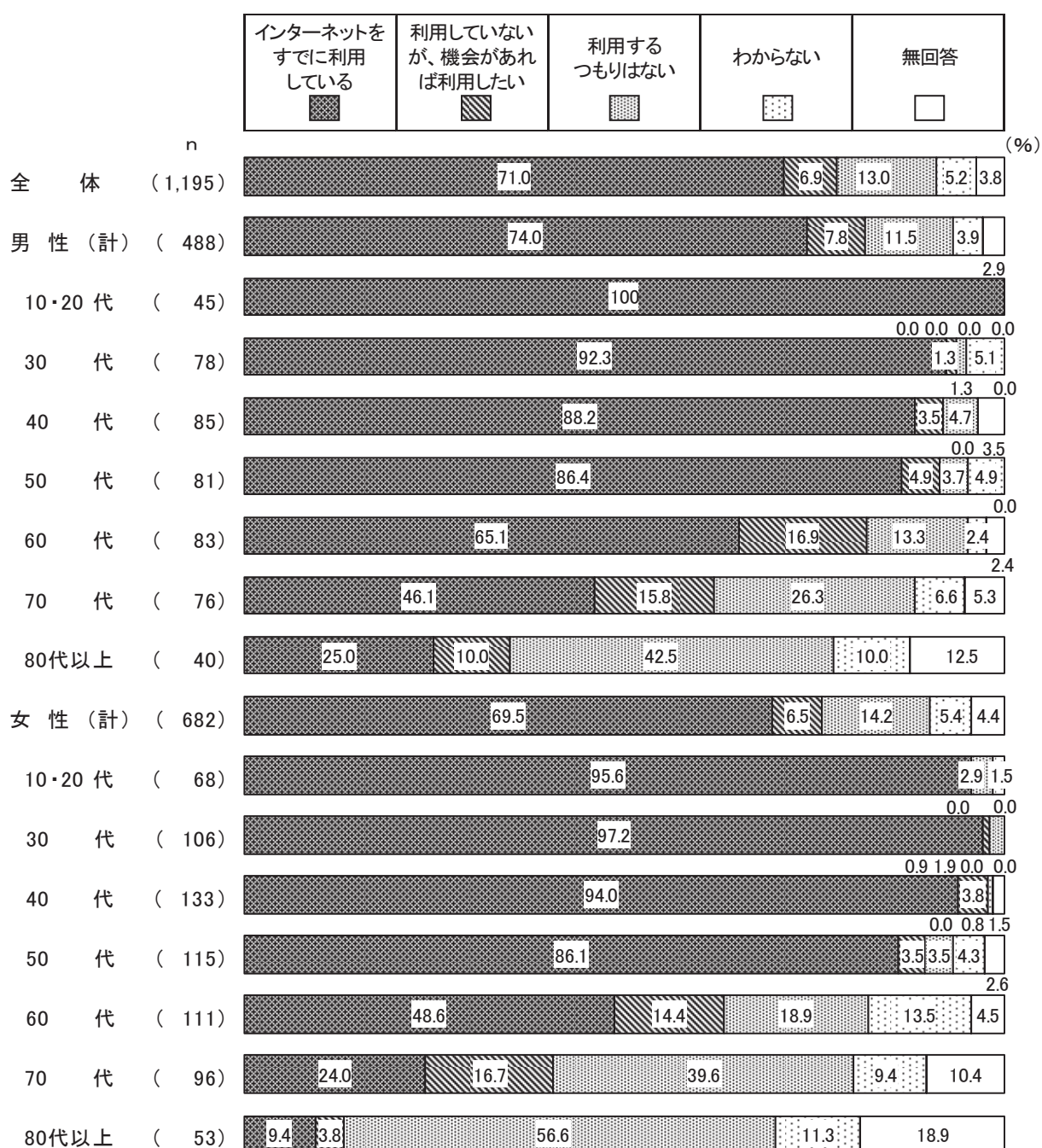
図6-5-2 インターネットの利用状況の推移（全体）



(2) 性・年代別

- ・「インターネットをすでに利用している」は男性(74.0%)が女性(69.5%)を4.5ポイント上回っている。
- ・「インターネットをすでに利用している」は男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、10・20代(男性100%、女性95.6%)と30代(男性92.3%、女性97.2%)で高くなっている。
- ・「利用していないが、機会があれば利用したい」は男性の60代(16.9%)、女性の70代(16.7%)で高くなっている。
- ・「利用するつもりはない」は男性、女性ともに70代(男性26.3%、女性39.6%)と80代以上(男性42.5%、女性56.6%)で高くなっている。

図6-5-3 インターネットの利用状況(性・年代別)



6-6 インターネットの利用場所

(問13で、「インターネットをすでに利用している」と回答した方にお尋ねします)

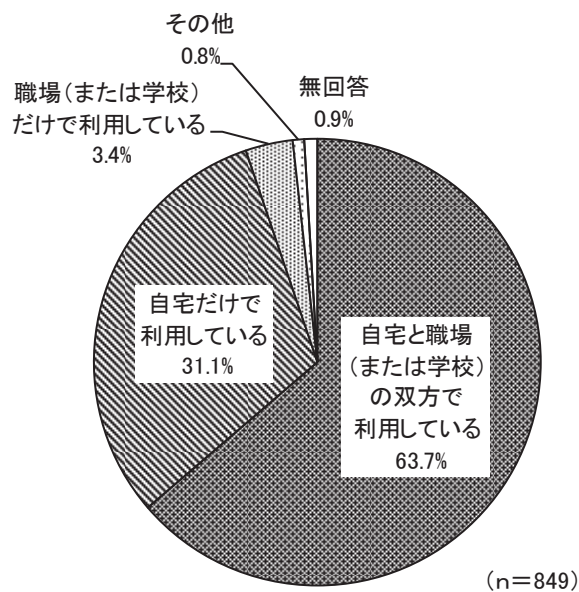
問13-1 主にどこでインターネットを利用していますか。(〇は1つ)

- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」が6割を超え、「自宅だけで利用している」が3割を超え、「職場(または学校)だけで利用している」が1割未満となっている。
- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」は男性が女性を上回り、男性、女性ともに低い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性の10・20代、30代、40代で高くなっている。また、常勤の勤め人と学生で高くなっている。
- ・「自宅だけで利用している」は男性、女性ともに70代と80代以上で高くなっている。また、無職と主に家事に従事で高くなっている。

(1) 全体

- ・「自宅と職場(または学校)の双方で利用している」が63.7%、「自宅だけで利用している」が31.1%、「職場(または学校)だけで利用している」が3.4%となっている。

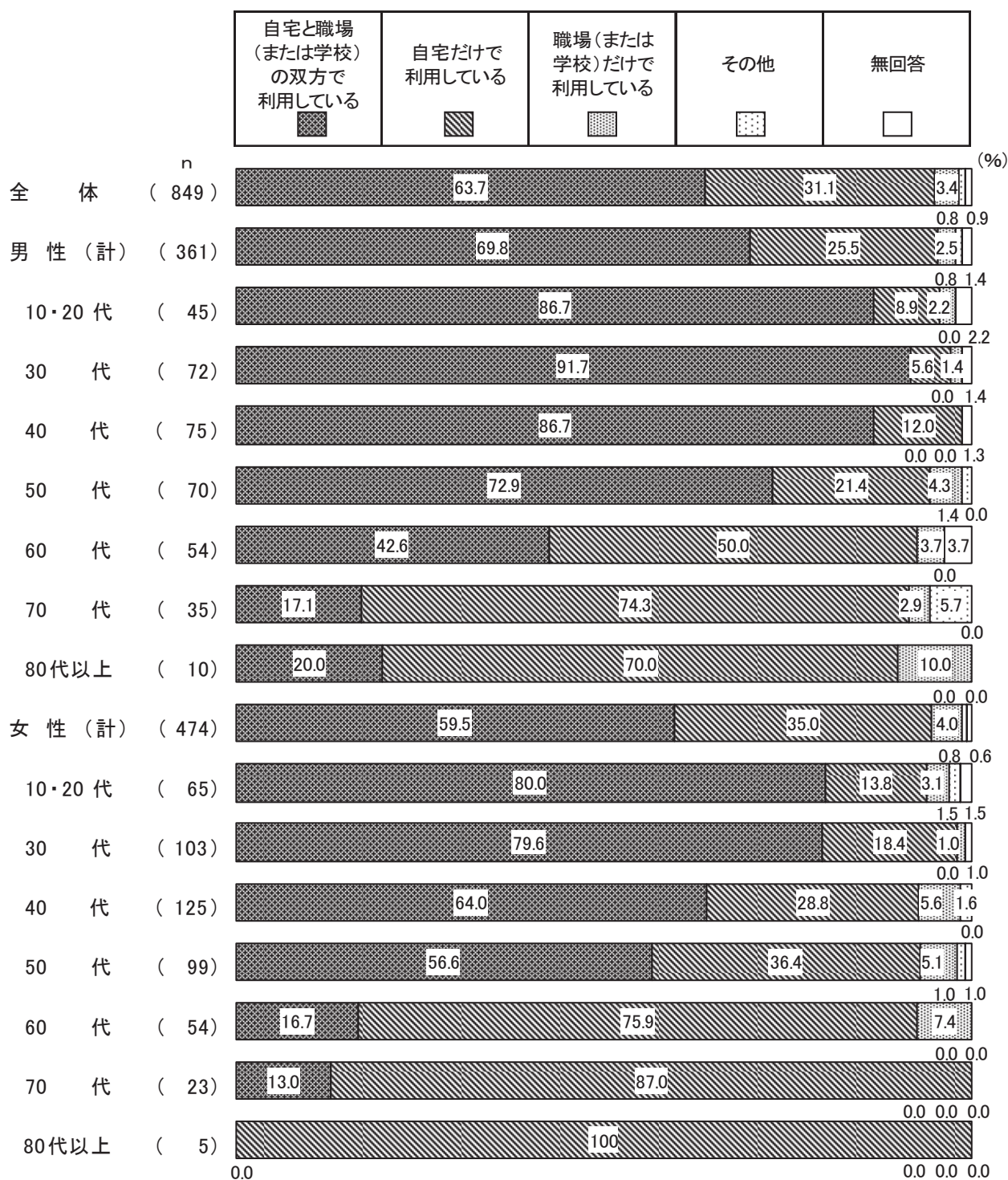
図6-6-1 インターネットの利用場所(全体)



(2) 性・年代別

- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は男性（69.8%）が女性（59.5%）を 10.3 ポイント上回っている。
- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は男性、女性ともに低い年代ほど高い傾向にあり、男性の10・20代（86.7%）、30代（91.7%）、40代（86.7%）で高くなっている。
- ・「自宅だけで利用している」は男性、女性ともに70代（男性74.3%、女性87.0%）と80代以上（男性70.0%、女性100%）で高くなっている。

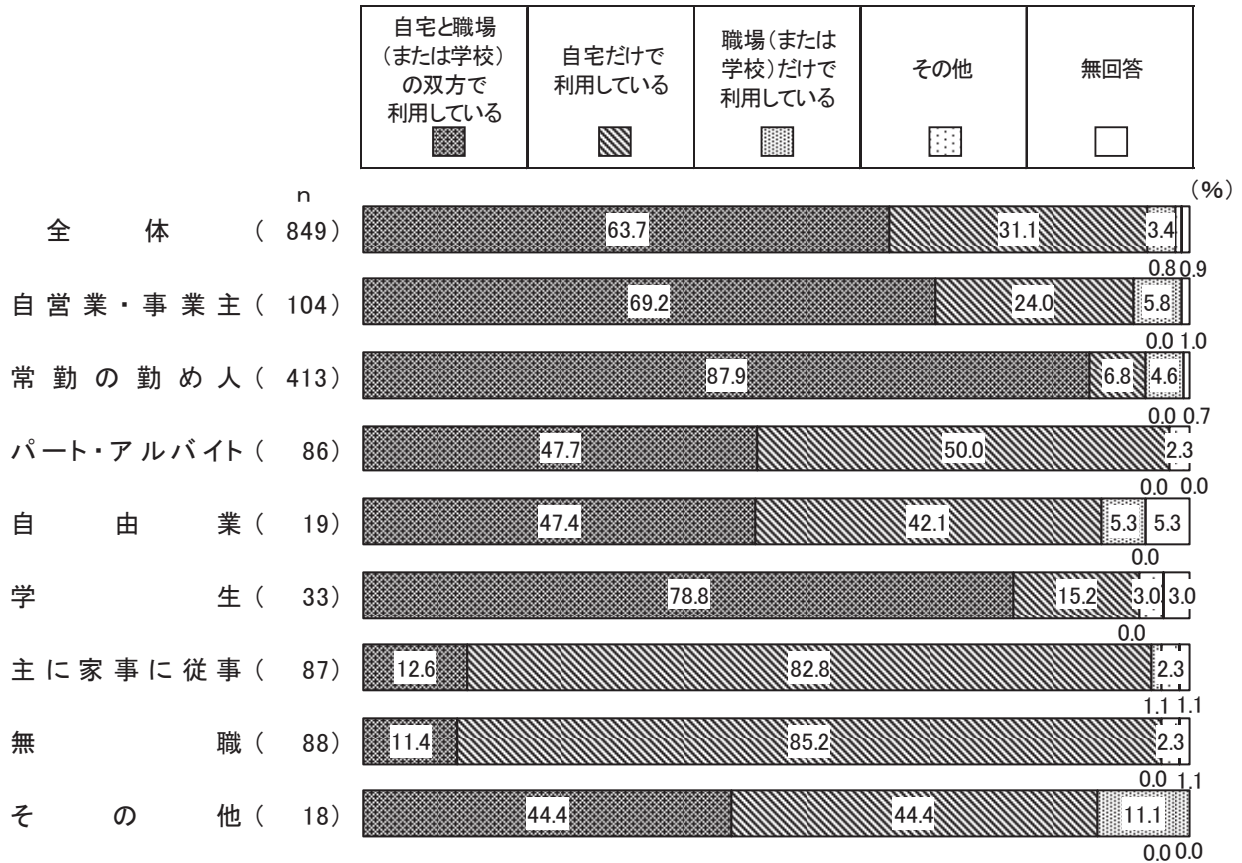
図6-6-2 インターネットの利用場所（性・年代別）



(3) 職業別

- ・「自宅と職場（または学校）の双方で利用している」は常勤の勤め人（87.9%）と学生（78.8%）で高くなっている。
- ・「自宅だけで利用している」は無職（85.2%）と主に家事に従事（82.8%）で高くなっている。

図6-6-3 インターネットの利用場所（職業別）



6-7 目黒区公式ホームページの閲覧状況

(問13で、「インターネットをすでに利用している」と回答した方にお尋ねします)

問13-2 あなたは、目黒区公式ホームページを見たことがありますか。(○は1つ)

- ・「見たことがある」が7割を超えている。
- ・「見たことがある」は男性、女性ともに30代と40代で高くなっている。また、常勤の勤め人で高くなっている。
- ・「見たことがない」は男性の60代と70代、女性の60代と80代以上で高くなっている。また、自由業で高くなっている。

(1) 全体

- ・「見たことがある」が73.7%、「見たことがない」が24.6%となっている。
- ・目黒区公式ホームページの閲覧状況の推移をみると、「見たことがある」は平成15年以降増加傾向にあったが、前回調査では減少に転じた。今回調査では増加に転じ、7割を超えている。

図6-7-1 目黒区公式ホームページの閲覧状況(全体)

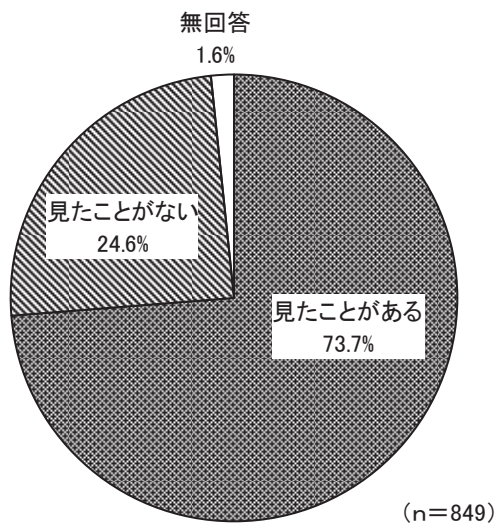
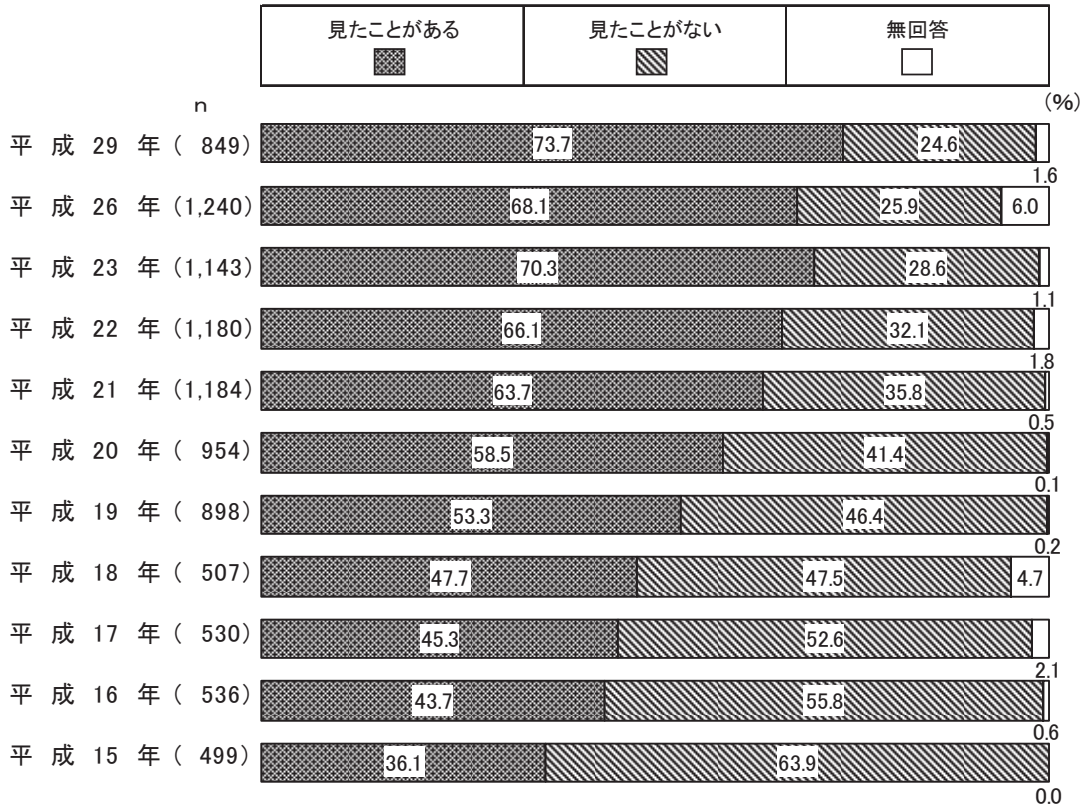


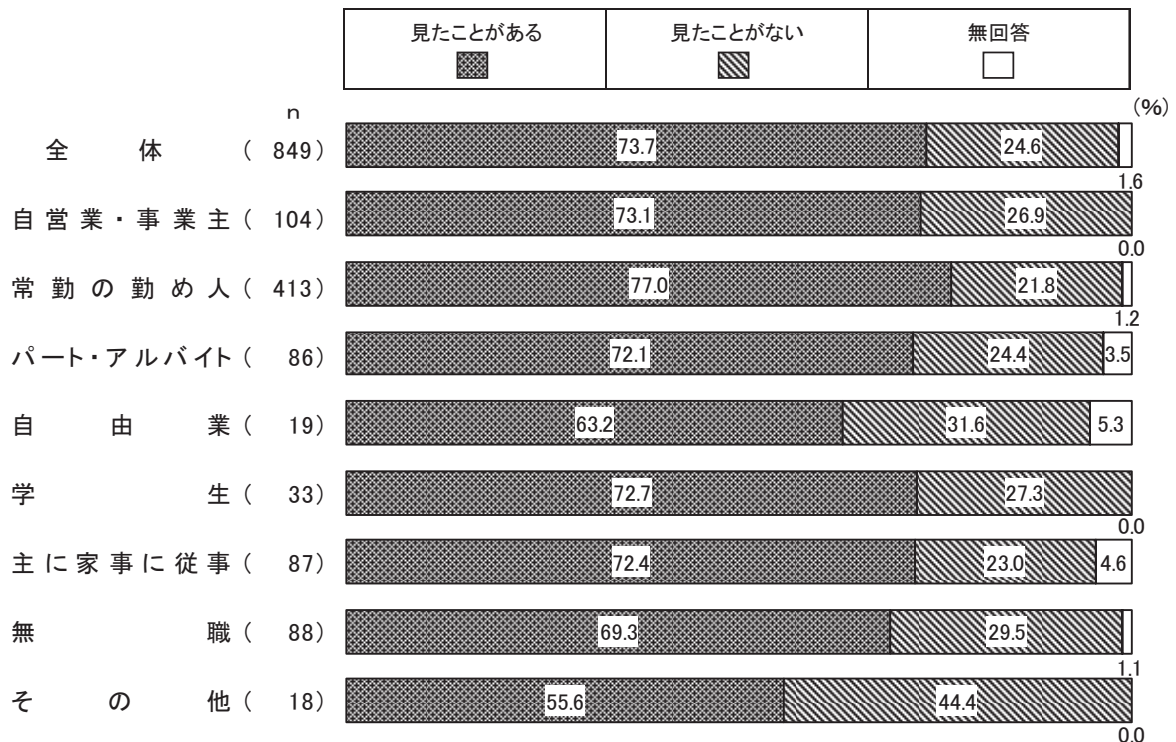
図6-7-2 目黒区公式ホームページの閲覧状況の推移（全体）



(2) 職業別

- ・「見たことがある」は常勤の勤め人（77.0%）で高くなっている。
- ・「見たことがない」は自由業（31.6%）で高くなっている。

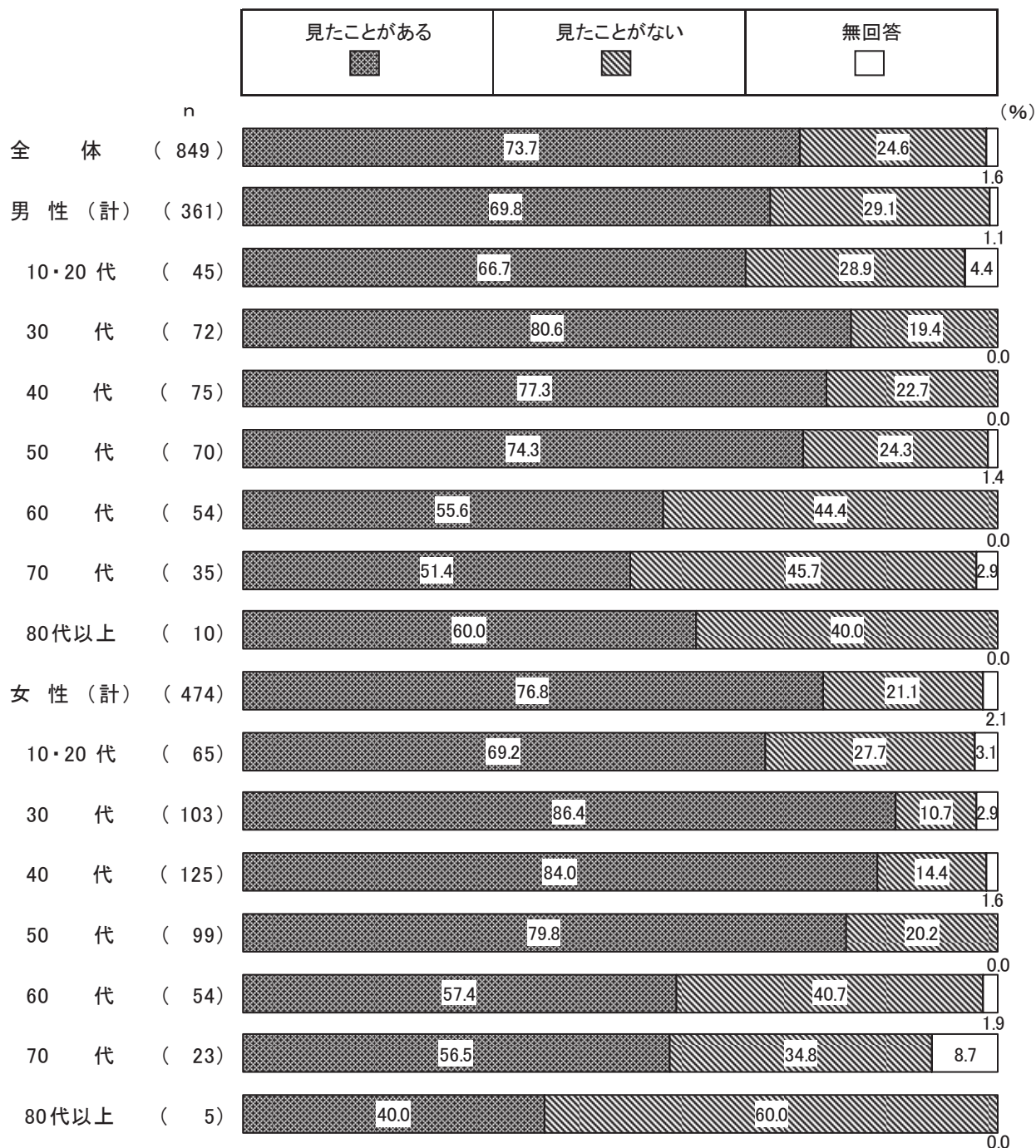
図6-7-3 目黒区公式ホームページの閲覧状況（職業別）



(3) 性・年代別

- ・「見たことがある」は女性（76.8%）が男性（69.8%）を7.0ポイント上回っている。
- ・「見たことがある」は男性、女性ともに30代（男性80.6%、女性86.4%）と40代（男性77.3%、女性84.0%）で高くなっている。
- ・「見たことがない」は男性の70代（45.7%）と60代（44.4%）、女性の80代以上（60.0%）と60代（40.7%）で高くなっている。

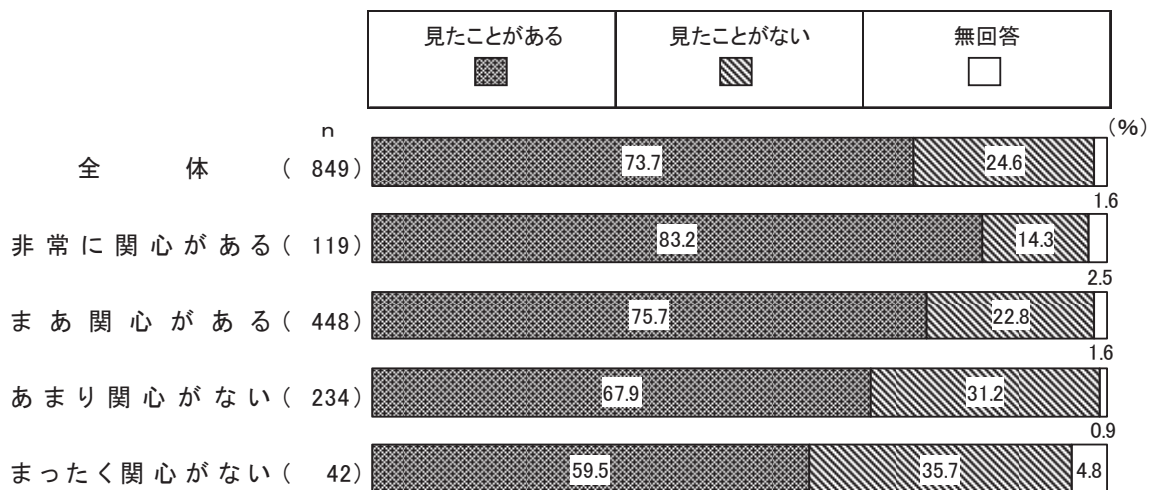
図6-7-4 目黒区公式ホームページの閲覧状況（性・年代別）



(4) 区政への関心度別

- ・「見たことがある」は区政への関心度が高いほど割合が高い傾向にあり、区政に非常に関心がある人（83.2%）、まあ関心がある人（75.7%）で高くなっている。

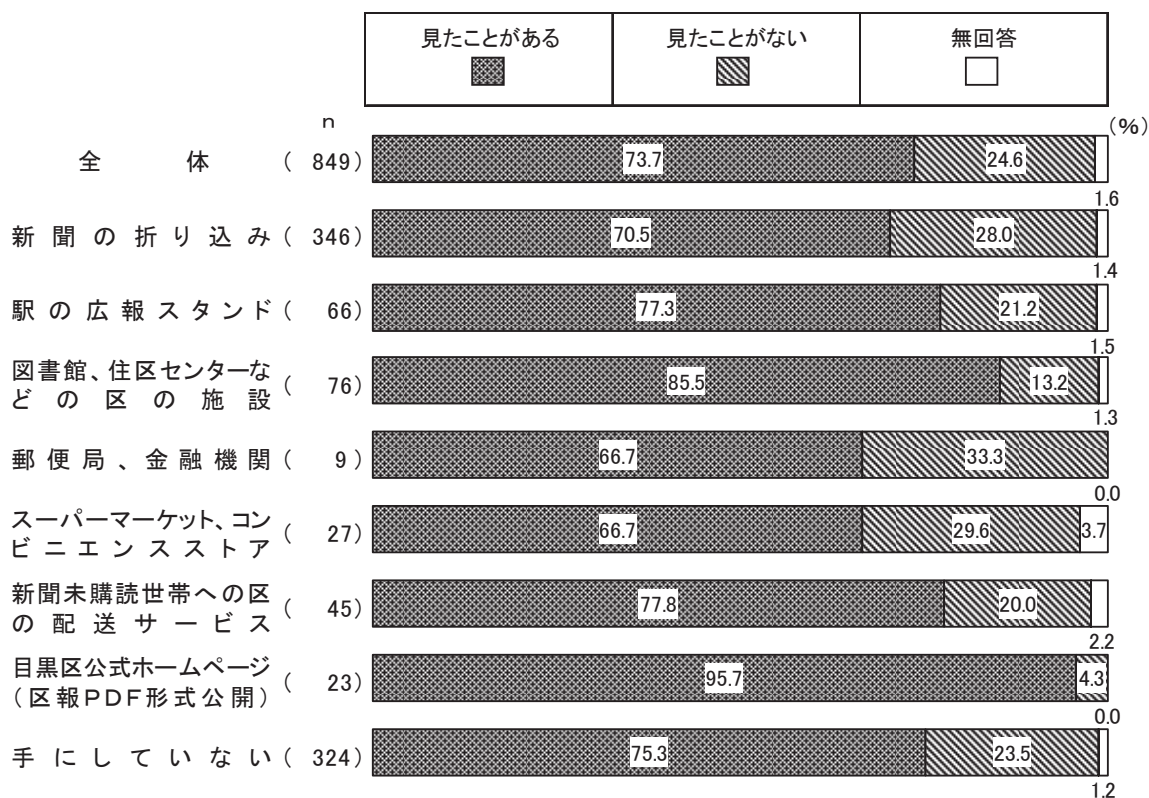
図6-7-5 目黒区公式ホームページの閲覧状況（区政への関心度別）



(5) めぐる区報の入手先別

- ・「見たことがある」は目黒区公式ホームページ（95.7%）、図書館、住区センターなどの区の施設（85.5%）で高くなっている。

図6-7-6 目黒区公式ホームページの閲覧状況（めぐる区報の入手先別）



6-8 目黒区公式ホームページの満足度

(問13-2で、目黒区公式ホームページを「見たことがある」と回答した方にお尋ねします)

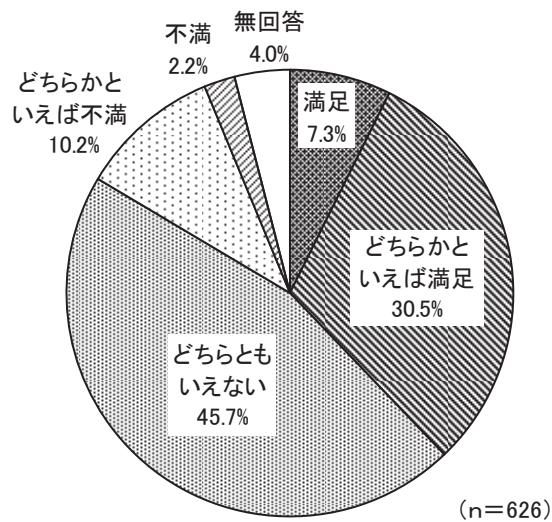
問13-3 目黒区公式ホームページに満足していますか。(○は1つ)

- ・「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は4割近くとなっている。
- ・『満足』は女性が男性を上回っており、女性の10・20代と40代、男性の40代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「満足」7.3%と「どちらかといえば満足」30.5%を合わせた『満足』は37.8%となっている。一方、「どちらかといえば不満」10.2%と「不満」2.2%を合わせた『不満』は12.4%となっている。

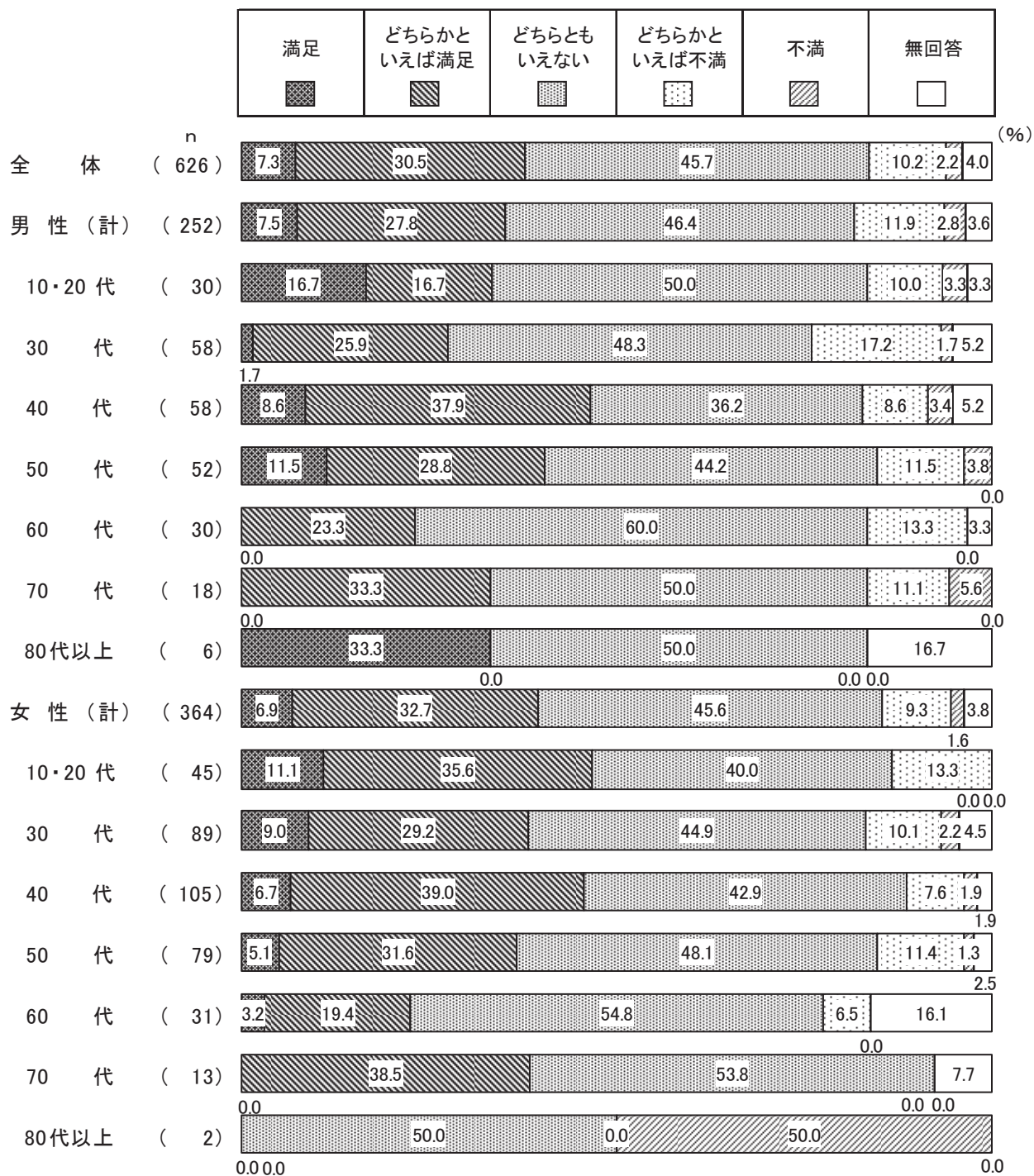
図6-8-1 目黒区公式ホームページの満足度(全体)



(2) 性・年代別

- ・『満足』は女性（39.6%）が男性（35.3%）を4.3ポイント上回っている。
- ・『満足』は女性の10・20代（46.7%）と40代（45.7%）、男性の40代（46.5%）で高くなっている。

図6-8-2 目黒区公式ホームページの満足度（性・年代別）



6-9 目黒区公式ホームページに満足できない理由

(問13-3で、目黒区公式ホームページの満足度に「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」のいずれかに回答した方にお尋ねします)

問13-4 目黒区公式ホームページに満足できないのはどのような理由からですか。

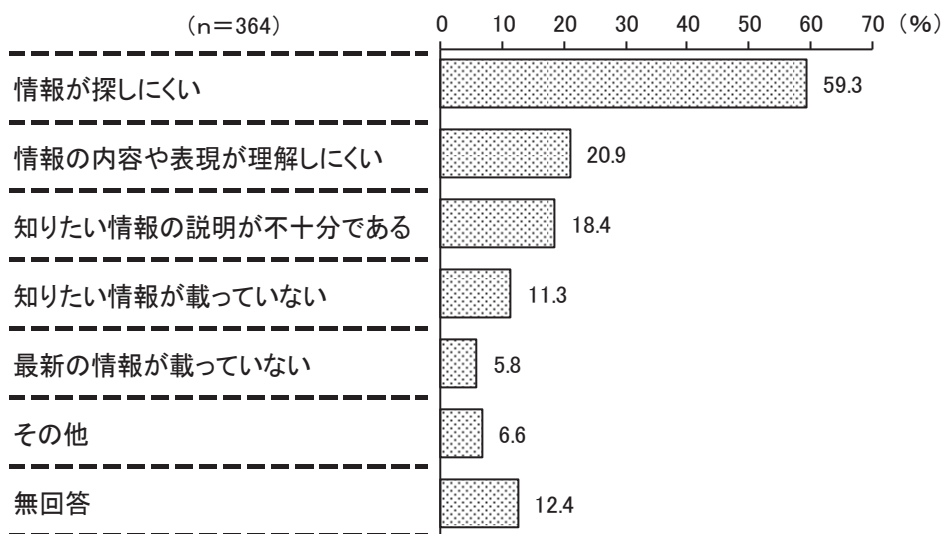
(○はいくつでも)

- ・「情報が探しにくい」がほぼ6割で最も高く、次いで「情報の内容や表現が理解しにくい」がほぼ2割、「知りたい情報の説明が不十分である」が2割近くとなっている。
- ・「情報が探しにくい」は女性が男性を上回っており、男性の30代で高くなっている。
- ・「情報の内容や表現が理解しにくい」は男性が女性を上回っており、男性の40代と70代で高くなっている。

(1) 全体

- ・「情報が探しにくい」が59.3%で最も高く、次いで「情報の内容や表現が理解しにくい」20.9%、「知りたい情報の説明が不十分である」18.4%、「知りたい情報が載っていない」11.3%の順となっている。

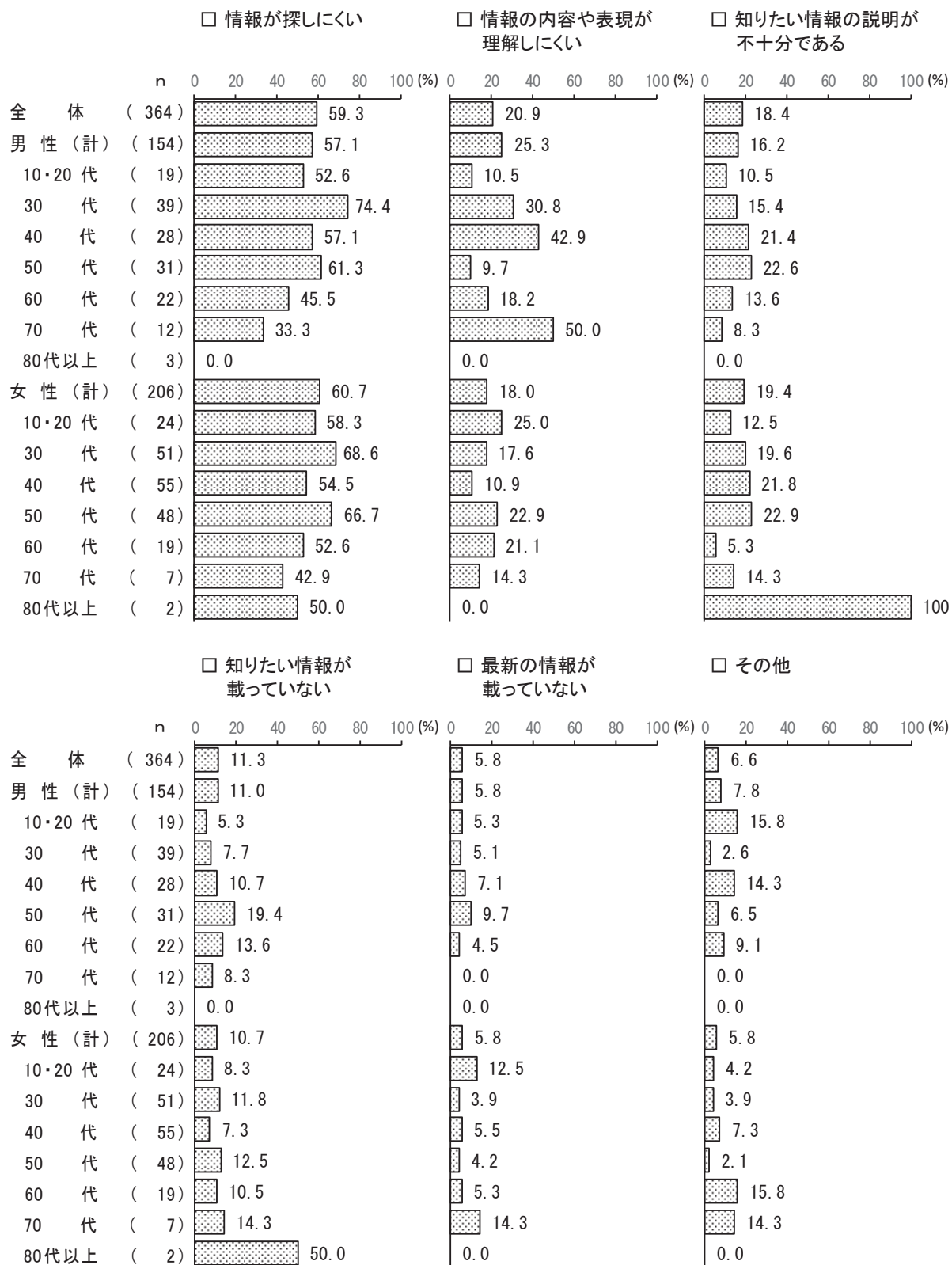
図6-9-1 目黒区公式ホームページに満足できない理由(全体)



(2) 性・年代別

- ・「情報が探しにくい」は女性(60.7%)が男性(57.1%)を3.6ポイント上回っている。一方、「情報の内容や表現が理解しにくい」は男性(25.3%)が女性(18.0%)を7.3ポイント上回っている。
- ・「情報が探しにくい」は男性の30代(74.4%)で高くなっている。

図6-9-2 目黒区公式ホームページに満足できない理由(性・年代別)



6-10 目黒区公式ホームページで改善した方がよいところ

(問13-2で、目黒区公式ホームページを「見たことがある」と回答した方にお尋ねします)

問13-5 目黒区公式ホームページの使い勝手をよくするために必要だと思うことがありましたらご記入ください。

・記述式の回答に126名から138件の意見が寄せられた。

●もっとわかりやすくしてほしい(デザイン・ことばづかいなど)【61件】

- ・PC版と携帯版で見られる内容の詳しさに差がある。
- ・年齢層や世帯構成別に必要な情報を選別して、トップページに出してくれる。機能説明中に図表をもっと入れて、役所用語を知らなくても理解しやすくなる(特に税制、補助金関連)。
- ・写真、図、イラストなど、わかりやすく多用し、洋式より和式に。内容や漢字はやさしく。

●目的のものを検索しにくい【23件】

- ・最終的に知りたい情報が直接施設へ問い合わせることになるのが多いので、せめてリンクやリンク先に必要な情報を記載するよう、施設に指導してほしい。
- ・行政区分(担当部局)別ではなく、ニーズに応じた検索(部局横断的な)ができる事が望ましい。
- ・全体もしくは各カテゴリー内に「キーワード検索」があると便利だと思います。ピンポイントに知りたい情報があっても、いろんなところをクリックして探さないといけないので。

●利用者の立場にたった改善をしてほしい【13件】

- ・パソコンに比べ、スマートフォン用のページの情報量が大幅に少ない様に感じる。結局、PC用で情報を得る様にしているので、その点の改善をお願いしたい。
- ・手続きに必要な書類のフォーマットは、説明ページに必ずリンク付けるなど。
- ・区民が何を知らなければならないかの調査。区民目線でのホームページづくり。

●今のままでよい【3件】

- ・とても見やすいので、このままで良いです。

●詳細な情報を掲載してほしい【11件】

- ・学区、避難場所等を地図でわかりやすく見られるようにしてほしい。
- ・ひとつひとつのページを詳しく充実させて欲しい。
- ・情報量が少なく各情報の説明が不十分、表現も固い。結局、電話で問い合わせなければいけないケースが多く、ホームページによる利便性が発揮できていないと思う。

●最新の情報を掲載してほしい【5件】

- ・議会議事録のアップがおそい。議事録はどのような分野であっても1週間で開示し、意見を言える体制が望ましい。
- ・古い情報は削除するべきだと思います。

●Q&Aを充実させてほしい【3件】

- ・よくある質問等をわかりやすくまとめてあると(企業のFAQページのように充実していると)、職員対応する受電も少なくなると思うし、利用する区民も手間が省けて双方にとって良いと思います。

●その他【19件】

- ・各種届け出がインターネットで簡易に行えると助かります。学校からや行政からのお知らせがメルマガ等がメール配信してくれるとうれしいです。
- ・民間のアイデア導入し、他区・都のサイトとテンプレートを合わさずとも制作・運営!!
- ・ライブカメラを増やしてほしい。防災気象情報をメールで送信してほしい。防犯の観点から、空き巣や犯罪が起きた場所や日時を公開してほしい。課税証明書がいつからか発行できるのか、知らせてほしい。